



下水道モニター

平成 29 年度 第 4 回アンケート結果

目 次

1. 調査の概要	1
2. 結果の概要	2
2.1 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』について	2
2.1.1 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 への理解度	2
2.1.2 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 の各施策への理解度が低い理由	2
2.1.3 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 への評価	2
2.1.4 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 の各施策への評価が低い理由	2
2.1.5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 への期待度	2
2.1.6 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 に対する感想や意見	2
2.2 下水道モニターの感想について	3
2.2.1 下水道モニターアンケートの頻度	3
2.2.2 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ	3
2.2.3 下水道モニターアンケートわかりにくい（答えにくい）理由	3
2.2.4 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価	3
2.2.5 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価が低い理由	3
2.2.6 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について	3
2.2.7 下水道モニターになってからの意識や行動の変化	4
2.2.8 下水道モニターの感想	4
2.2.9 下水道モニターに関しての感想や意見	4
3. 回答者属性	5
4. 集計結果	7
4.1 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』について	7
4.1.1 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 への理解度	7
4.1.1.1 【区部の下水道、多摩の下水道】 への理解度	8

4.1.1.2	【再構築】への理解度.....	9
4.1.1.3	【浸水対策】への理解度.....	10
4.1.1.4	【震災対策】への理解度.....	11
4.1.1.5	【合流式下水道の改善】への理解度.....	12
4.1.1.6	【高度処理】への理解度.....	13
4.1.1.7	【エネルギー・地球温暖化対策】への理解度.....	14
4.1.1.8	【東京下水道の「応援団」の獲得】への理解度.....	15
4.1.1.9	【企業努力と財政収支】への理解度.....	16
4.1.1.10	【事業指標の達成状況一覧】への理解度.....	17
4.1.1.11	【事業効果の状況】への理解度.....	18
4.1.2	『東京都下水道事業 経営レポート 2017』の各施策への理解度が低い理由.....	19
4.1.3	『東京都下水道事業 経営レポート 2017』への評価.....	21
4.1.3.1	【再構築】への評価.....	22
4.1.3.2	【浸水対策】への評価.....	23
4.1.3.3	【震災対策】への評価.....	24
4.1.3.4	【合流式下水道の改善】への評価.....	25
4.1.3.5	【高度処理】への評価.....	26
4.1.3.6	【エネルギー・地球温暖化対策】への評価.....	27
4.1.3.7	【東京下水道の「応援団」の獲得】への評価.....	28
4.1.3.8	【企業努力と財政収支】への評価.....	29
4.1.4	『東京都下水道事業 経営レポート 2017』の各施策への評価が低い理由.....	30
4.1.5	『東京都下水道事業 経営レポート 2017』への期待度.....	31
4.1.5.1	【再構築】への期待度.....	32
4.1.5.2	【浸水対策】への期待度.....	33
4.1.5.3	【震災対策】への期待度.....	34
4.1.5.4	【合流式下水道の改善】への期待度.....	35
4.1.5.5	【高度処理】への期待度.....	36
4.1.5.6	【エネルギー・地球温暖化対策】への期待度.....	37
4.1.5.7	【東京下水道の「応援団」の獲得】への期待度.....	38
4.1.5.8	【企業努力と財政収支】への期待度.....	39
4.1.6	『東京都下水道事業 経営レポート 2017』に対する感想や意見.....	40

4.2	下水道モニターの感想について.....	42
4.2.1	下水道モニターアンケートの頻度.....	42
4.2.1.1	下水道モニターアンケートの頻度【実施数（4回／年）】.....	43
4.2.1.2	下水道モニターアンケートの頻度【設問数（15～20問）】.....	44
4.2.1.3	下水道モニターアンケートの頻度【実施期間（約2週間）】.....	45
4.2.1.4	下水道モニターアンケートの頻度【実施間隔（約2か月ごと）】.....	46
4.2.2	下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ.....	47
4.2.3	下水道モニターアンケートわかりにくい（答えにくい）理由.....	48
4.2.4	下水道事業に広く関心をもっていたいただくための取組への評価.....	49
4.2.4.1	【メールマガジン】への評価.....	50
4.2.4.2	【施設見学会】への評価.....	51
4.2.5	下水道事業に広く関心をもっていたいただくための取組への評価が低い理由.....	52
4.2.6	下水道モニターアンケート終了時の謝礼について.....	54
4.2.7	下水道モニターになってからの意識や行動の変化.....	55
4.2.8	下水道モニターの感想.....	60
4.2.9	下水道モニターに関しての感想や意見.....	61

1. 調査の概要

(1) 調査目的

第4回アンケートでは、『東京都下水道事業 経営レポート2017』に対するご意見と、下水道モニターの感想等を把握するために実施した。

(2) 調査対象

- ① 調査対象：東京都下水道局「平成29年度下水道モニター」
* 東京都在住20歳以上の男女個人
- ② 調査対象の数：632名
- ③ 調査対象の抽出：インターネット上から「平成29年度下水道モニター」を募集

(3) 調査方法

インターネットによる自記式アンケート

(4) 回答回収率

モニター件数	： 632名
回答者数	： 401名
回答率	： 63%

(5) 調査項目

- ① 『東京都下水道事業 経営レポート2017』について
- ② 下水道モニターの感想について

(6) 調査期間

平成29年11月29日（水）～ 平成29年12月12日（火）

(7) 集計上・表記上への注意事項

本文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（%）は全て「n」を基数として算出している。また、比率を小数点第一位で四捨五入し「0%」となる項目については、グラフ上の表記を省略する。

2. 結果の概要

2.1 『東京都下水道事業 経営レポート2017』について

2.1.1 『東京都下水道事業 経営レポート2017』への理解度

『東京都下水道事業 経営レポート2017』の理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』で「1. 【区部の下水道、多摩の下水道】」と「3. 【浸水対策】」がともに84%と最も高く、次いで「4. 【震災対策】」が83%となった。一方、実施内容が見えづらい施策では、理解度が低い傾向があり、「10. 【事業指標の達成状況一覧】」は63%と最も低い結果となった。

2.1.2 『東京都下水道事業 経営レポート2017』の各施策への理解度が低い理由

『東京都下水道事業 経営レポート2017』の理解度が低い理由について、「専門用語が多く内容が難しい」が23%と最も高く、次いで「説明不足なところがある」が12%、「文字が多すぎる」が9%となった。

2.1.3 『東京都下水道事業 経営レポート2017』への評価

『東京都下水道事業 経営レポート2017』の各施策等について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』で「2. 【浸水対策】」が81%と最も高く、次いで「3. 【震災対策】」が79%、「5. 【高度処理】」が72%となっており、一方、「7. 【東京下水道の「応援団」の獲得】」は57%、「8. 【企業努力と財政収支】」は54%となり、理解度と同様に、実施内容が見えづらい施策では評価も低い傾向となった。

2.1.4 『東京都下水道事業 経営レポート2017』の各施策への評価が低い理由

『東京都下水道事業 経営レポート2017』の各施策への評価が低い理由について、「内容が分かりづらい」が23%と最も高く、次いで「もっと努力や改善をしてほしい」が19%、「財政収支が赤字であるため」と「具体的な計画や対処策が述べられていない」がともに8%となった。

2.1.5 『東京都下水道事業 経営レポート2017』への期待度

『東京都下水道事業 経営レポート2017』への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』で「2. 【浸水対策】」が86%と最も高く、次いで「3. 【震災対策】」が83%、「5. 【高度処理】」が79%となっている。一方、理解度や評価と同様に、実施内容が見えづらい施策では期待度も低い傾向にあり、「8. 【企業努力と財政収支】」は59%と最も低い結果となった。

2.1.6 『東京都下水道事業 経営レポート2017』に対する感想や意見

『東京都下水道事業 経営レポート2017』に対する感想や意見については、「見やすく、わかりやすくしてほしい（文章、レイアウト、PDF等）」が18%と最も高く、次いで「活動に期待している/がんばってください等の激励や感謝」が13%、「知ることができてよかった/理解することができた」が10%となった。

2.2 下水道モニターの感想について

2.2.1 下水道モニターアンケートの頻度

下水道モニターアンケートの頻度について、「1.【実施数（4回／年）】」では、「多い（長い）」が2%、「適当」が84%、「少ない（短い）」が14%となった。

「2.【設問数（15～20問）】」では、「多い（長い）」が16%、「適当」が82%、「少ない（短い）」が2%となった。

「3.【実施期間（約2週間）】」では、「多い（長い）」が3%、「適当」が84%、「少ない（短い）」が13%となった。

「4.【実施間隔（約2か月ごと）】」では、「多い（長い）」が7%、「適当」が83%、「少ない（短い）」が10%となった。

下水道モニターアンケートの頻度については、多くのモニターが適当と考えていることがわかった。

2.2.2 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ

下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさについては、「わかりやすい」が68%、「わかりにくい」が13%、「どちらとも言えない」が19%となった。

地区別にみると、「わかりやすい」では23区部が71%、多摩地区が65%となり、23区部が多摩地より6ポイント高い結果となった。

2.2.3 下水道モニターアンケートわかりにくい（答えにくい）理由

下水道モニターアンケートわかりにくい（答えにくい）理由について、「資料の専門用語や内容が難しい」が20%と最も高く、次いで「別画面を見ながらの回答は答えにくい」が13%、「答えにくい質問が多い」が11%となった。

2.2.4 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価

下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価について、1.「【メールマガジン】」では「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が67%、「どちらとも言えない」が27%、「やや低い評価」と「極めて低い評価」を合わせた『低い評価』が6%となっており、「2.【施設見学会】」では『高い評価』が64%、「どちらとも言えない」が29%、『低い評価』が7%となった。

2.2.5 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価が低い理由

【メールマガジン】について評価が低い理由で、「文字が多い」が31%と最も高く、次いで「興味がわからない」が14%、「読んでいない」が10%となった。

【施設見学会】について評価が低い理由で、「見学会の回数、開催日が増えると良い」が30%と最も高く、次いで「都合がつかず参加できなかった」が23%、「応募したが抽選に外れた」が16%となった。

2.2.6 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について

下水道モニターアンケート終了時の謝礼について、「多い」が2%、「適当である」が85%、「少ない」が11%、「必要ない」が2%となった。

男女別にみると、「適当である」では男性が82%、女性が90%と、男性が女性より8ポイント低い結果となった。

2.2.7 下水道モニターになってからの意識や行動の変化

下水道モニターになってからの意識や行動の変化について、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」が 55%と最も高く、次いで「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」が 52%、「使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった」と「海や川を見る時、「下水道」を意識するようになった」がともに 40%となった。

地区別にみると、【雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった】では 23 区部が 56%、多摩地区が 53%と、23 区部が多摩地区より 3 ポイントと若干高く、【使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった】でも、23 区部が 44%、多摩地区が 34%と、23 区部が多摩地区より 10 ポイント高く、【海や川を見る時、「下水道」を意識するようになった】においても、23 区部が 43%、多摩地区が 35%と、23 区部が多摩地区より 8 ポイント高い結果となった。一方、【油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった】では 23 区部が 51%、多摩地区が 55%と、多摩地区が 23 区部より 4 ポイントと若干低い結果となった。

2.2.8 下水道モニターの感想

下水道モニターの感想について、「満足している」が 80%、「不満足である」が 3%、「どちらとも言えない」が 17%となった。

年代別にみると、「満足している」では 70 歳以上が 86%と最も高く、次いで 40 歳代が 85%、30 歳代が 83%となった。

2.2.9 下水道モニターに関しての感想や意見

下水道モニターに関しての感想や意見では、「下水道について知ることができてよかった」が 18%と最も高く、次いで「下水道について関心・興味を持つようになった」が 16%、「勉強になった」が 11%、「施設見学会を増やしてほしい/見学したい/見学してよかった」が 10%となった。

3. 回答者属性

第4回モニターアンケートは、平成29年11月29日（水）から12月12日（火）までの14日間で実施した。その結果、401名の方から回答があった。（回答率63%）

■ 回答者数（性別、年代別、職業別、地区別）

性別	回答者数	モニター数	回答率
男性	219	334	66%
女性	182	298	61%
合計	401	632	63%

年代	回答者数	モニター数	回答率
20歳代	14	35	40%
30歳代	54	121	45%
40歳代	126	206	61%
50歳代	86	116	74%
60歳代	78	101	77%
70歳以上	43	53	81%
合計	401	632	63%

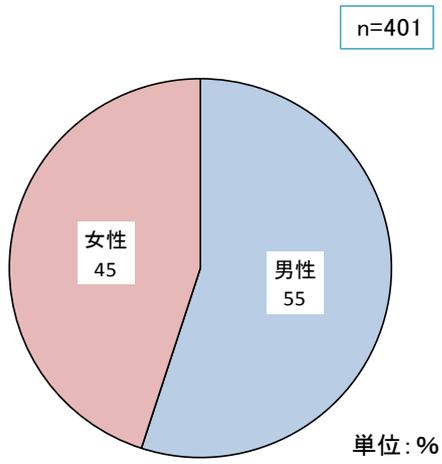
地域	回答者数	モニター数	回答率
23区	253	374	68%
多摩地区	148	258	57%
合計	401	632	63%

職業	回答者数	モニター数	回答率
会社員	152	252	60%
自営業	35	53	66%
学生	4	13	31%
私立学校教員・塾講師	5	3	-
パート	44	49	90%
アルバイト	10	17	59%
専業主婦	80	136	59%
無職	61	85	72%
その他	10	24	42%
合計	401	632	63%

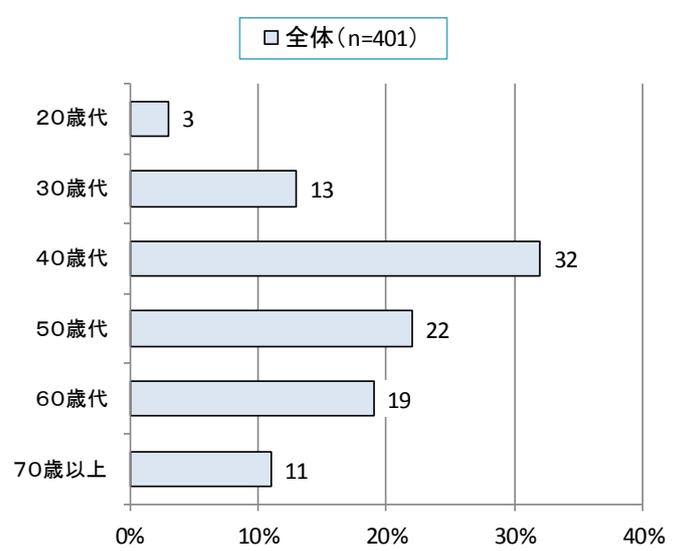
※職業「私立学校教員・塾講師」の回答率は100%を超えているため「-」とした。

■ 回答者属性別グラフ

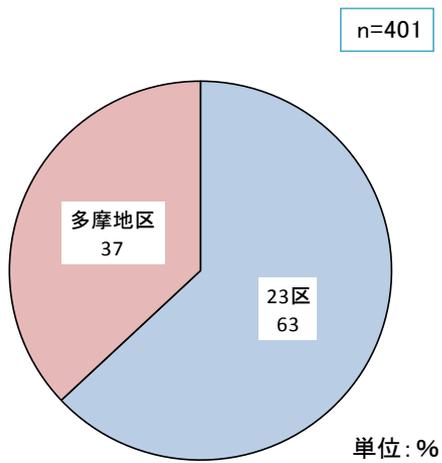
<性別>



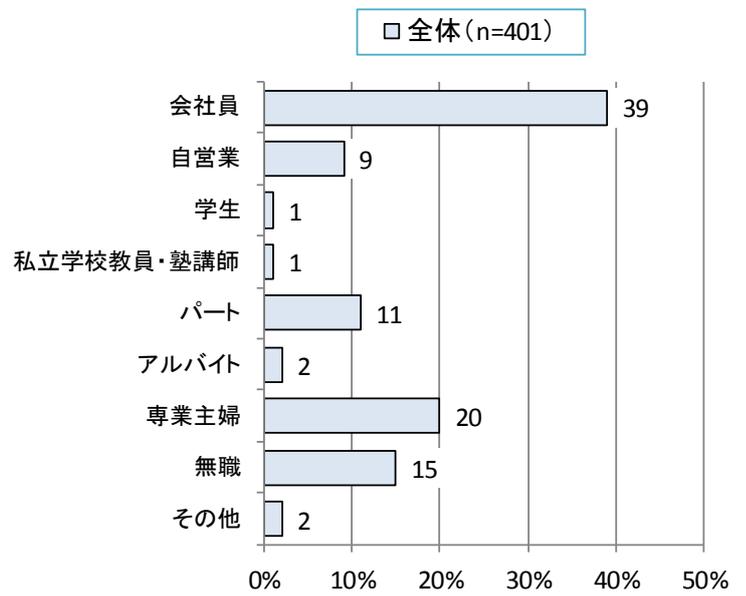
<年代別>



<地区別>



<職業別>



4. 集計結果

※ 文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（%）はすべて「n」を基数（100%）として算出している。

※ 年代別集計結果において、20歳代母数は30未満の為、コメントを省略した。

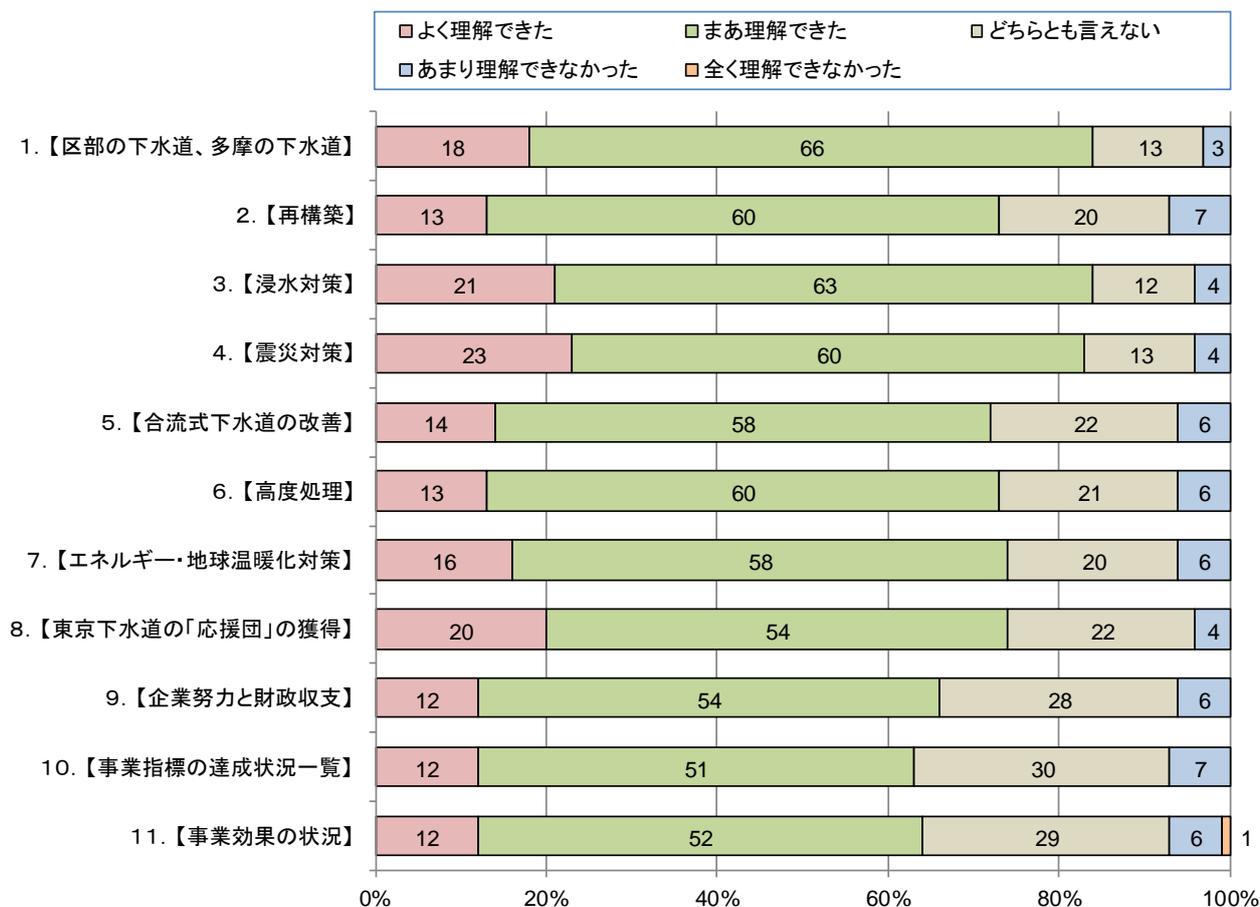
4.1 『東京都下水道事業 経営レポート2017』について

4.1.1 『東京都下水道事業 経営レポート2017』への理解度

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート2017』への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』で「1.【区部の下水道、多摩の下水道】」と「3.【浸水対策】」がともに84%と最も高く、次いで「4.【震災対策】」が83%となった。一方、実施内容が見えづらい施策では、理解度が低い傾向があり、「10.【事業指標の達成状況一覧】」は63%と最も低い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1 『東京都下水道事業 経営レポート2017』への理解度

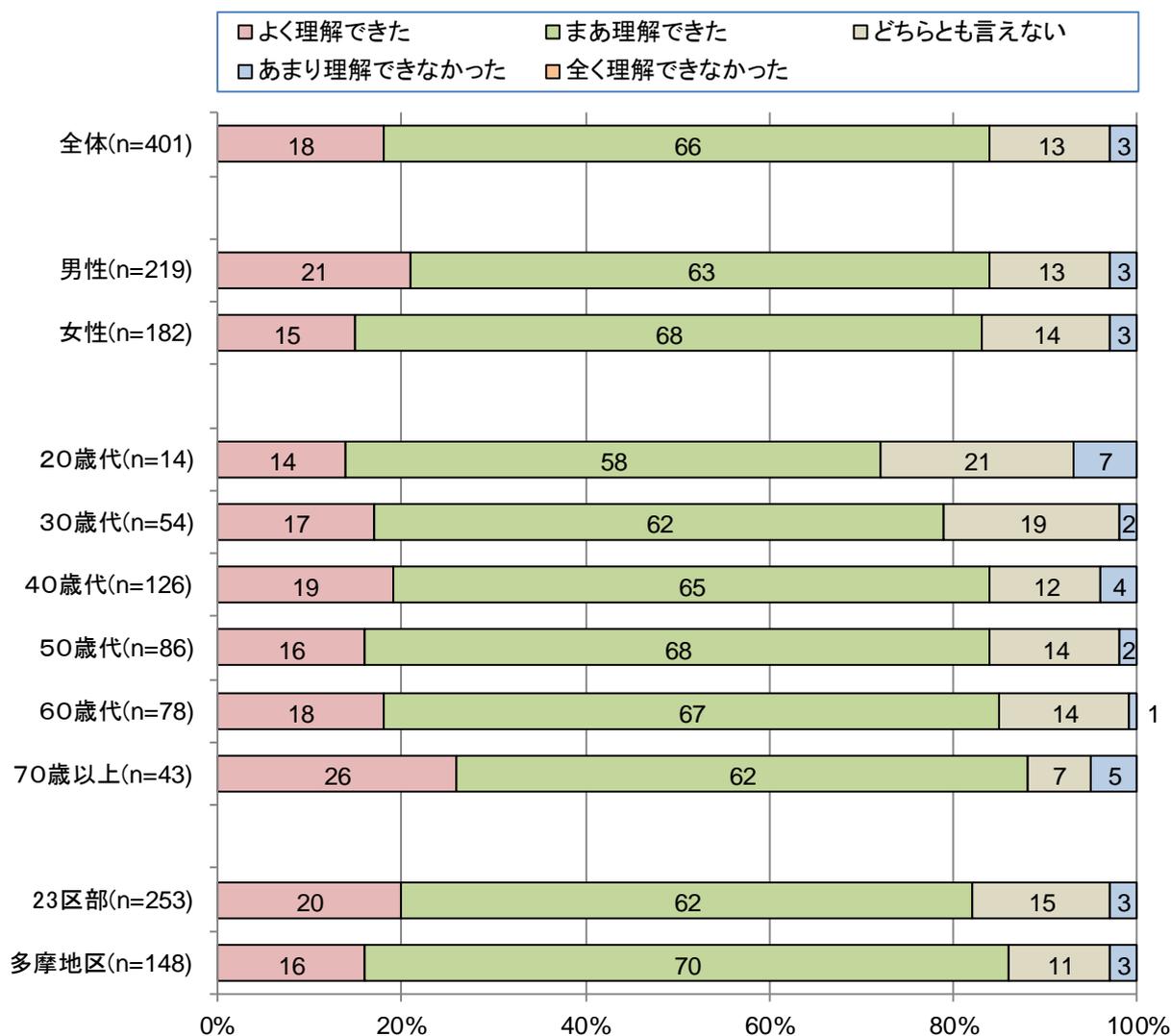


4.1.1.1 【区部の下水道、多摩の下水道】への理解度

- ◆ 【区部の下水道、多摩の下水道】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が84%、「どちらとも言えない」が13%、「あまり理解できなかった」が3%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が84%、女性が83%と、男性と女性で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では年齢が高くなるにつれ、値も高くなる傾向が見られ、70歳以上は最も高く88%となった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が82%、多摩地区が86%と、多摩地区が23区部に比べ、4ポイントと若干高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-1 【区部の下水道、多摩の下水道】への理解度

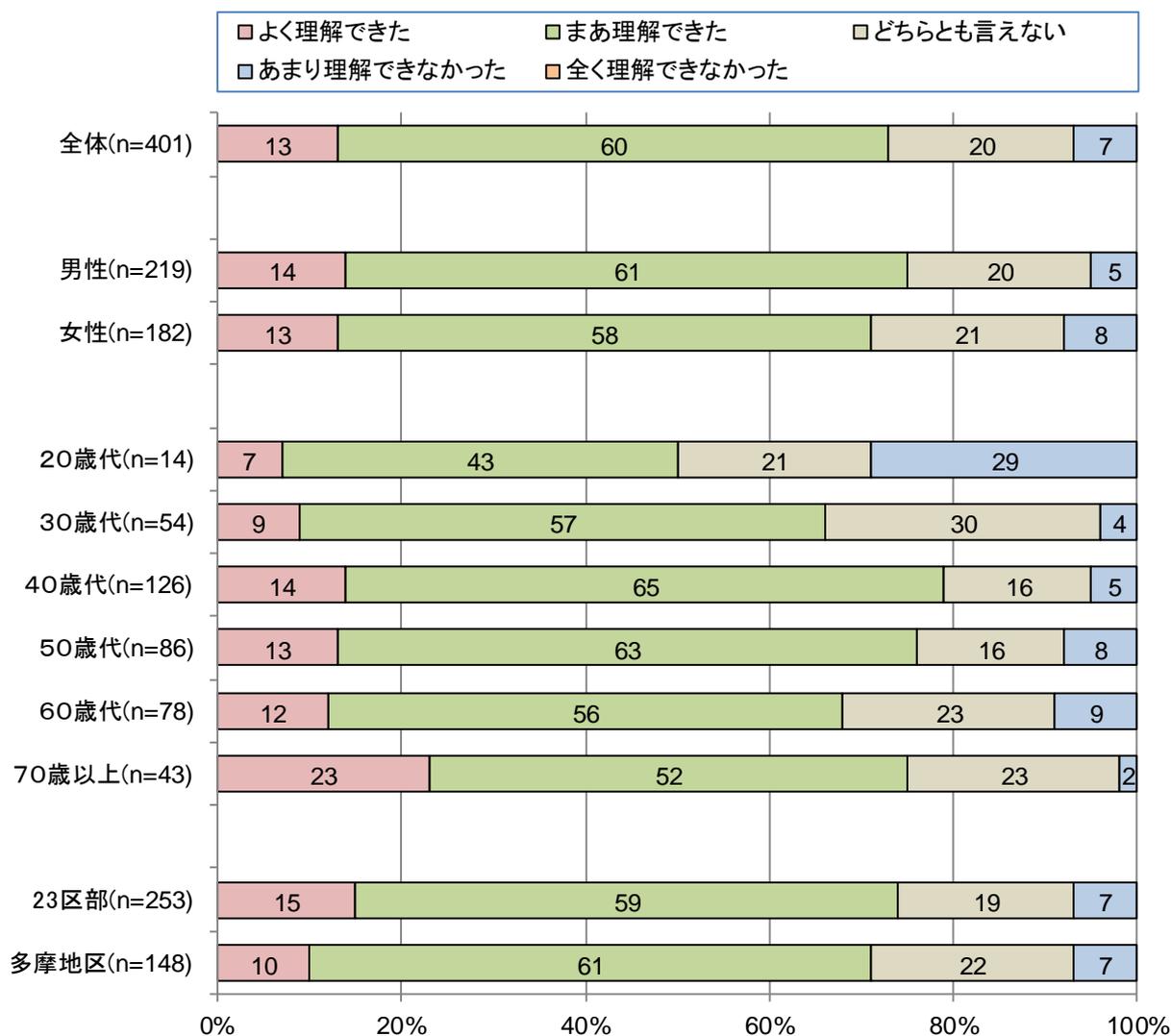


4.1.1.2 【再構築】への理解度

- ◆ 【再構築】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が73%、「どちらとも言えない」が20%、「あまり理解できなかった」が7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が75%、女性が71%と、男性が女性に比べ、4ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、40歳代の79%を頂点に、年代が上がるとともに上昇から下降の傾向を示した。その中で70歳以上は特異的に75%と高い値を示した。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が74%、多摩地区が71%となり、23区部が多摩地区に比べ3ポイントと若干高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-2 【再構築】への理解度

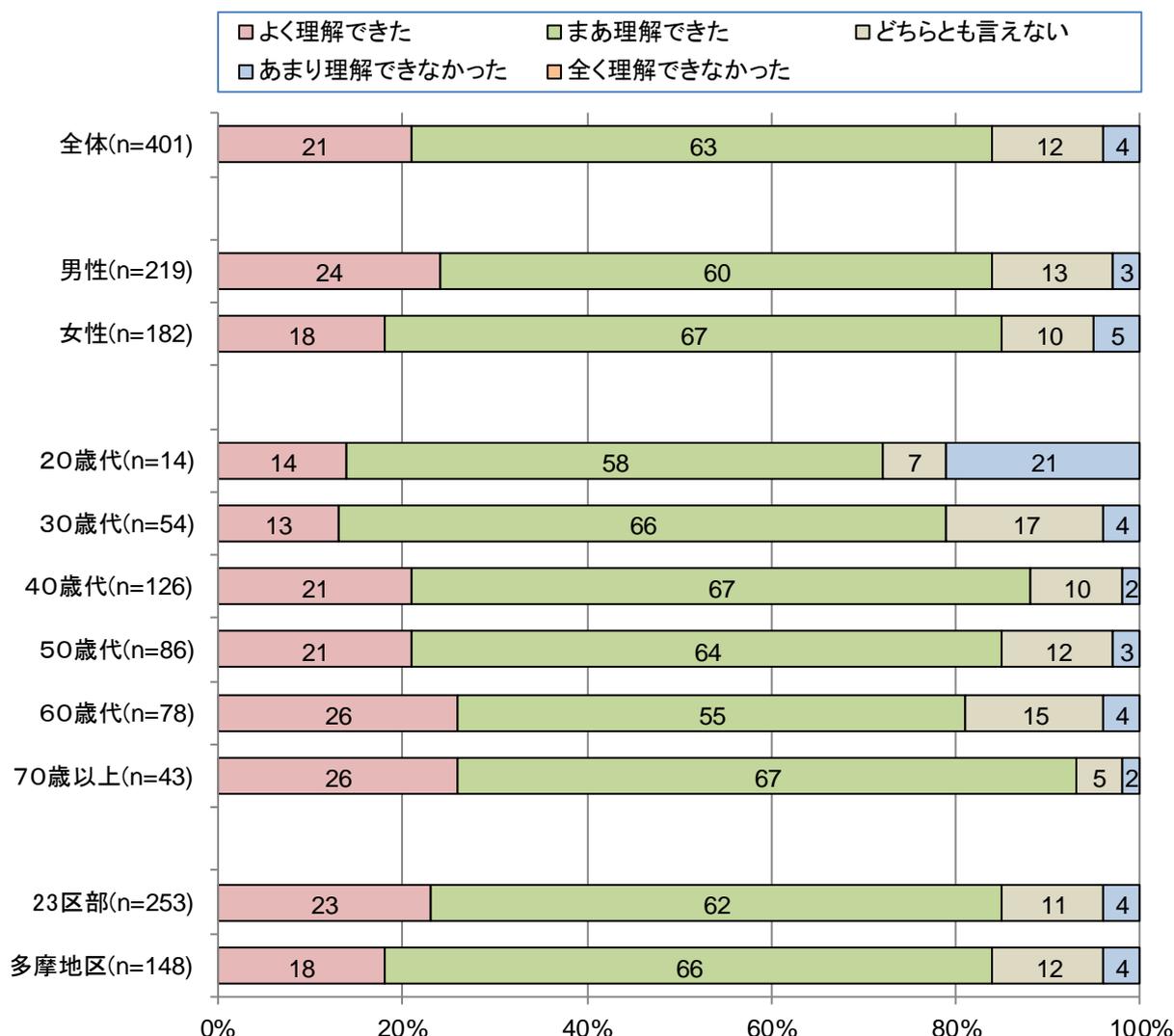


4.1.1.3 【浸水対策】への理解度

- ◆ 【浸水対策】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が84%、「どちらとも言えない」が12%、「あまり理解できなかった」が4%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が84%、女性が85%となり、男性と女性で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、【再構築】と同様に、40歳代の88%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示したが、最も高い値を示したのは、70歳以上で93%であった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が85%、多摩地区が84%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-3 【浸水対策】への理解度

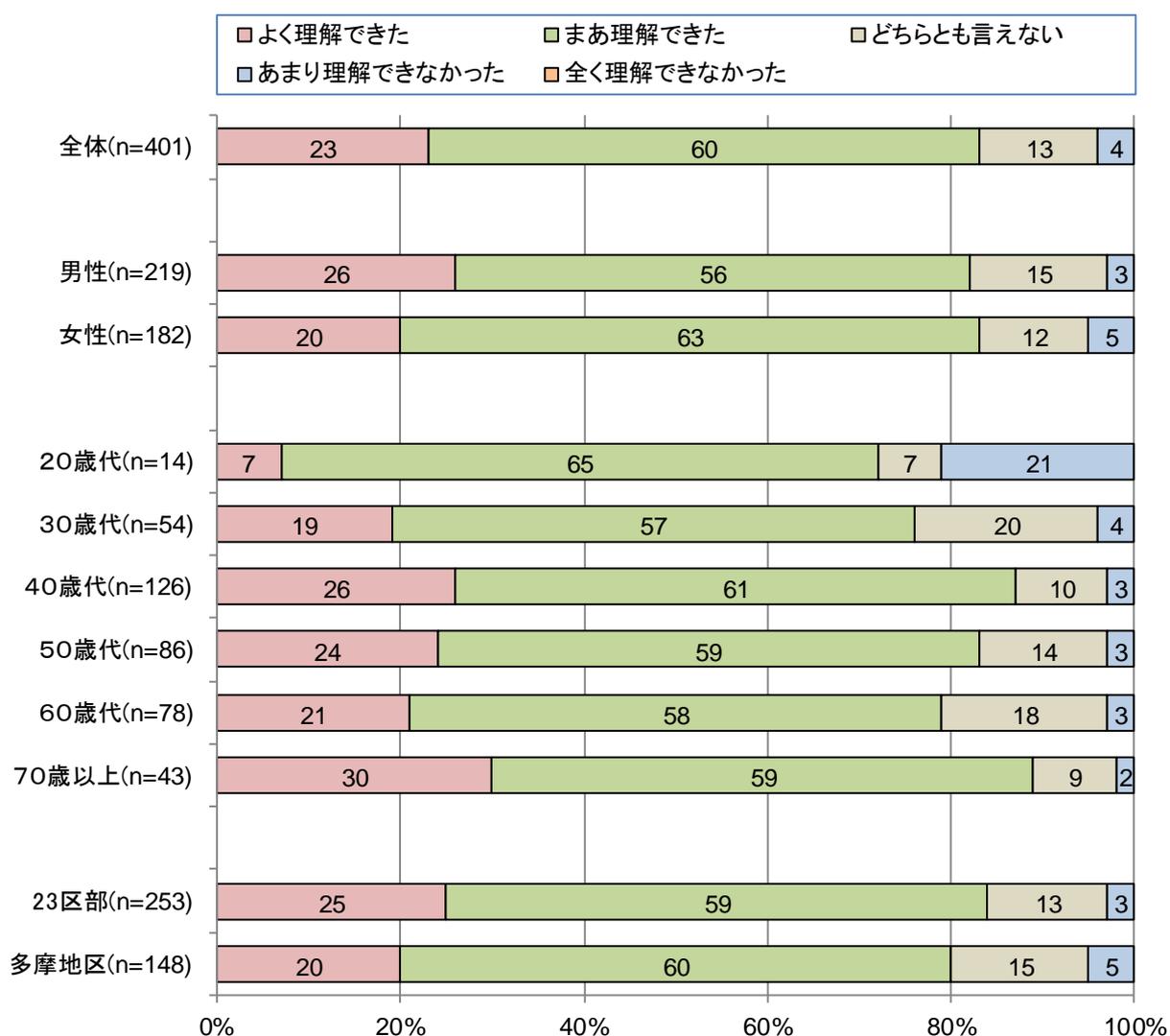


4.1.1.4 【震災対策】への理解度

- ◆ 【震災対策】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が83%、「どちらとも言えない」が13%、「あまり理解できなかった」が4%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が82%、女性が83%と、男性と女性で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、【再構築】、【浸水対策】と同様に、40歳代の87%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示したが、最も高い値を示したのは、70歳以上の89%であった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が84%、多摩地区が80%となり、23区部が多摩地区に比べ、4ポイントと若干高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-4 【震災対策】への理解度

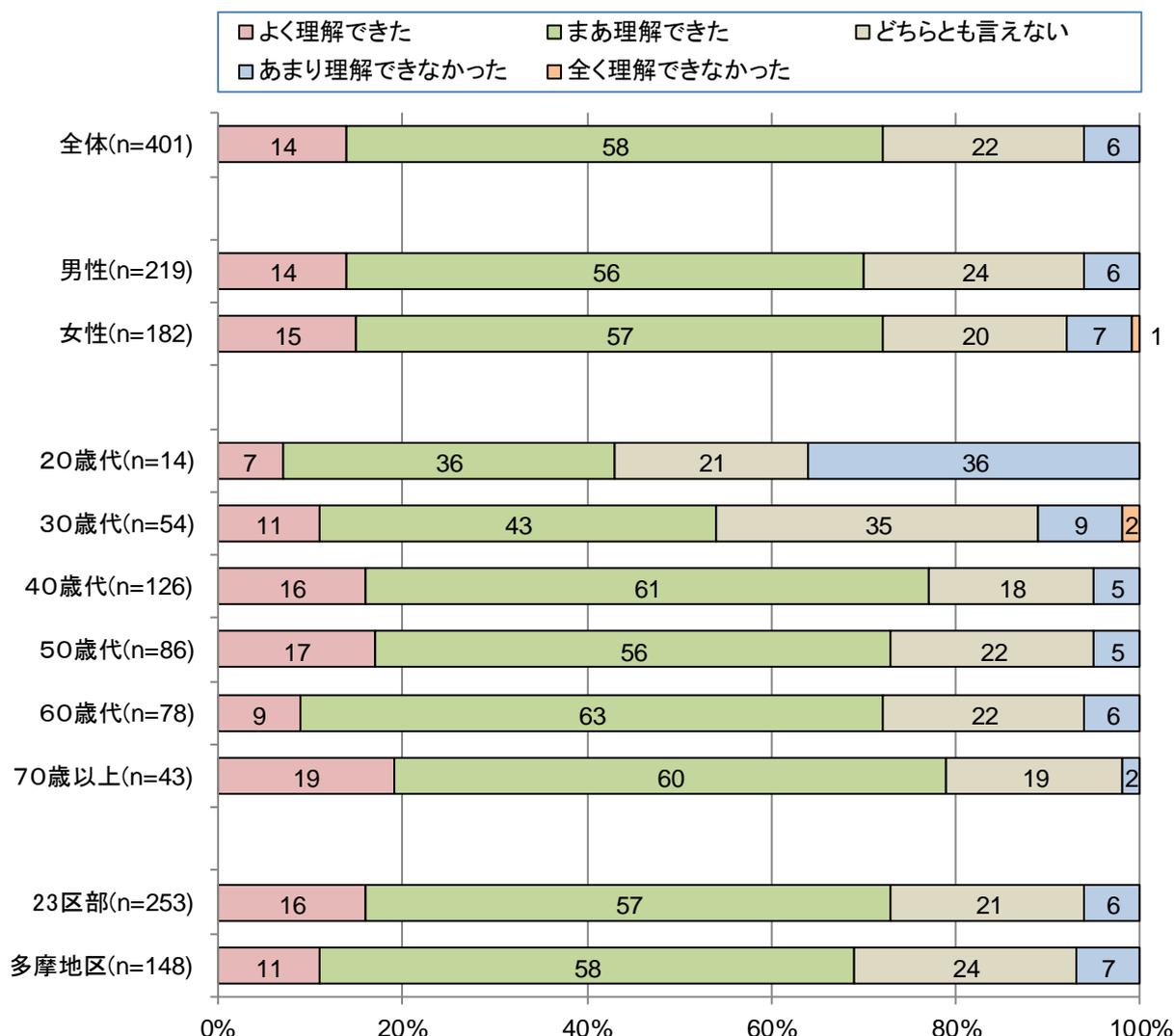


4.1.1.5 【合流式下水道の改善】への理解度

- ◆ 【合流式下水道の改善】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が72%、「どちらとも言えない」が22%、「あまり理解できなかった」が6%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が70%、女性が72%となり、男性と女性で大きな差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、他の施策と同様に、40歳代の77%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示したが、最も高い値を示したのは、70歳以上の79%であった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が73%、多摩地区が69%となり、23区部が多摩地区に比べ、4ポイントと若干高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-5 【合流式下水道の改善】への理解度

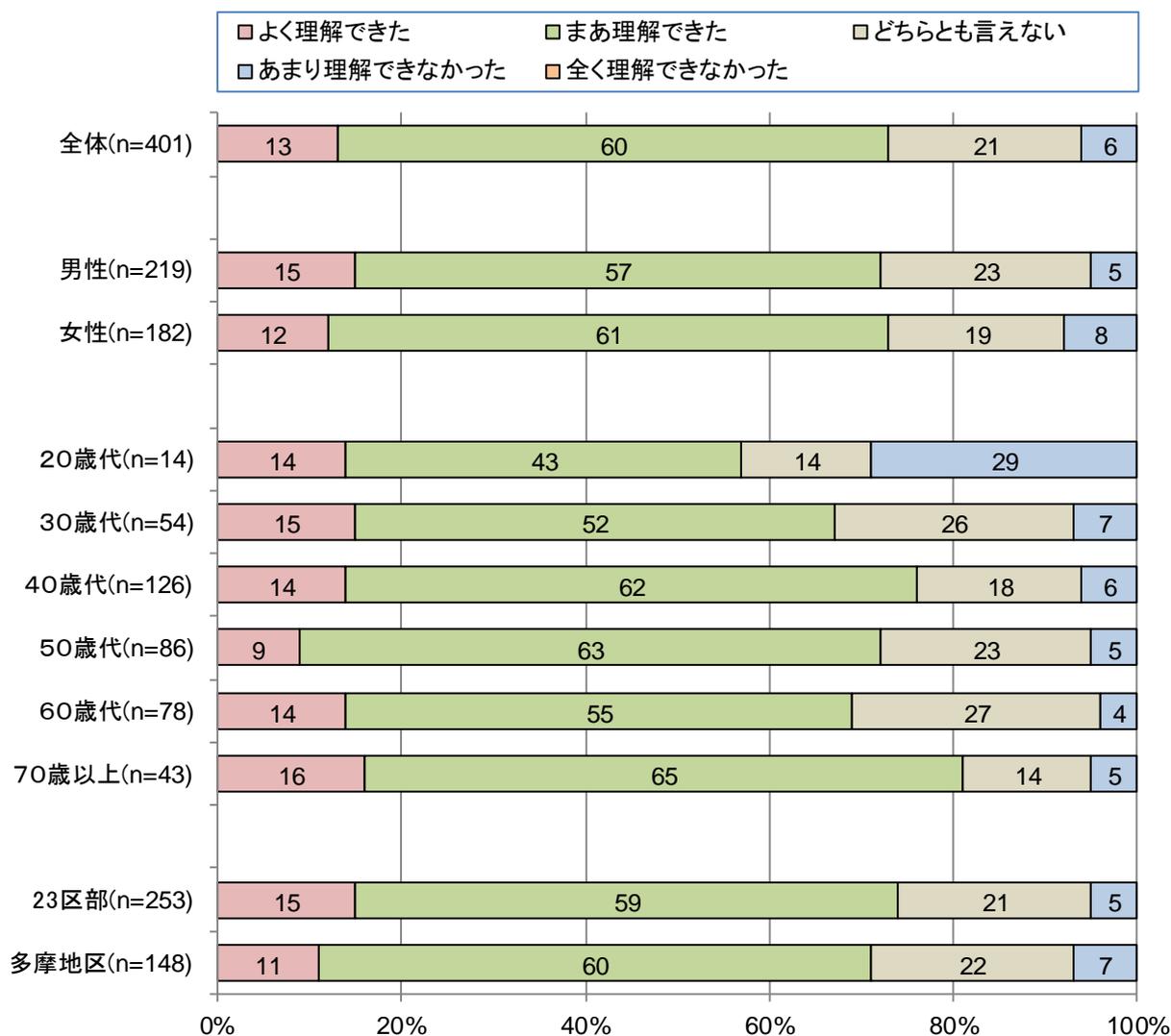


4.1.1.6 【高度処理】への理解度

- ◆ 【高度処理】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が73%、「どちらとも言えない」が21%、「あまり理解できなかった」が6%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が72%、女性が73%となり、男性と女性で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、他の施策と同様に、40歳代の76%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示したが、最も高い値を示したのは、70歳以上の81%であった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が74%、多摩地区が71%となり、23区部が多摩地区に比べ、3ポイントと若干高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-6 【高度処理】への理解度

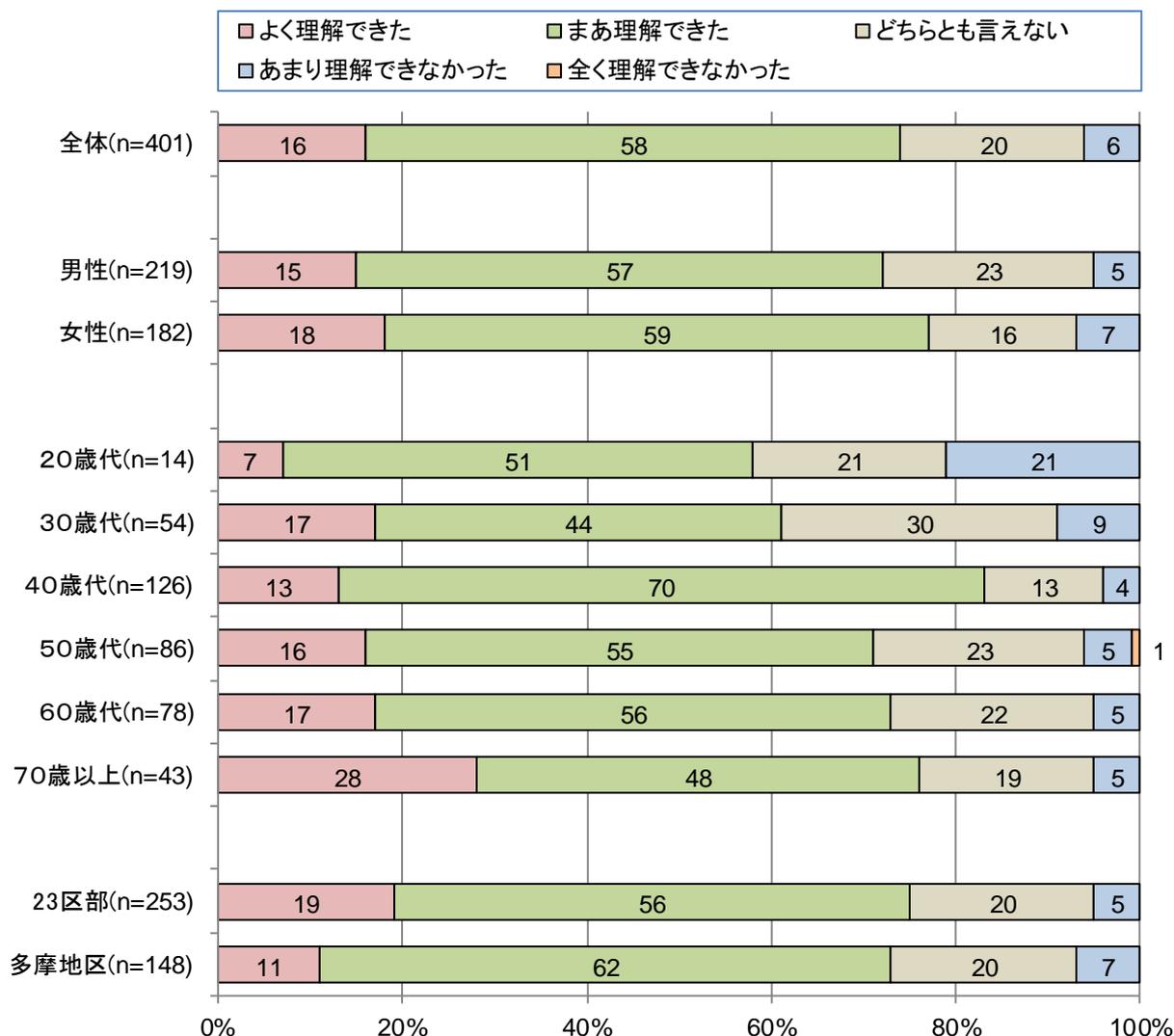


4.1.1.7 【エネルギー・地球温暖化対策】への理解度

- ◆ 【エネルギー・地球温暖化対策】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が74%、「どちらとも言えない」が20%、「あまり理解できなかった」が6%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が72%、女性が77%となり、女性が男性より5ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、年代の上昇とともに理解度も上がる傾向が見られたが、特に40歳代の理解度が高く、83%を示した。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が75%、多摩地区が73%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-7 【エネルギー・地球温暖化対策】への理解度

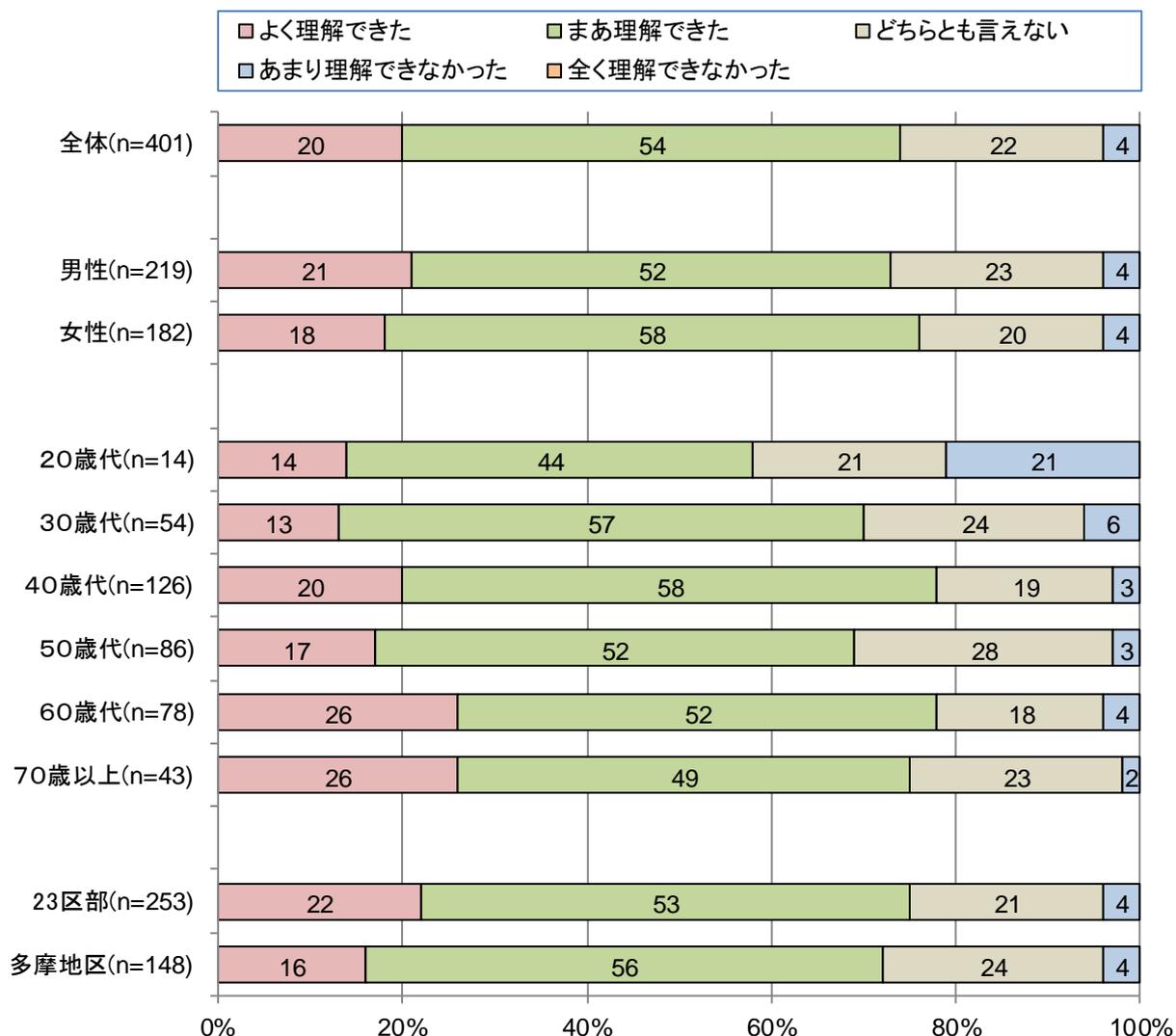


4.1.1.8 【東京下水道の「応援団」の獲得】への理解度

- ◆ 【東京下水道の「応援団」の獲得】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が74%、「どちらとも言えない」が22%、「あまり理解できなかった」が4%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が73%、女性が76%となり、男性が女性に比べ3ポイントと若干低い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、40歳代と60歳代がともに78%と最も高かったが、年代と理解度に顕著な相関は見られなかった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が75%、多摩地区が72%となり、23区部が多摩地区に比べ、3ポイントと若干高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-8 【東京下水道の「応援団」の獲得】への理解度

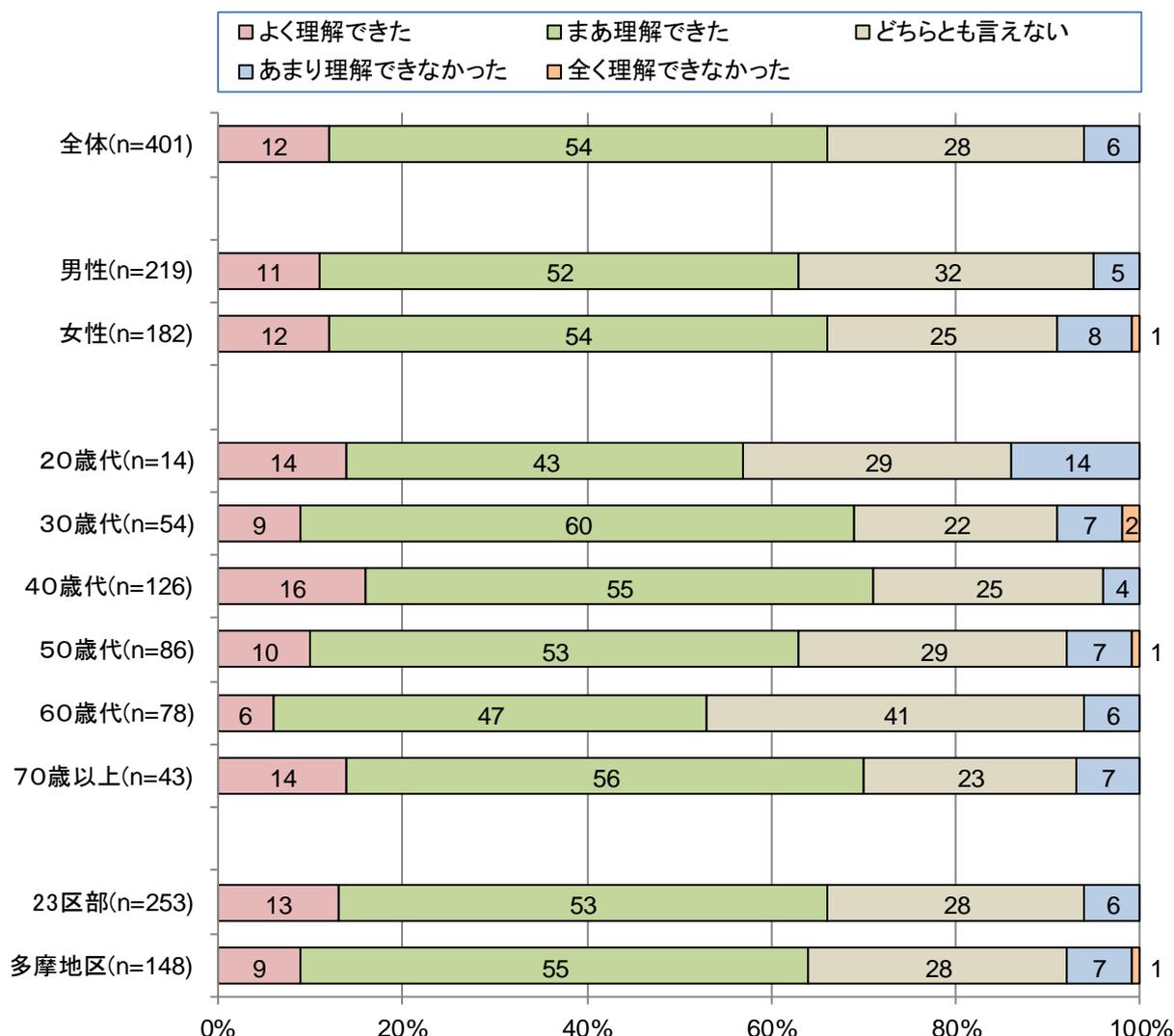


4.1.1.9 【企業努力と財政収支】への理解度

- ◆ 【企業努力と財政収支】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が66%、「どちらとも言えない」が28%、「あまり理解できなかった」が6%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が63%、女性が66%となり、男性が女性に比べ3ポイントと若干低い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、他の施策と同様に、40歳代の71%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示した。その中で70歳以上は、特異的に70%と高い値を示した。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が66%、多摩地区が64%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-9 【企業努力と財政収支】への理解度

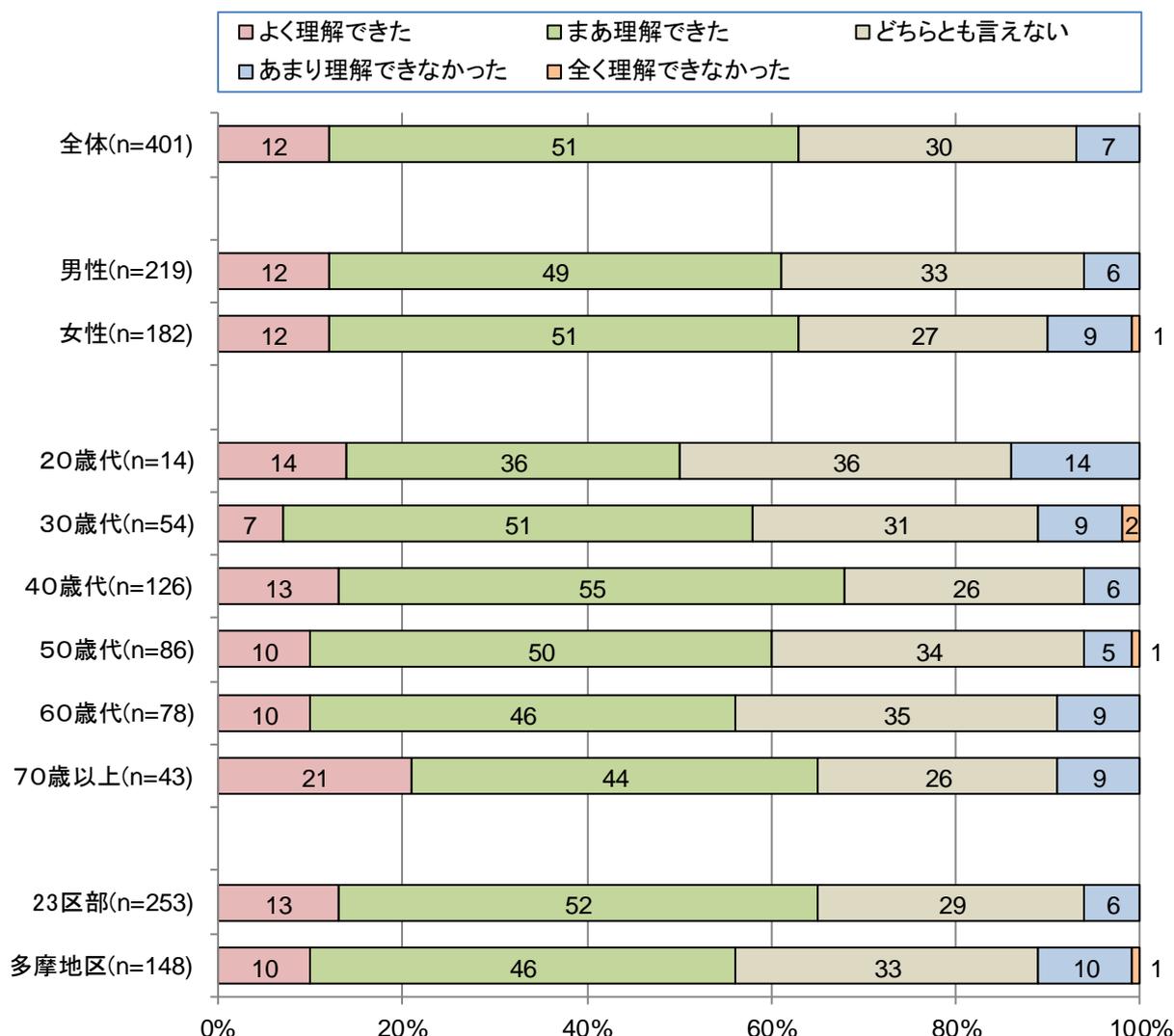


4.1.1.10 【事業指標の達成状況一覧】への理解度

- ◆ 【事業指標の達成状況一覧】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が63%、「どちらとも言えない」が30%、「あまり理解できなかった」が7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が61%、女性が63%となり、男性と女性で大きな差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、他の施策と同様に、40歳代の68%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示した。その中で70歳以上は、特異的に65%と高い値を示した。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が65%、多摩地区が56%となり、23区部が多摩地区より9ポイント高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-10 【事業指標の達成状況一覧】への理解度

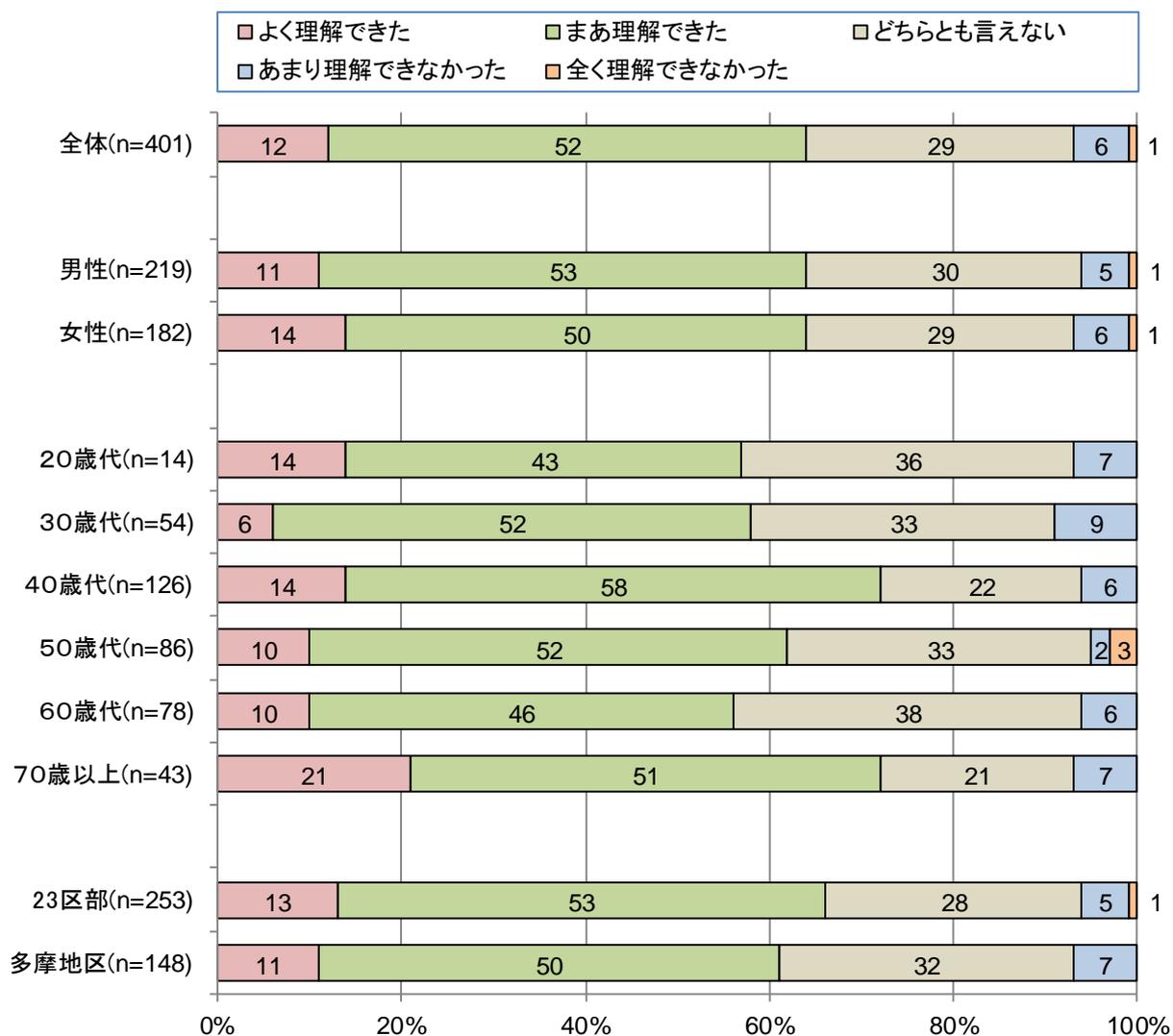


4.1.1.11 【事業効果の状況】への理解度

- ◆ 【事業効果の状況】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が64%、「どちらとも言えない」が29%、「あまり理解できなかった」が6%「全く理解できなかった」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性、女性ともに64%となり差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では、他の施策と同様に、40歳代の72%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示した。70歳以上は、40歳代と同一の72%となり、高い値を示した。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が66%、多摩地区が61%となり、23区部が多摩地区より5ポイント高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-1-11 【事業効果の状況】への理解度



4.1.2 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』の各施策への理解度が低い理由

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』への理解度が低い理由について、「専門用語が多く内容が難しい」が23%と最も高く、次いで「説明不足なところがある」が12%、「文字が多すぎる」が9%となった。

Q6 上記Q5の中で、「あまり理解できなかった」「全く理解できなかった」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）

図表4-1-2 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』のへ理解度が低い理由

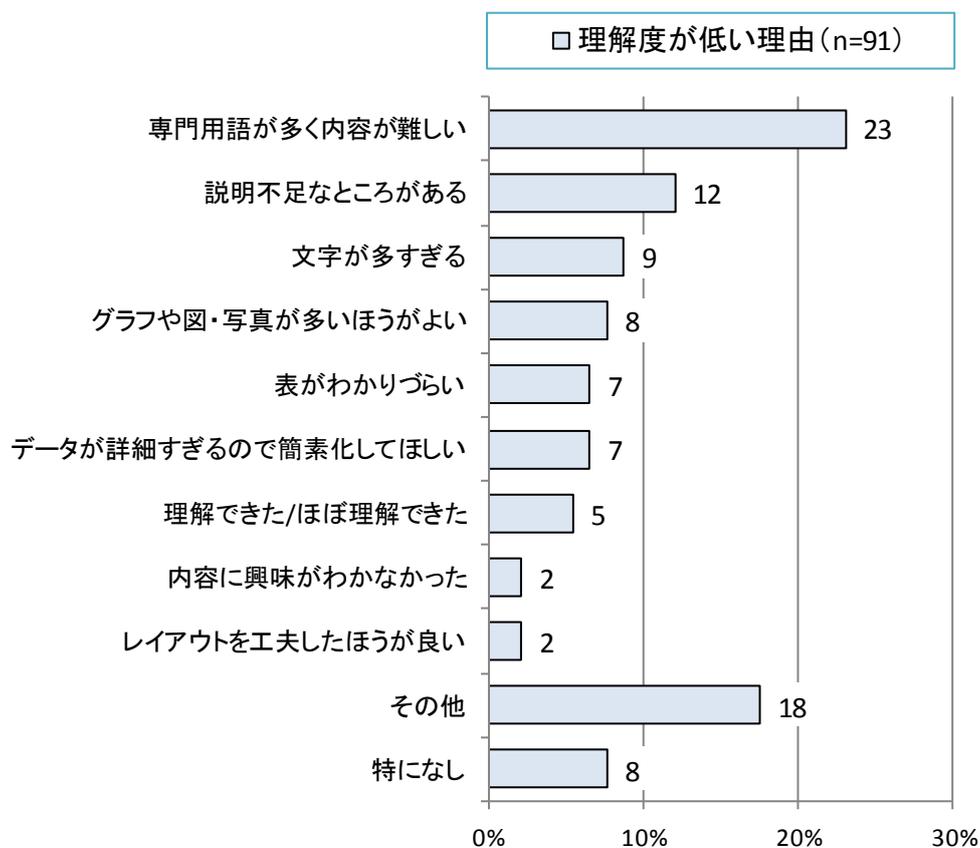


表 4-1-2 理解度が低いその他の理由

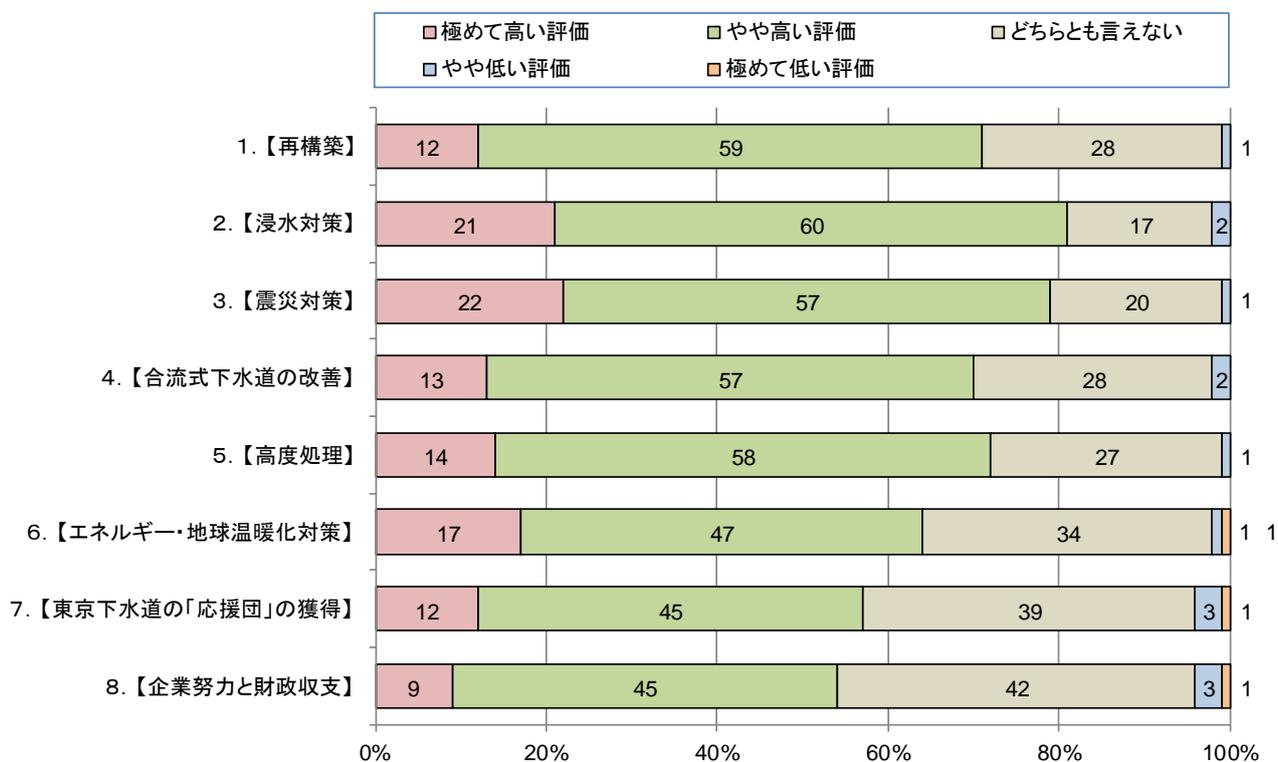
No	その他内容
1	興味を持っている人への資料としては有効だと思います。 意見要望を事業に反映とありますがそういったフォームが同じページにないのは不便です。モニター以外の人にも読んでもらえる工夫が必要と感じます。
2	[8 東京下水道の「応援団」の獲得]に関して、他のページ同様に出前授業の実施回数や下水道館の来館者数、サイト訪問者数などの前年比があるとよいかと思いました。
3	説明の仕方が”やったこと”が中心で、よく読めば理解できるが、わかりやすく作られた方が良いでしょう。
4	合流式下水道の改善について、オリンピックでお台場にて実施される遠泳に適さない原因が大雨時の合流下水と聞いたことにより多少の知識がある。対策として貯留池のことをさすと思うが、よくわからなかった。
5	レポートが都民に良く理解できるためにではなく、役所の中で”私達はこんな仕事をやりました”と自分たちの業績をアピールする書類となっている。かなりの力作で時間及びコストをふんだんに掛けて作成していますが、コストに敏感な民間企業なら、破かれて捨てられるような書類と思われます。簡潔でコストを掛けない書類作成を望みます。
6	これについての回答ではないが、前年に比べて、計画より支出が多くなっているのが気になる。
7	自分が住んでいる地域は、身近なことなので分かりやすいが他の地域は地理的にも理解できなかったから。また、震災対策については想定外なことが起こるので不安が残るから。
8	地球温暖化対策は世界的に問題になっているが、その内容が分かるようで分からない難しい課題です。
9	一覧表の数値が具体的にぴんとこなかった。
10	達成状況、事業効果状況は、他者評価がされたものですか？
11	説明は分かりやすいと思いました。日頃の知識不足を反省しました。
12	スマホでPDFを見ているので、冊子であれば理解するまで読んだと思う。
13	実際にみたことがないから。
14	わざとわかりにくくしているような気がしました。
15	その他内容2件

4.1.3 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 への評価

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』で「2.【浸水対策】」が81%と最も高く、次いで「3.【震災対策】」が79%、「5.【高度処理】」が72%となっており、一方、「7.【東京下水道の「応援団」の獲得】」は57%、「8.【企業努力と財政収支】」は54%となり、理解度と同様に、実施内容が見えづらい施策では評価も低い傾向となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

図表 4-1-3 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』 への評価

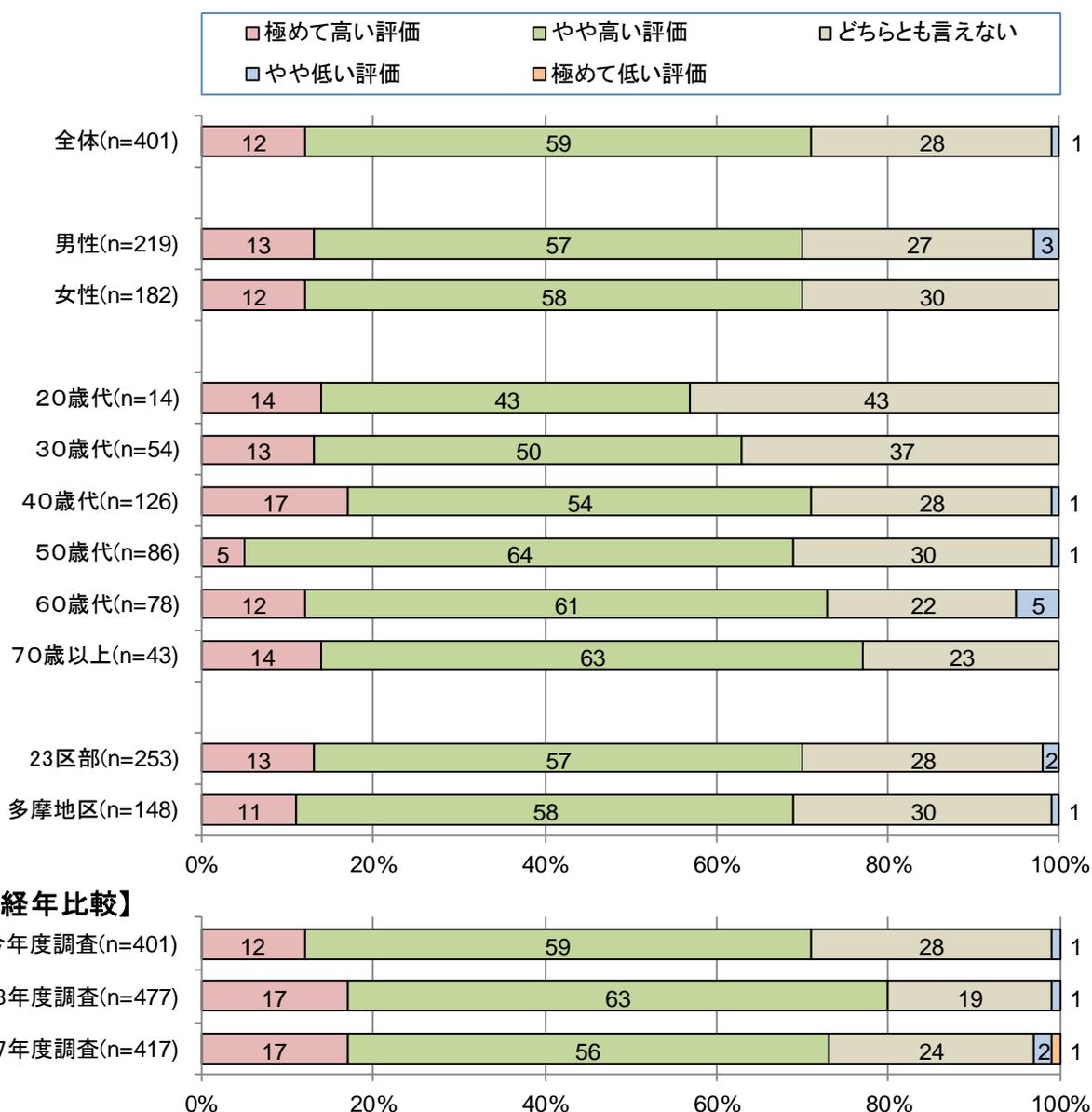


4.1.3.1 【再構築】への評価

- ◆ 【再構築】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が71%、「どちらとも言えない」が28%、「やや低い評価」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男女ともに70%となり差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では、年代の上昇とともに評価も上がる傾向が見られ、70歳以上が77%と最も高い値を示した。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が70%、多摩地区が69%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-1-3-1 【再構築】への評価

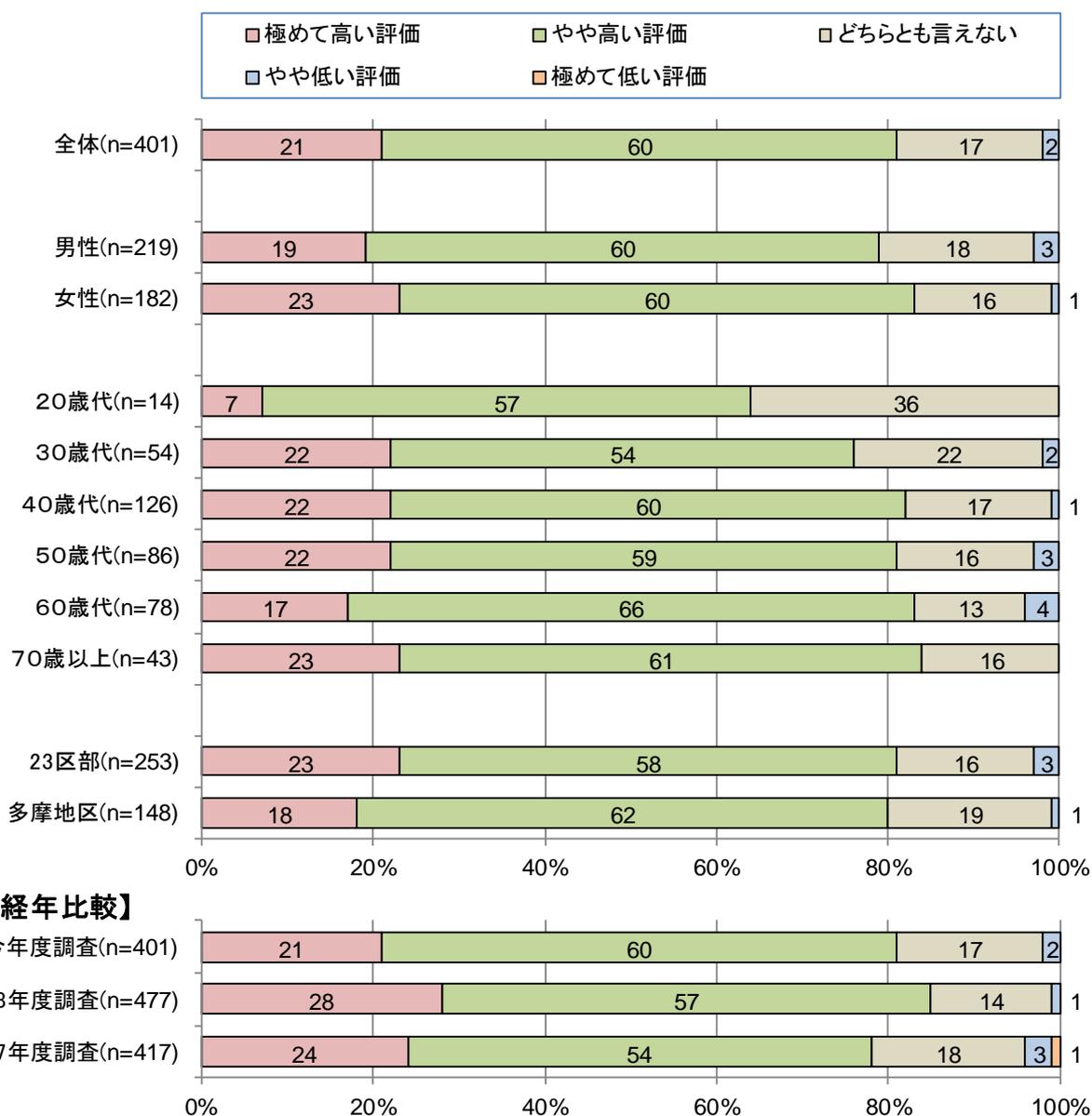


4.1.3.2 【浸水対策】への評価

- ◆ 【浸水対策】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が81%、「どちらとも言えない」が17%、「やや低い評価」が2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が79%、女性が83%となり、女性が男性に比べ4ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では、年代の上昇とともに評価も上がる傾向が見られ、70歳以上が84%と最も高い値を示した。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が81%、多摩地区が80%となり、23区部と多摩地区では差は見られなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-1-3-2 【浸水対策】への評価

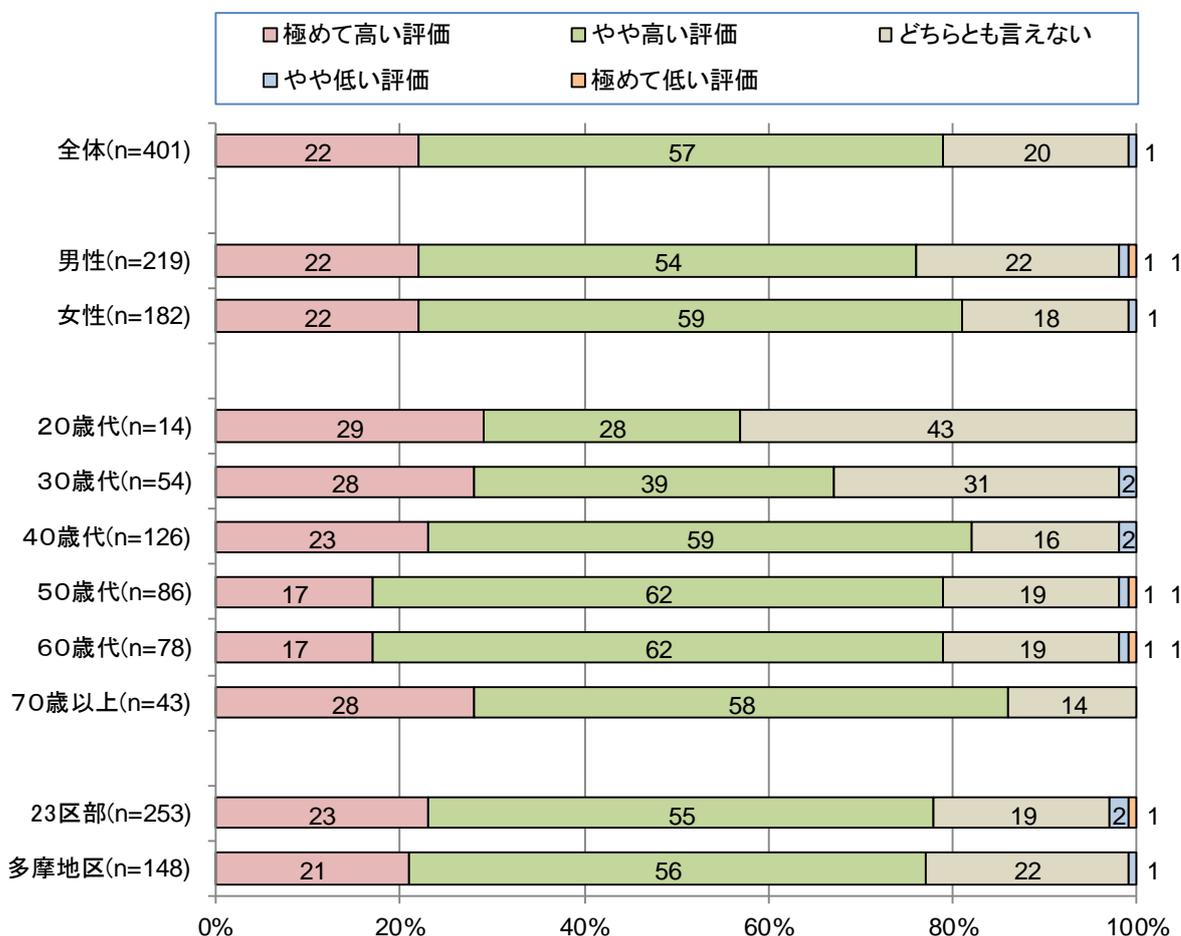


4.1.3.3 【震災対策】への評価

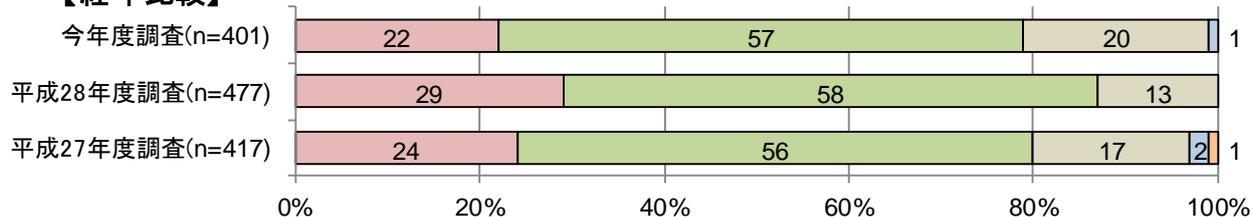
- ◆ 【震災対策】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が79%、「どちらとも言えない」が20%、「やや低い評価」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が76%、女性が81%となり、女性が男性に比べ5ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では、年代の上昇とともに評価も上がる傾向が見られ、70歳以上が86%と最も高い値を示した。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が78%、多摩地区が77%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-1-3-3 【震災対策】への評価



【経年比較】

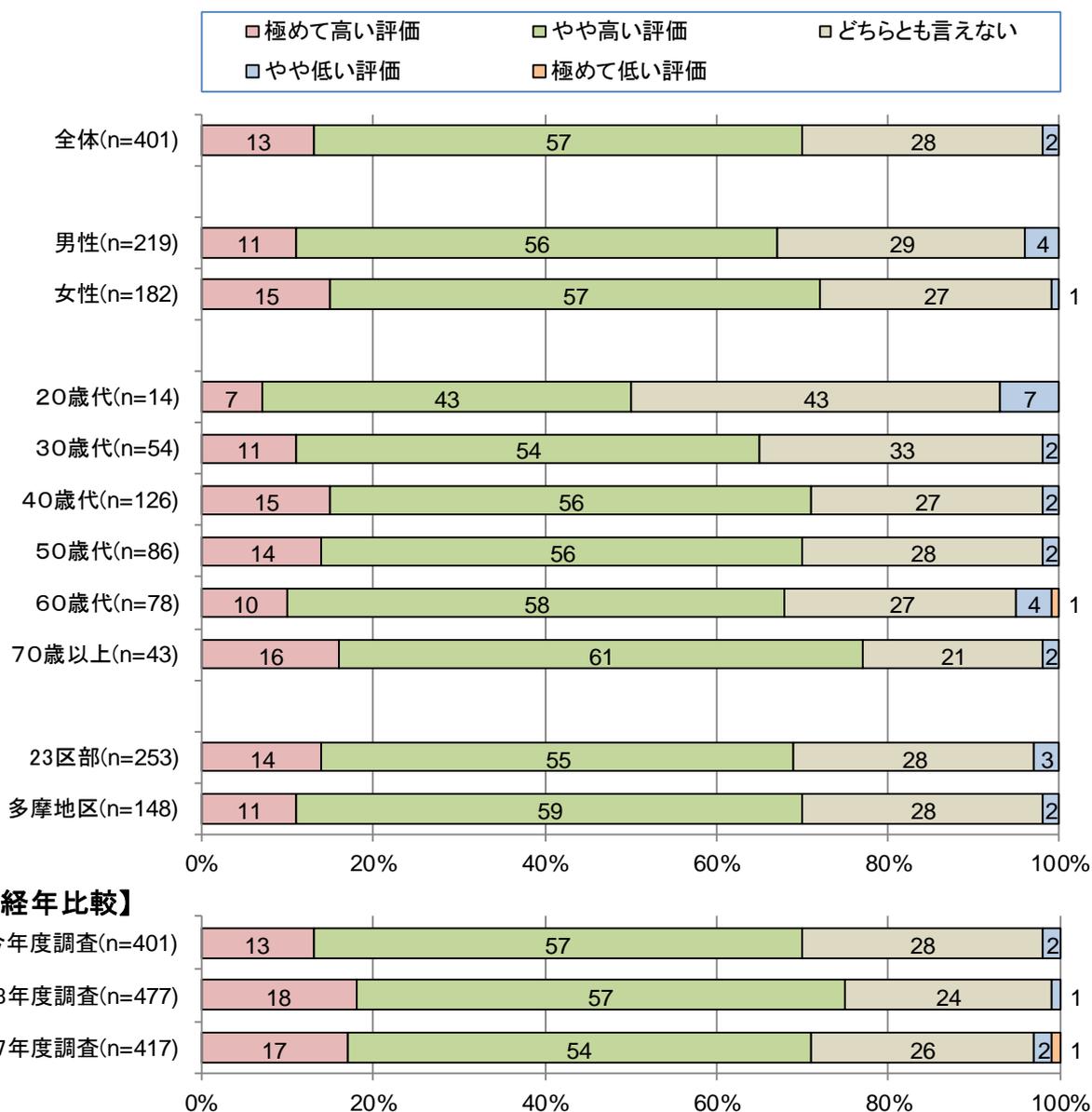


4.1.3.4 【合流式下水道の改善】への評価

- ◆ 【合流式下水道の改善】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が70%、「どちらとも言えない」が28%、「やや低い評価」が2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が67%、女性が72%と、女性が男性に比べ5ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』は理解度と同様な傾向を示し、40歳代の71%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示したが、最も高い値を示したのは、70歳以上の77%であった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が69%、多摩地区が70%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-1-3-4 【合流式下水道の改善】への評価

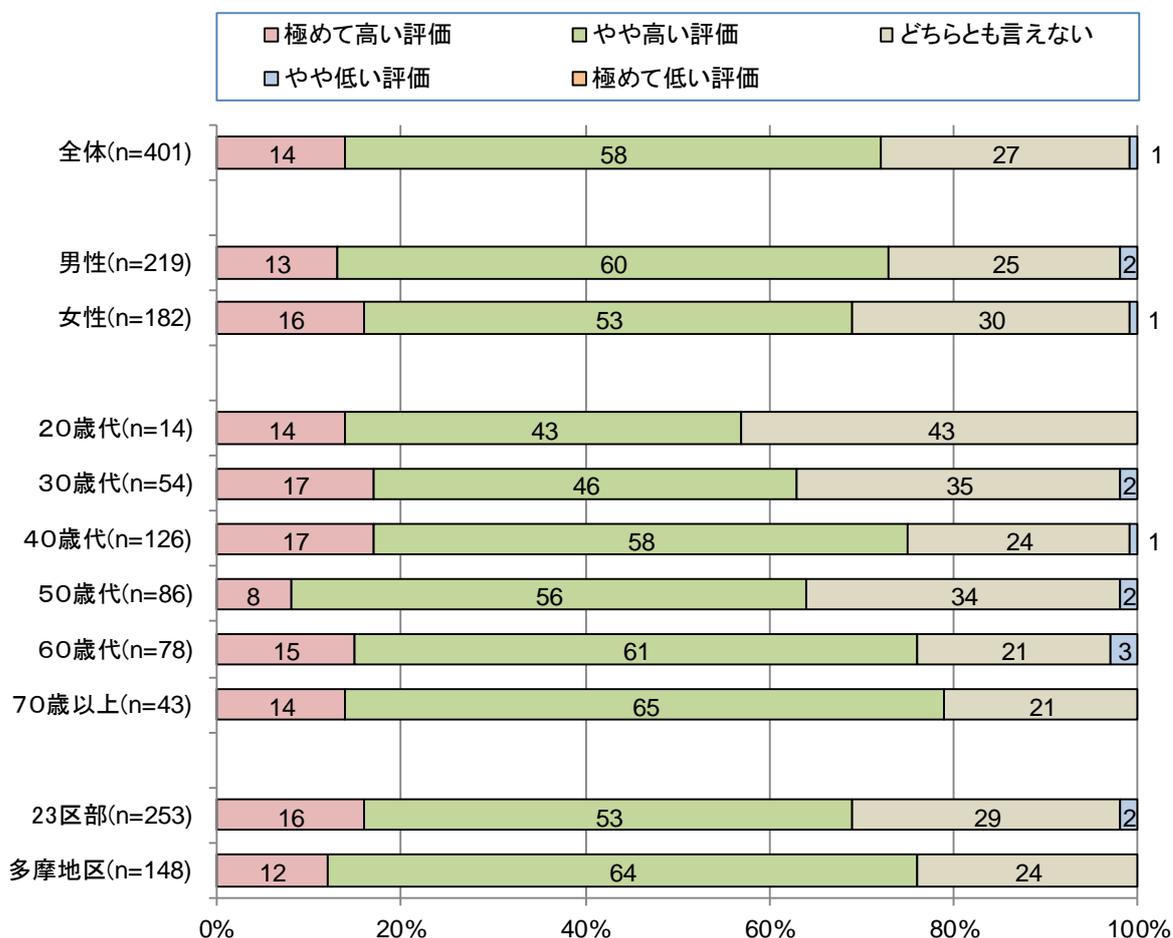


4.1.3.5 【高度処理】への評価

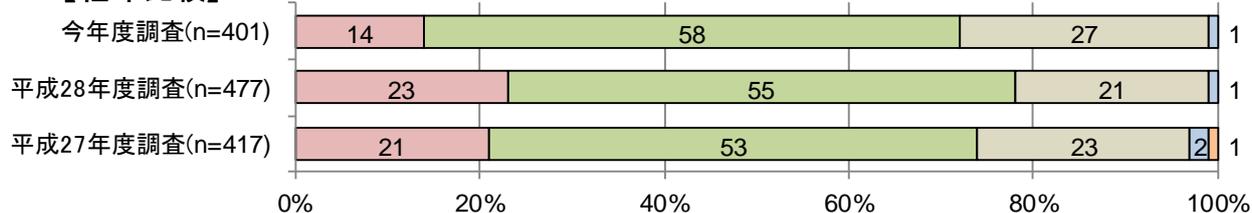
- ◆ 【高度処理】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が72%、「どちらとも言えない」が27%、「やや低い評価」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が73%、女性が69%と、男性が女性に比べ4ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では、年代の上昇とともに評価も上がる傾向が見られ、70歳以上が79%と最も高い値を示した。一方、50歳代は64%となり、評価が低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が69%、多摩地区が76%となり、多摩地区が23区部に比べ7ポイント高い結果となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-1-3-5 【高度処理】への評価



【経年比較】

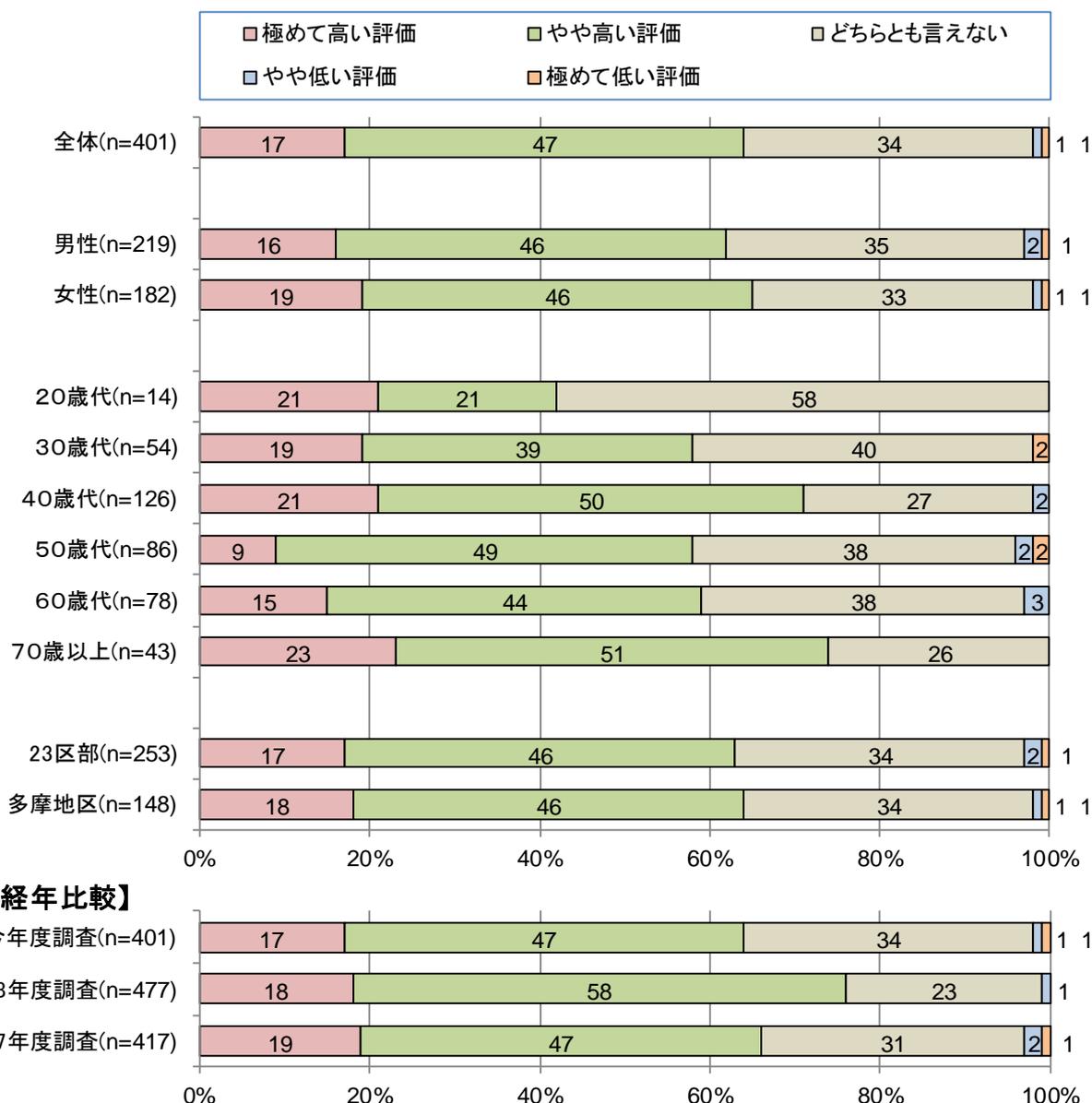


4.1.3.6 【エネルギー・地球温暖化対策】への評価

- ◆ 【エネルギー・地球温暖化対策】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が64%、「どちらとも言えない」が34%、「やや低い評価」が1%、「極めて低い評価」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が62%、女性が65%と、男性が女性に比べ3ポイントと若干低い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では、70歳以上（74%）と40歳代（71%）は高い値を示したが、他の年代では6割未満となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が63%、多摩地区が64%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

図表4-1-3-6 【エネルギー・地球温暖化対策】への評価

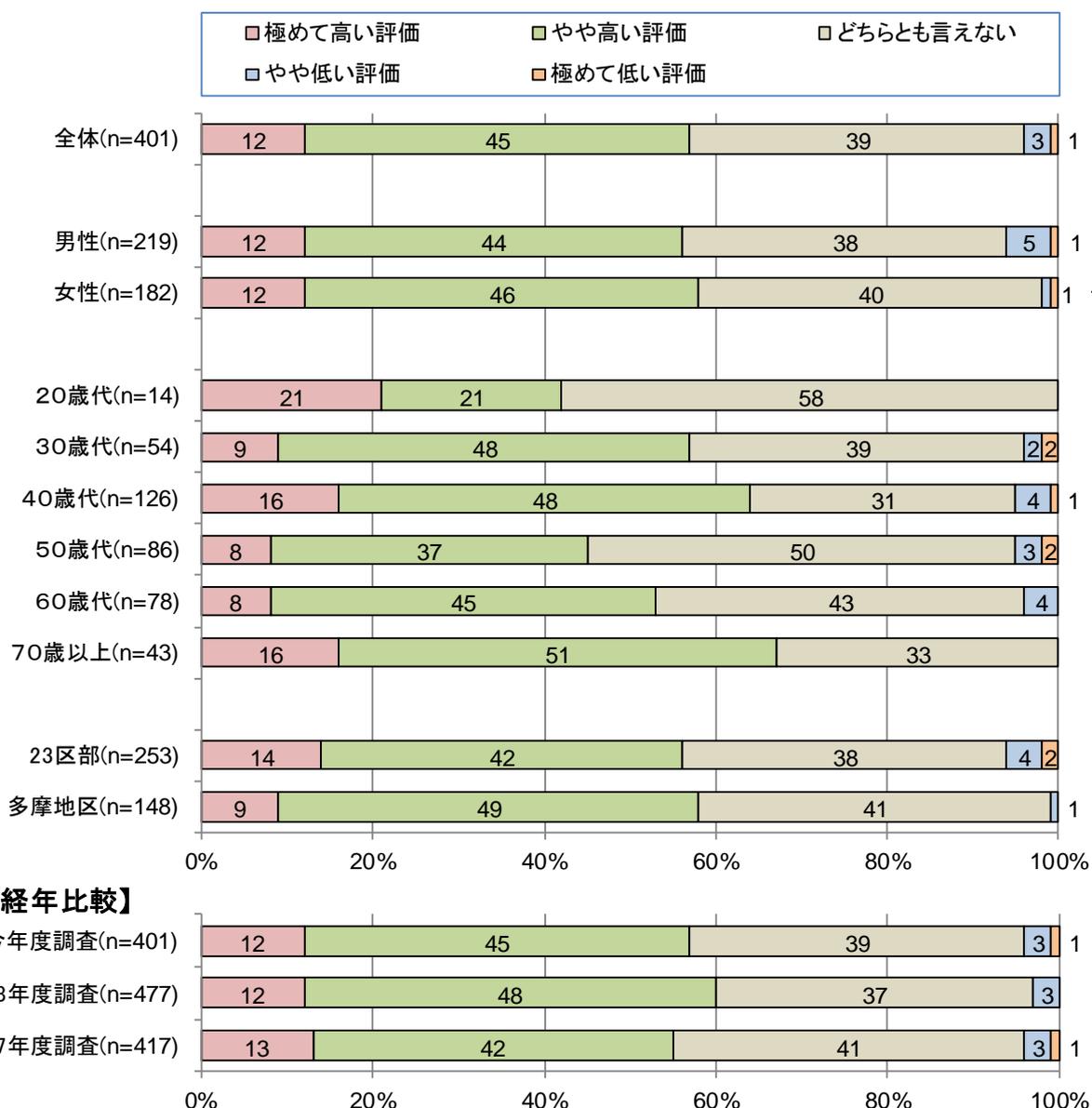


4.1.3.7 【東京下水道の「応援団」の獲得】への評価

- ◆ 【東京下水道の「応援団」の獲得】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が57%、「どちらとも言えない」が39%、「やや低い評価」が3%、「極めて低い評価」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が56%、女性が58%となり、男性と女性で大きな差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では、70歳以上（67%）と40歳代（64%）は6割を超えたが、他の年代では6割未満となり低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が56%、多摩地区が58%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

図表4-1-3-7 【東京下水道の「応援団」の獲得】への評価

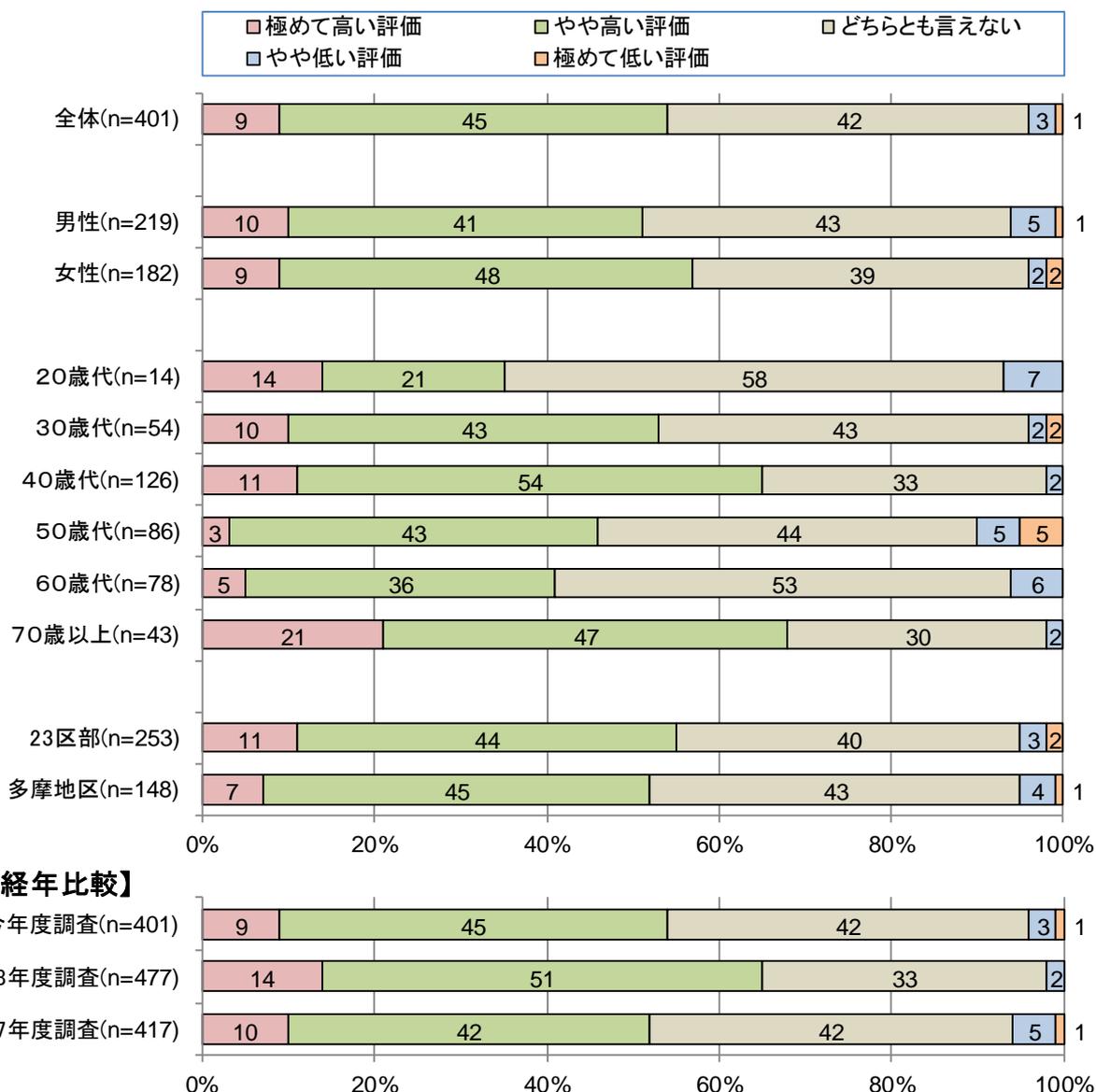


4.1.3.8 【企業努力と財政収支】への評価

- ◆ 【企業努力と財政収支】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が54%、「どちらとも言えない」が42%、「やや低い評価」が3%、「極めて低い評価」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が51%、女性が57%と、女性が男性より6ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』は理解度と同様な傾向を示し、40歳代の65%を頂点に年代が上がるとともに上昇・下降の傾向を示したが、最も高い値を示したのは、70歳以上の68%であった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が55%、多摩地区が52%となり、23区部が多摩地区に比べ3ポイントと若干高い結果となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-1-3-8 【企業努力と財政収支】への評価



4.1.4 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』の各施策への評価が低い理由

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』の各施策への評価が低い理由について、「内容が分かりづらい」が23%と最も高く、次いで「もっと努力や改善をしてほしい」が19%、「財政収支が赤字であるため」と「具体的な計画や対処策が述べられていない」がともに8%となった。

Q8 上記Q7の中で、「やや低い評価」「極めて低い評価」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図表4-1-4 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』の各施策への評価が低い理由

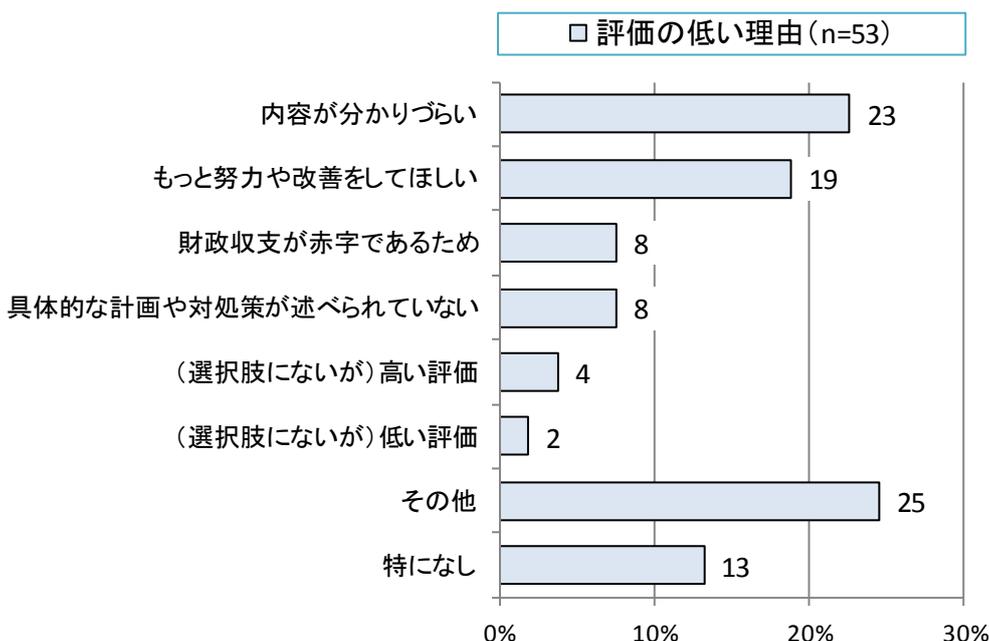


表4-1-4 各施策への評価が低いその他の理由

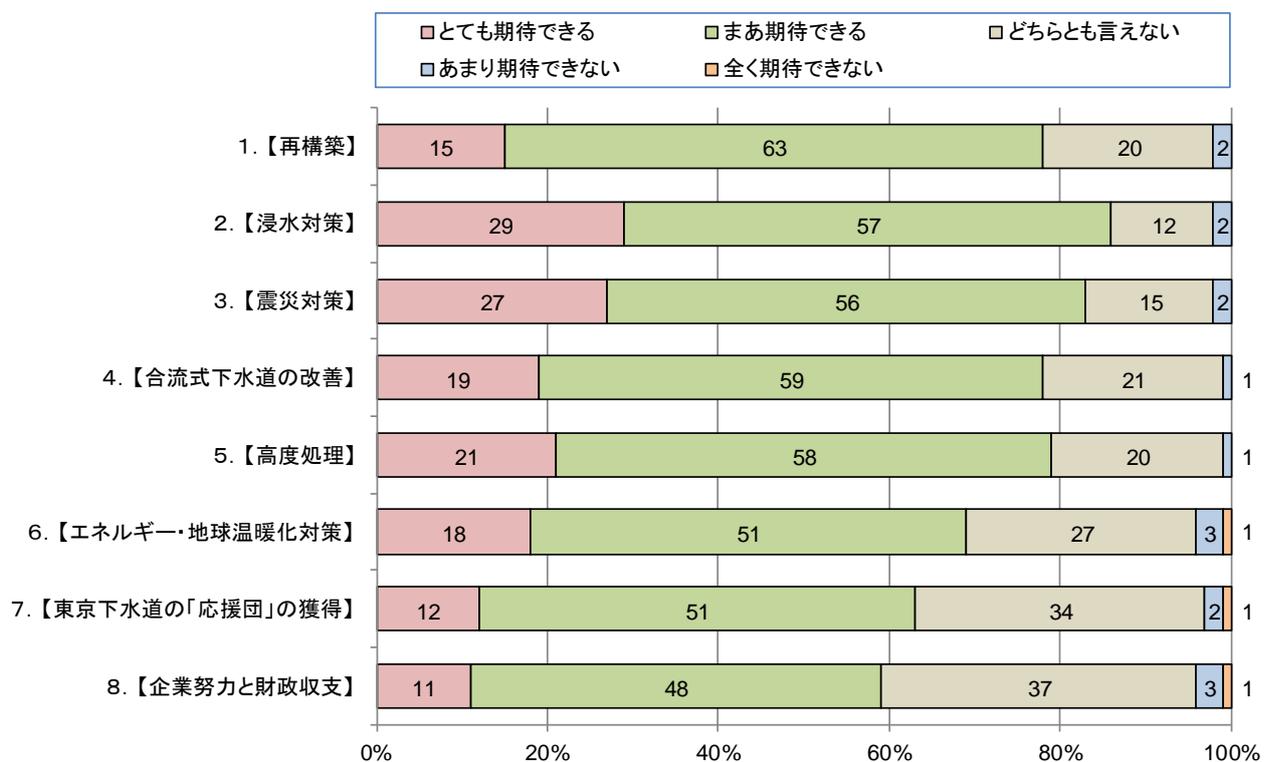
No	その他内容
1	独立したアンケートシートも悪くはないが、Webで行っているアンケートであるので”経営レポート”内に設問を設けた方が回答しやすい。
2	「企業努力と財政収支」この項目に関する内容を熟知しておりませんし、この2ページだけみて評価をすることが厳しいと感じました。
3	対応が区部に偏っている印象。
4	期限がわからない。
5	「東京下水道知ってもらい隊」の存在を知らなかった。東京都虹の下水道館は下水道モニターを始めてから知ったが周囲での知名度は低いように感じる。
6	細かいですが、平成はあと2年で終わると発表されました。和号は不安定なので西暦で記載してはいかががかと思います。
7	小学生の子供がいないため、応援団にピンとこなかった。
8	都民は特に震災、浸水に関心がある。
9	努力を評価します。
10	必要、不要のどちらかと言え、不要だと思ってしまったから。
11	実際のところ見たことがないから。
12	その他内容2件

4.1.5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』への期待度

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』で「2.【浸水対策】」が86%と最も高く、次いで「3.【震災対策】」が83%、「5.【高度処理】」が79%となっている。一方、理解度や評価と同様に、実施内容が見えづらい施策では期待度も低い傾向にあり、「8.【企業努力と財政収支】」は59%と最も低い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表 4-1-5 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』への期待度

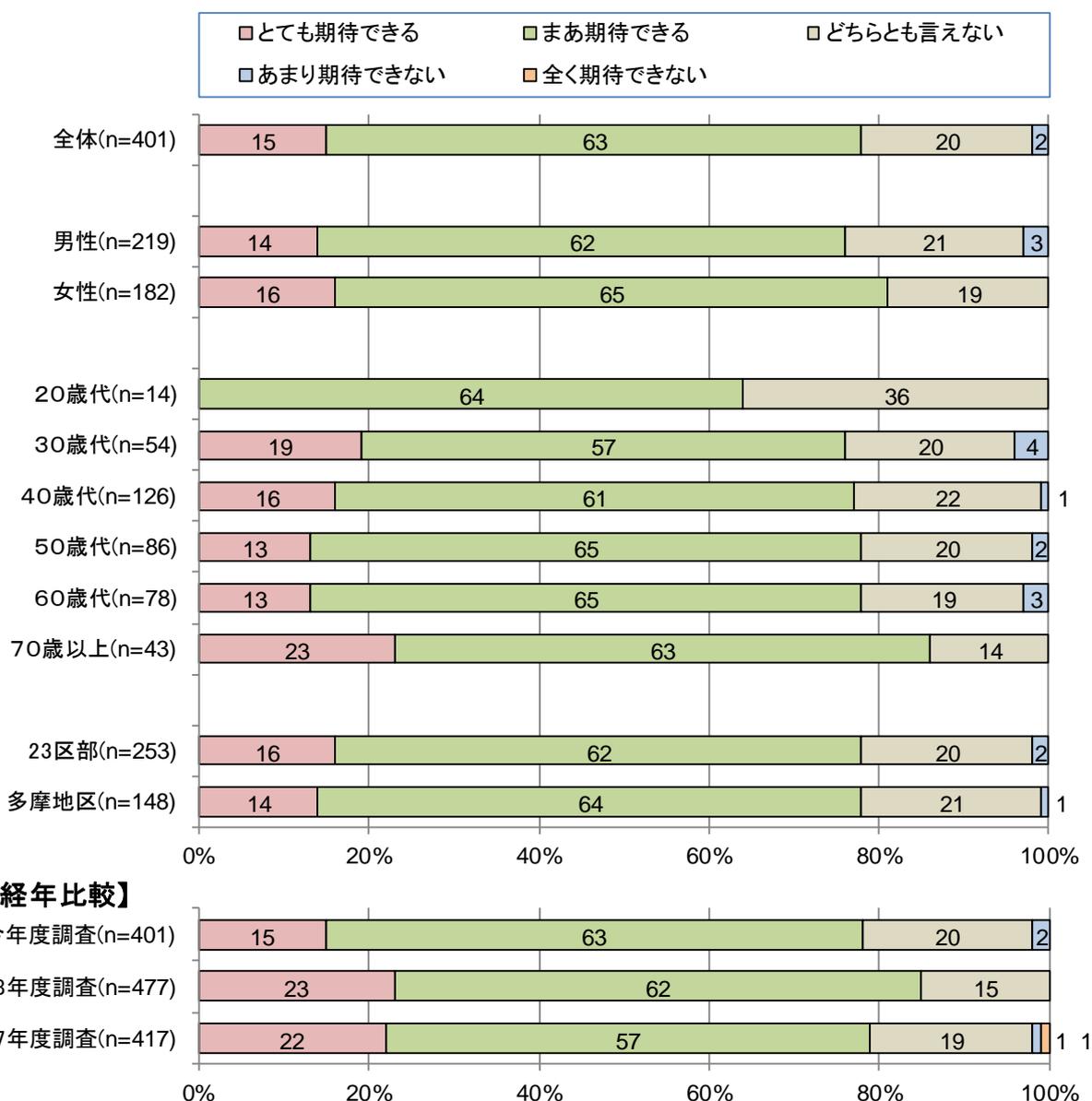


4.1.5.1 【再構築】への期待度

- ◆ 【再構築】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が78%、「どちらとも言えない」が20%、「あまり期待できない」が2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が76%、女性が81%となり、女性が男性より5ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では年代が上がるにつれ、値も高くなる傾向にあり、70歳以上では86%と最も高く、次いで50歳代と60歳代がともに78%となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部と多摩地区がともに78%となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-5-1 【再構築】への期待度

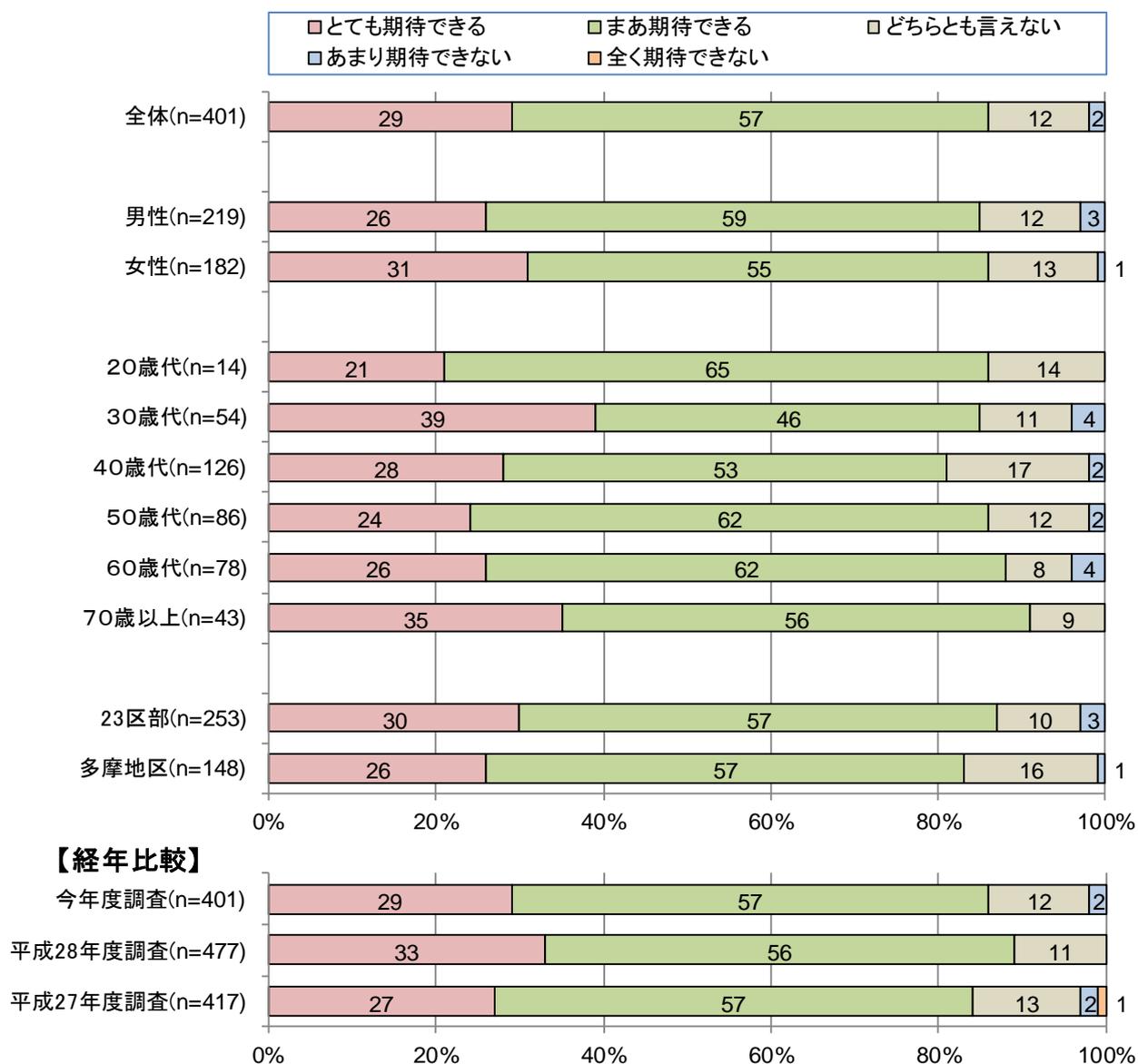


4.1.5.2 【浸水対策】への期待度

- ◆ 【浸水対策】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が86%、「どちらとも言えない」が12%、「あまり期待できない」が2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が85%、女性が86%となり、男性と女性で大きな差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では70歳以上が91%と最も高く、次いで60歳代が88%、50歳代が86%となったが、どの年代においても期待度は高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が87%、多摩地区が83%となり、23区部が多摩地区に比べ4ポイントと若干高い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-5-2 【浸水対策】への期待度

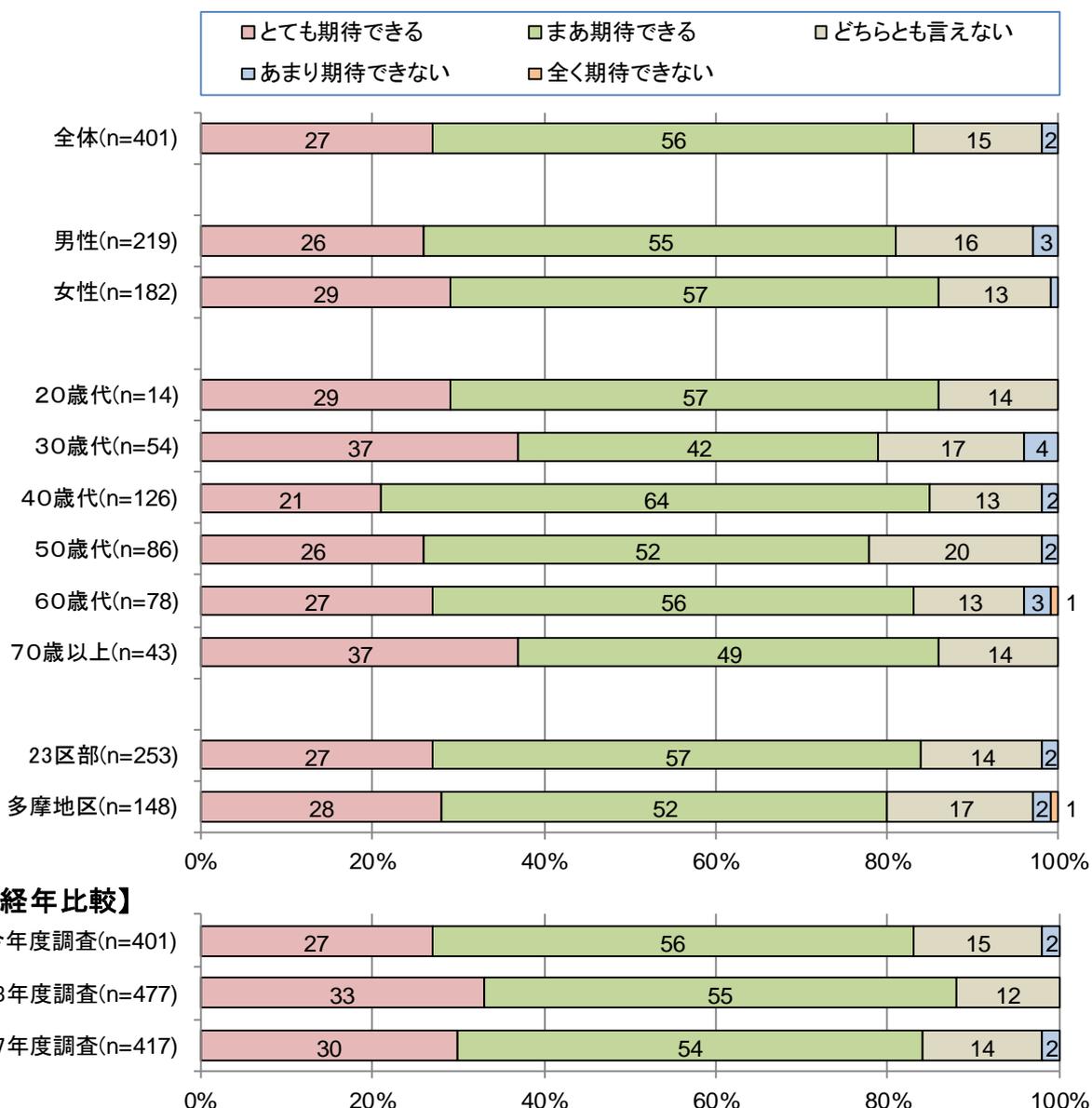


4.1.5.3 【震災対策】への期待度

- ◆ 【震災対策】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が83%、「どちらとも言えない」が15%、「あまり期待できない」が2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が81%、女性が86%と、女性が男性より5ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では70歳以上が86%と最も高く、次いで40歳代が85%、60歳代が83%となったが、どの年代においても期待度は高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が84%、多摩地区が80%となり、23区部が多摩地区に比べ4ポイントと若干高い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-5-3 【震災対策】への期待度

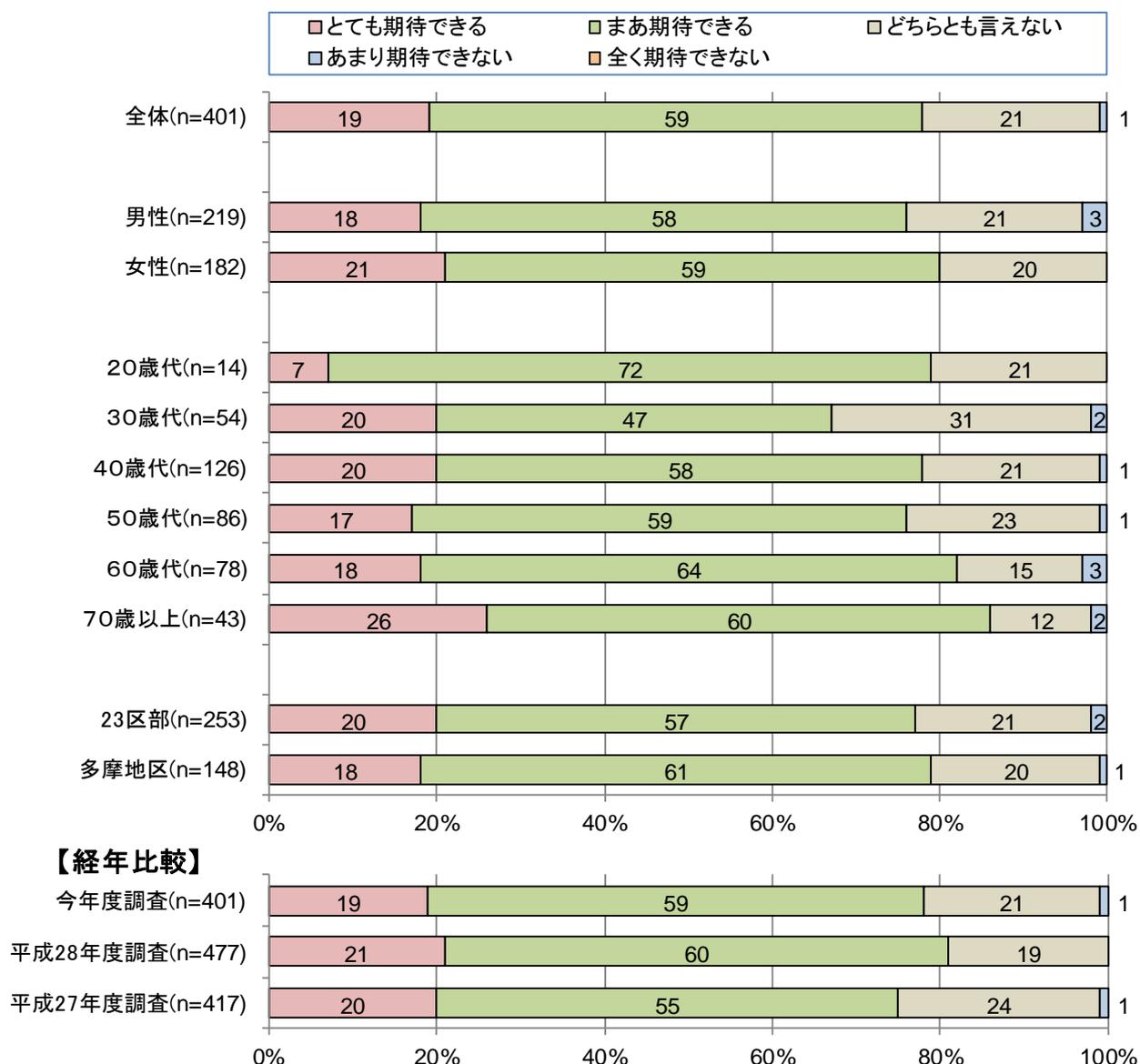


4.1.5.4 【合流式下水道の改善】への期待度

- ◆ 【合流式下水道の改善】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が78%、「どちらとも言えない」が21%、「あまり期待できない」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が76%、女性が80%と、女性が男性に比べ4ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では70歳以上が86%と最も高く、次いで60歳代が82%、40歳代が78%となった。どの年代においても期待度は高かったが、30歳代は67%と6割代の低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が77%、多摩地区が79%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-5-4 【合流式下水道の改善】への期待度

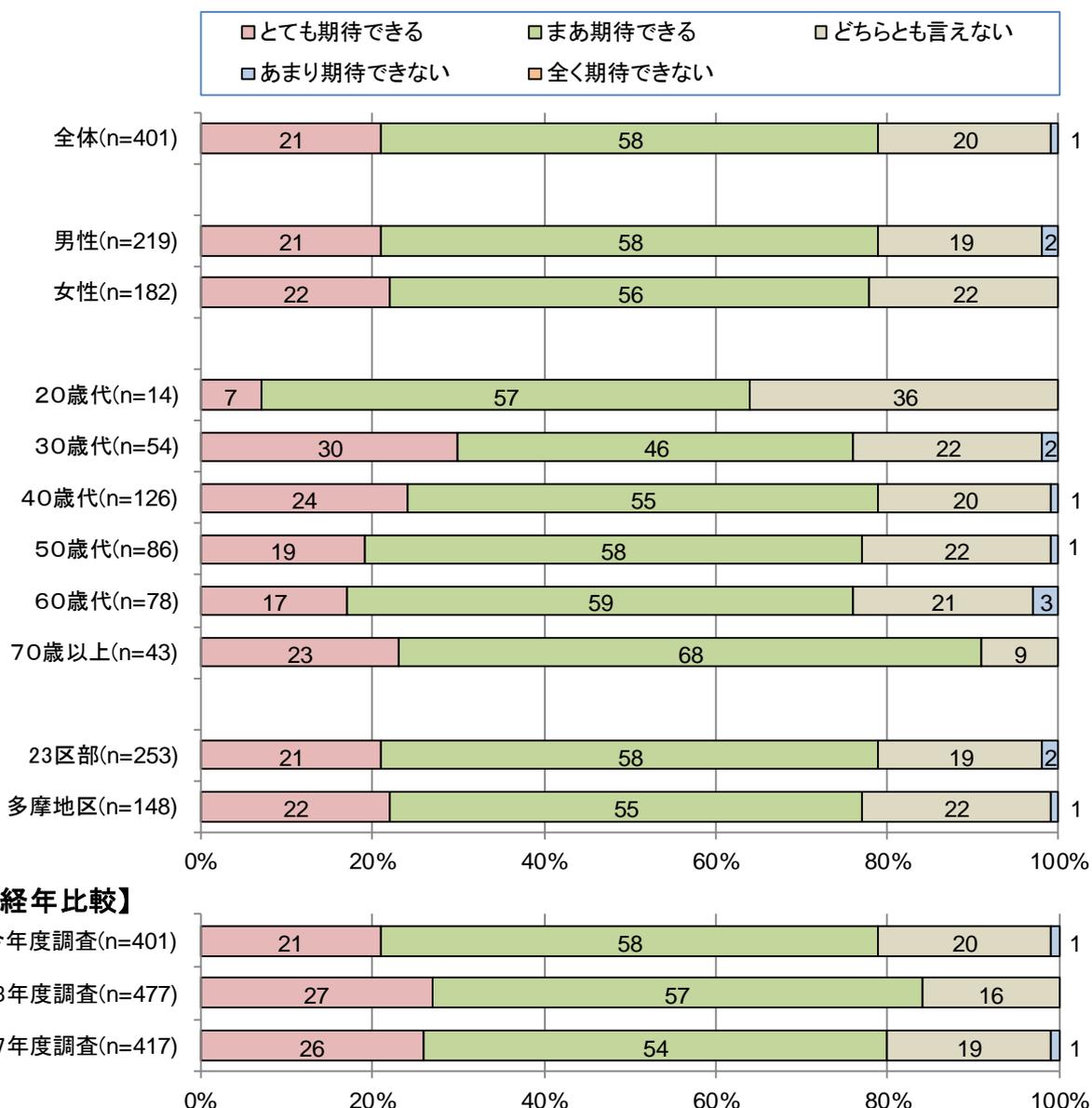


4.1.5.5 【高度処理】への期待度

- ◆ 【高度処理】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が79%、「どちらとも言えない」が20%、「あまり期待できない」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が79%、女性が78%となり、男性と女性で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では70歳以上が91%と突出して高く、次いで40歳代が79%、50歳代が77%となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が79%、多摩地区が77%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-5-5 【高度処理】への期待度

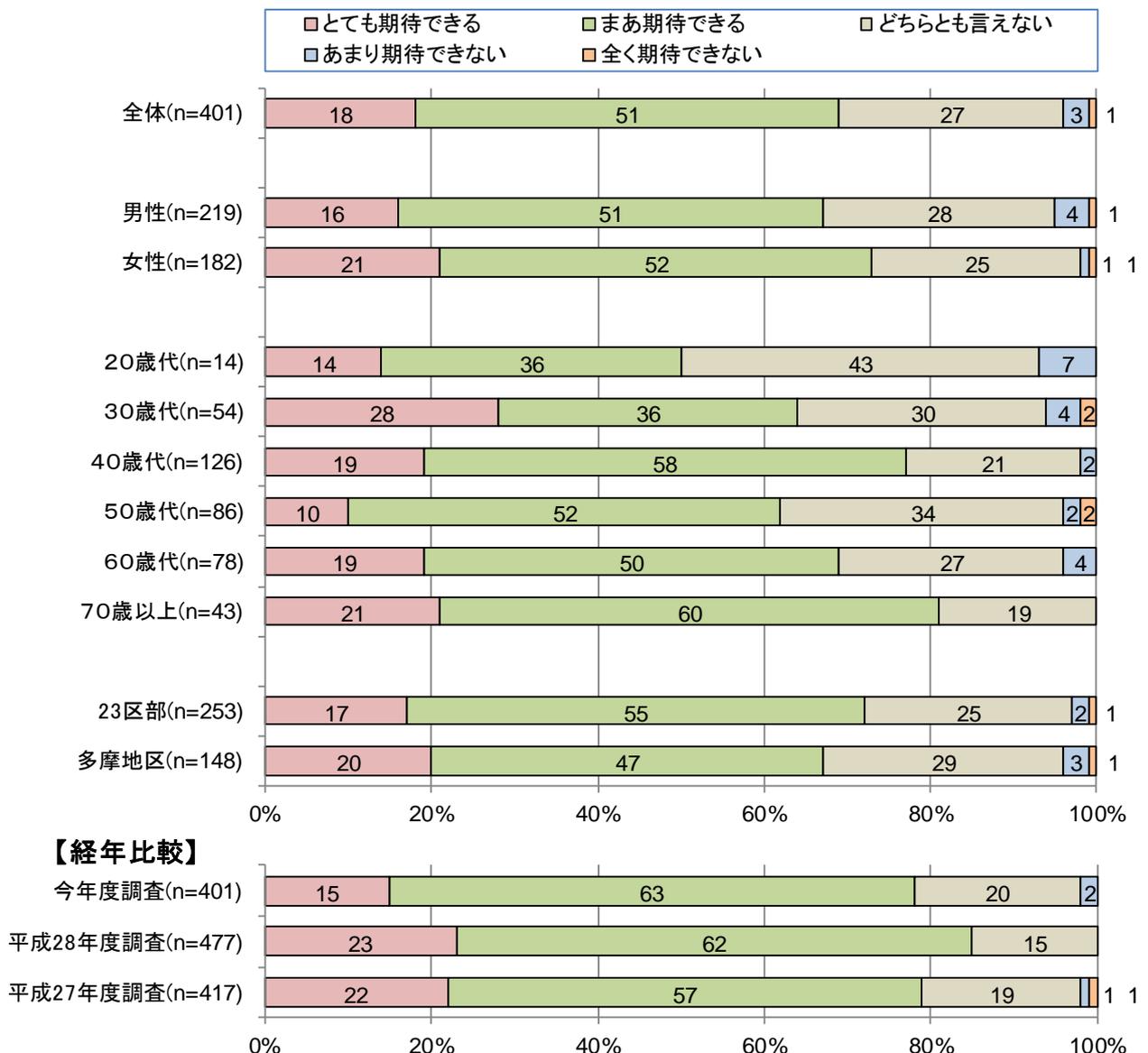


4.1.5.6 【エネルギー・地球温暖化対策】への期待度

- ◆ 【エネルギー・地球温暖化対策】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が69%、「どちらとも言えない」が27%、「あまり期待できない」が3%、「全く期待できない」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が67%、女性が73%となり、女性が男性より6ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では70歳以上と40歳代が特に高く、70歳以上が81%、40歳代が77%となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が72%、多摩地区が67%となり、23区部が多摩地区に比べ5ポイント高い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-5-6 【エネルギー・地球温暖化対策】への期待度

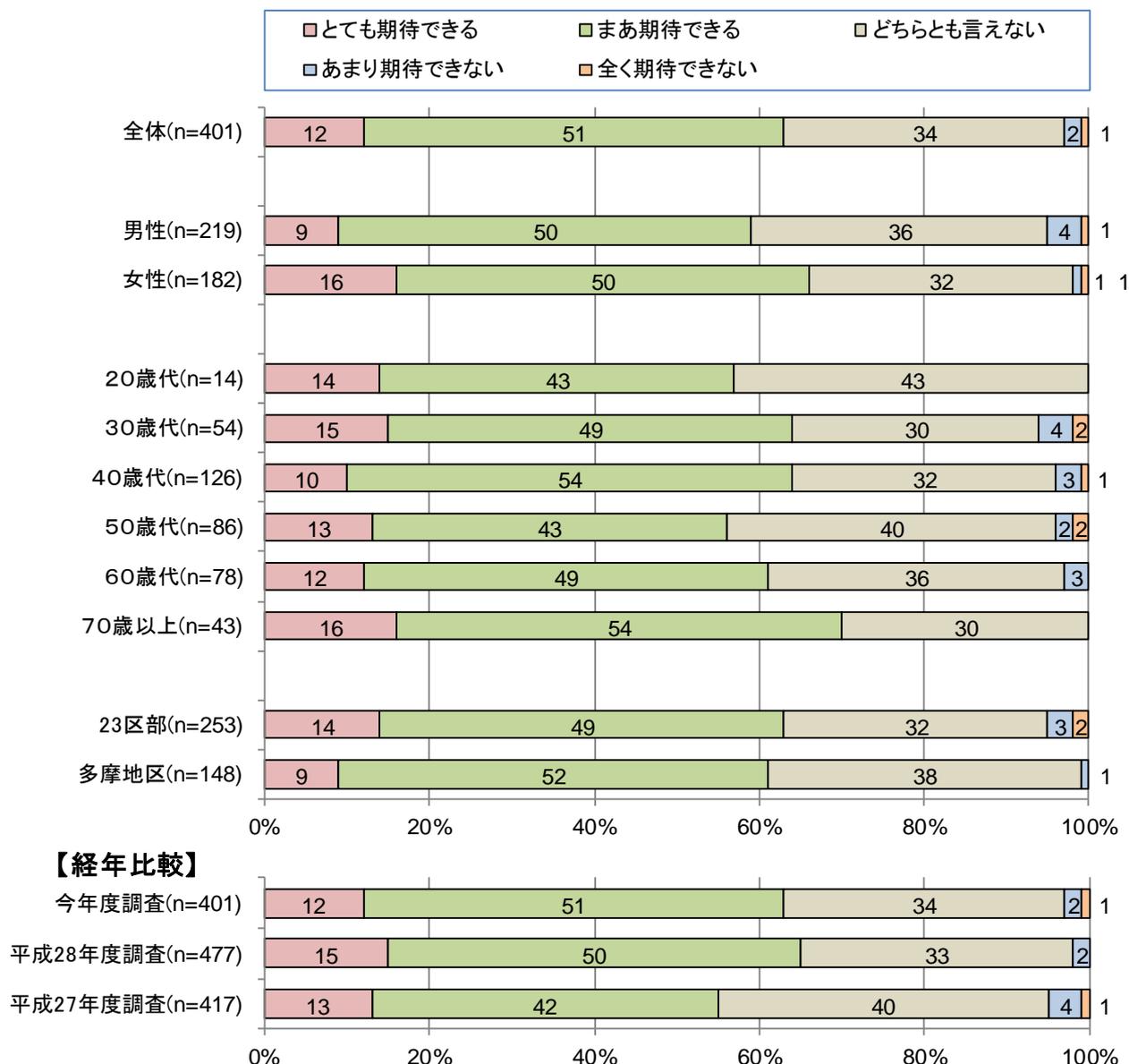


4.1.5.7 【東京下水道の「応援団」の獲得】への期待度

- ◆ 【東京下水道の「応援団」の獲得】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が63%、「どちらとも言えない」が34%、「あまり期待できない」が2%、「全く期待できない」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が59%、女性が66%となり、女性が男性より7ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では70歳以上が70%と最も高かったが、他の年代では大きな差は見られなかった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が63%、多摩地区が61%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-5-7 【東京下水道の「応援団」の獲得】への期待度

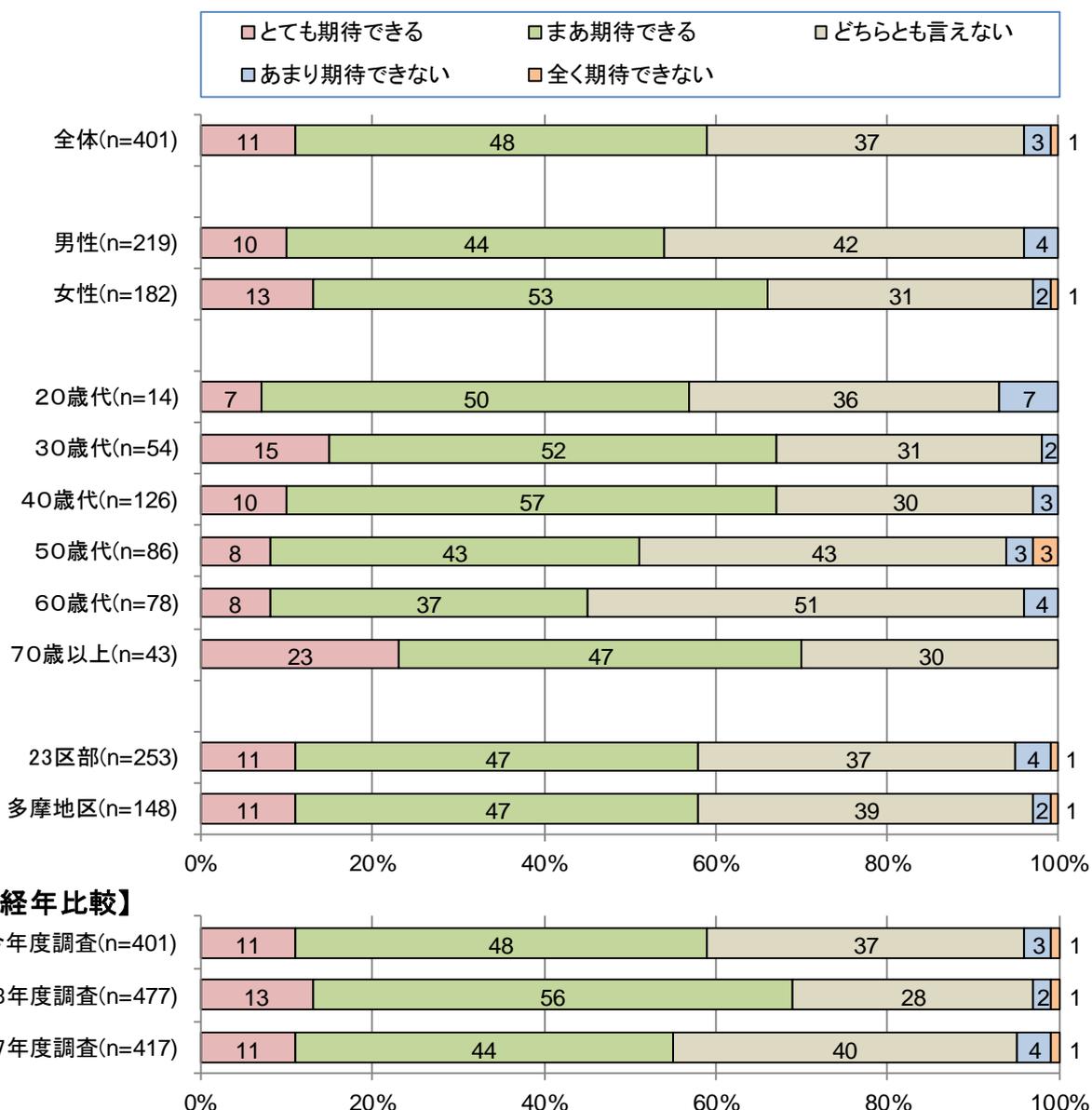


4.1.5.8 【企業努力と財政収支】への期待度

- ◆ 【企業努力と財政収支】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が59%、「どちらとも言えない」が37%、「あまり期待できない」が3%、「全く期待できない」が1%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が54%、女性が66%となり、女性が男性より12ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では70歳以上が70%と最も高く、次いで30歳代と40歳代がともに67%となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部と多摩地区がともに58%となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください（単一回答）。

図表4-1-5-8 【企業努力と財政収支】への期待度



4.1.6 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』に対する感想や意見

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』に対する感想や意見については、「見やすく、わかりやすくしてほしい（文章、レイアウト、PDF等）」が18%と最も高く、次いで「活動に期待している/がんばってください等の激励や感謝」が13%、「知ることができてよかった/理解することができた」が10%となった。

Q10 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』に対する率直なご感想やご意見などをお聞かせください（自由回答）。

図表4-1-6 『東京都下水道事業 経営レポート 2017』に対する感想や意見

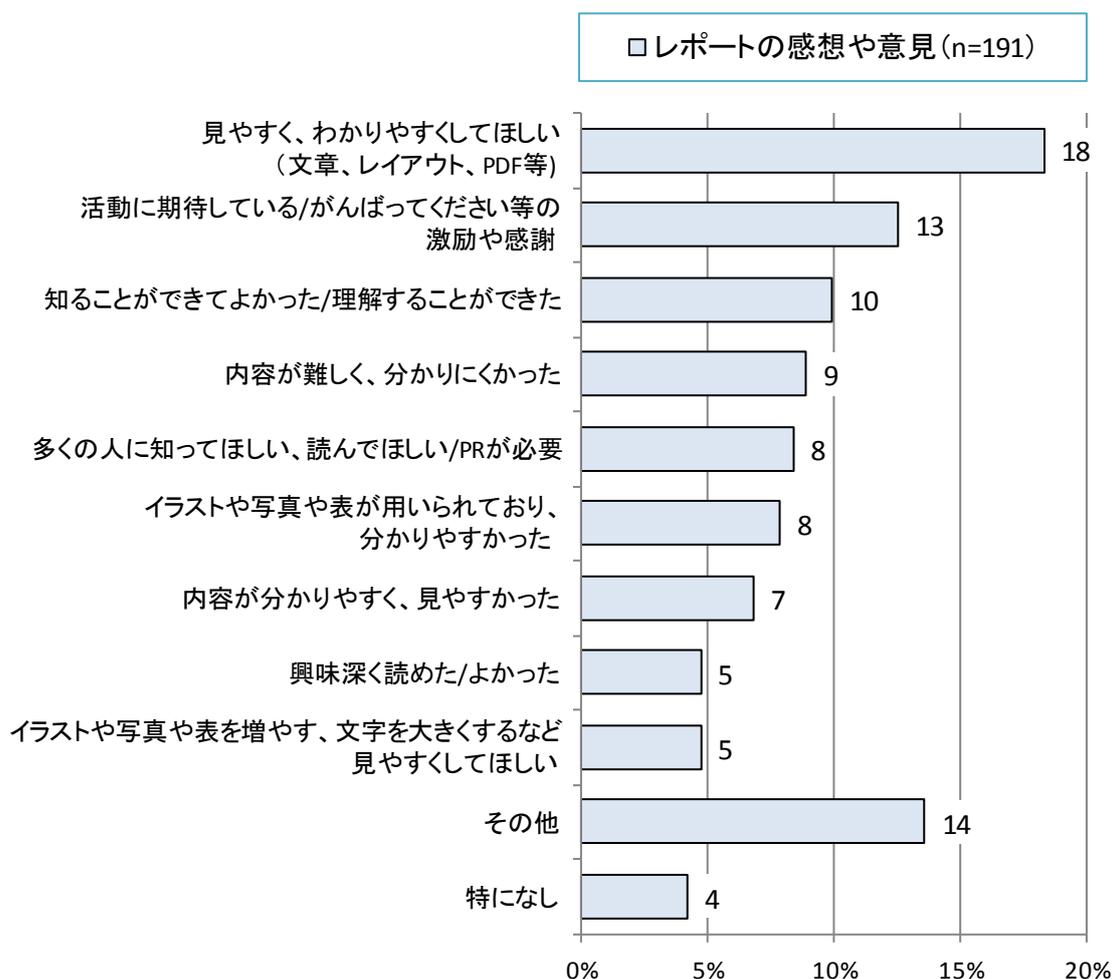


表4-1-6 『東京都下水道事業 経営レポート2017』に対する感想や意見

No	その他内容
1	正直、施設を見ていないので理解するのが難しい。しかし、下水の浸水、震災そして合流式下水道の整備については良く計画、施工されていると思う。とにかくにも関係施設の見学をしたいと思います。
2	いずれも一朝一夕でできるものではないので、長期的な観点で進めていっていただきたい。
3	水は、食べたり飲んだりするものですので、設備の老朽化対策にも力を入れていただきたいと思います。
4	企業努力で実績を上げておられる事には敬意を表しますが、やり過ぎて手抜きの事にならぬ様にして下さい。ライフラインなので、必要な費用はケチル必要は無いと思います。
5	合流式下水道の改善についてですが、個人的に期待しております。近年の異常気象による爆弾低気圧の豪雨は降水雨量100mm/時間を優に越すことも少なくありません。 貯留施設を整備し、市街地の浸水を守ることは人命と財産を守ることに繋がるかと思えます。「2020オリンピックまでに・・・」と線を引くのではなく、長いスパンでじっくり時間を掛けて、実施して頂きたいと思っています。自然が相手ですので、時間に猶予は無いかも知れませんが、手間暇掛けて頂きたいをお願いします。
6	地球温暖化や自然災害などが大きくなっていく中で、少子化がすすんでいる日本では、人手不足が問題になってきています。水道管などが老朽化していても、この先複雑化していく都市の整備に、人の対応がついていけるのか心配です。
7	なるべく早く、多くの地域を改善してほしい。
8	① 震災対策のMH浮上対策は実績例などで効果は確認されているのでしょうか。 ② 合流式下水道の改善で、雨天時放流水の一時貯留槽等は十分確保できるのでしょうか。 ③ H32年度末でH28時点の区部下水処理量に近い量の高度処理が行われるようですが、それで自然環境への汚濁負荷はどの程度軽減されるのでしょうか。
9	利用者が一番に知りたい災害時の対処の仕方に重点を置いてもいいのではないかと。
10	①震災時には下水道管に於いて電源喪失、配管接続部の脱落(震動、液状化による)等が同時に発生する事が想定されます。その対策と同時に復旧能力の確保が重要と思えます。 ②目標達成度は数値ばかりでなく未可達にかかわらずその要因の説明があると課題の共有が進むと思えます。
11	必要な事業は費用をかけてでも推進していかなければならない。見極めが重要だと感じた。
12	合流式下水道について、その改善に努めていることに安心しました。最近オリンピックのトライアスロン会場の予定水域で、基準値を超える大腸菌が検出されたとの報道がありました。これは合流式下水道が原因とされていますので、特に当水域に流れ込む下水道の更なる改善を望みます。
13	設問が重複していて回答するのがうんざり気味になりました。
14	より経営の視点での事業対応を図るべきだと思う。
15	多角的に検討している。
16	下水道料金の他市との比較を載せて欲しい。東京都が安いのか、高いのかよくわかりません。また、何年間値上げしてこなかったのか？
17	必要性がある。
18	財政収支が改善しているとはいえ、赤字であることが残念。
19	自然災害対策はキリがないので、現実的な上限額を設定してあきらめも必要かと思う。
20	下水道は重要なインフラだと思います。
21	11月に開催された杉並フェスタを見にいきました。
22	今後、温暖化などの影響で1時間に50ミリを超える雨が降った場合に対応ができるのか、危惧しています。
23	財源が足りない。
24	多摩に在住しており、都市部の水道事業の姿が見えないのでレポートを読み理解する程度でしか解らないです。
25	どの項目でも「工事の入札状況が不調」という言葉が頻出しているが、そのような他人事のような自己評価で良いのか？ なぜ不調なのか？ どうしたら改善できて事業目標が達成できるのか？ そういった反省がもっと求められる。局側の想定入札価格が世間相場と乖離しているのなら、予算を獲得するなり、場合によっては下水道料金を値上げしてでも必要な事業は目標通り実施してもらいたい。
26	実際のところ、見たことがないから。

4.2 下水道モニターの感想について

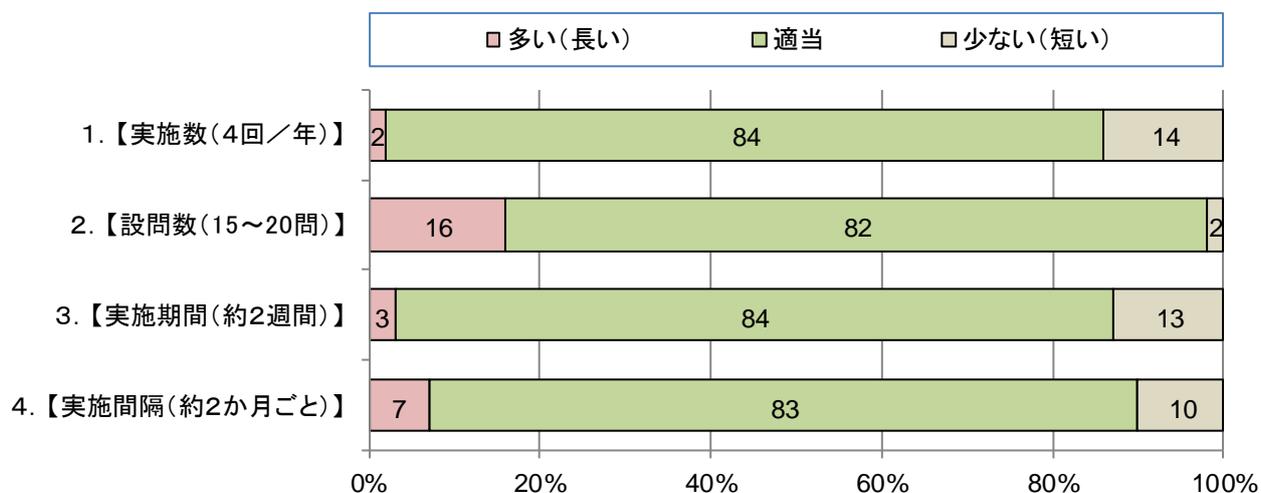
4.2.1 下水道モニターアンケートの頻度

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度について、「1.【実施数（4回／年）】」では、「多い（長い）」が2%、「適当」が84%、「少ない（短い）」が14%となった。
- ◆ 「2.【設問数（15～20問）】」では、「多い（長い）」が16%、「適当」が82%、「少ない（短い）」が2%となった。
- ◆ 「3.【実施期間（約2週間）】」では、「多い（長い）」が3%、「適当」が84%、「少ない（短い）」が13%となった。
- ◆ 「4.【実施間隔（約2か月ごと）】」では、「多い（長い）」が7%、「適当」が83%、「少ない（短い）」が10%となった。
- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度については、多くのモニターが適当と考えていることがわかった。

Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15～20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。

本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。（単一回答）

図表4-2-1 下水道モニターアンケートの頻度



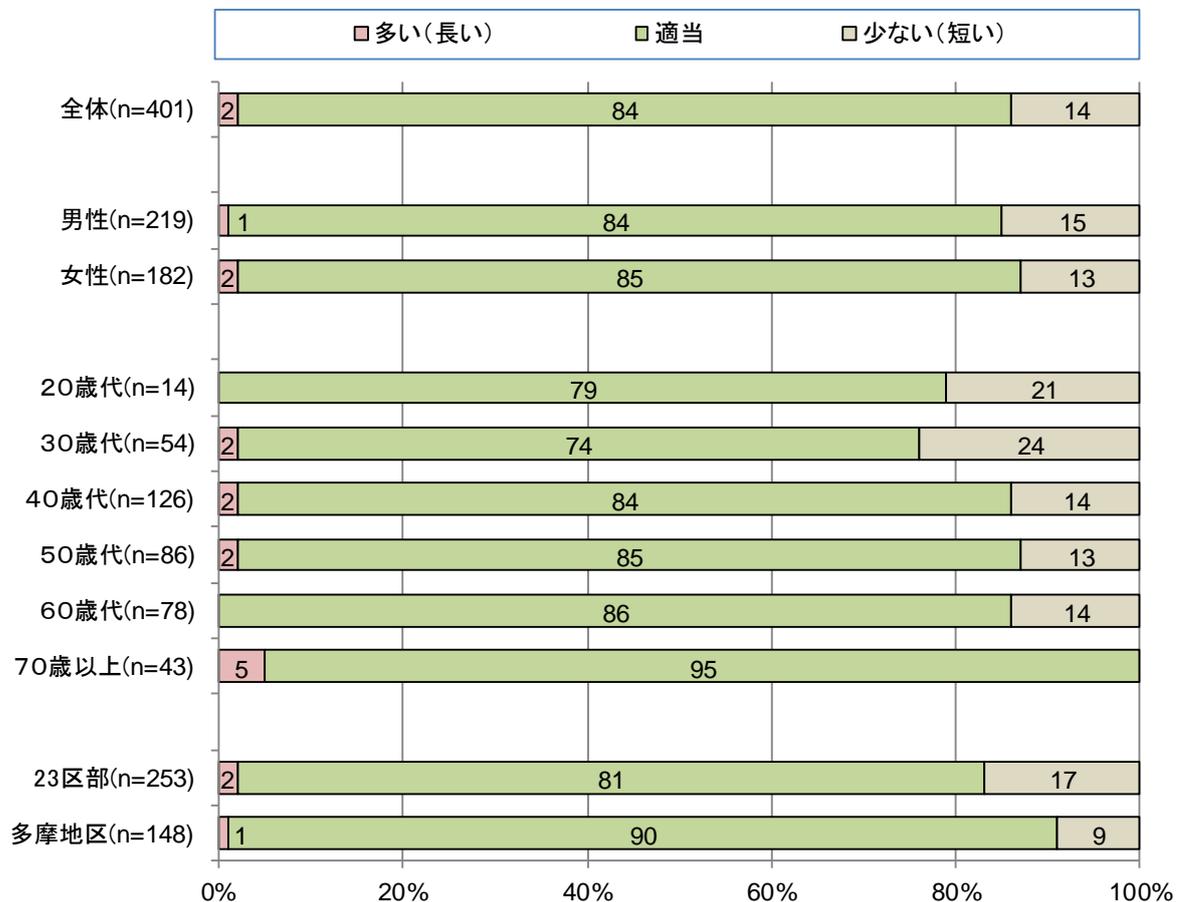
4.2.1.1 下水道モニターアンケートの頻度【実施数（4回／年）】

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度【実施数（4回／年）】を男女別にみると、「適当」では男性が84%、女性が85%と、男性と女性で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、「適当」では70歳以上が95%と最も高く、次いで60歳代が86%、50歳代が85%となった。
- ◆ 地区別にみると、「適当」では23区部が81%、多摩地区が90%となり、23区部が多摩地区より9ポイント低い結果となった。
- ◆ 経年比較でみると、「適当」では今年度は平成28年度調査より4ポイント増加していた。

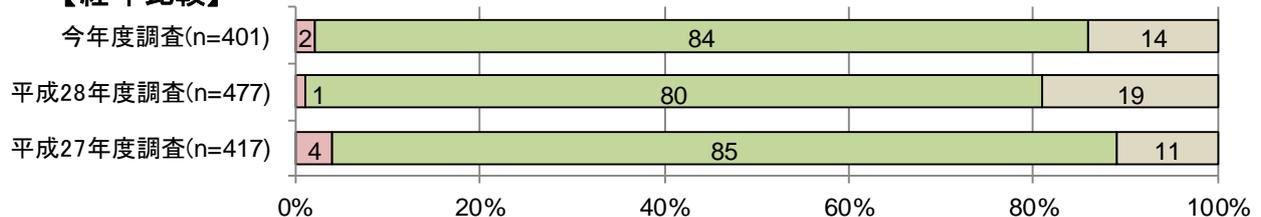
Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15～20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。

本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。（単一回答）

図表4-2-1-1 下水道モニターアンケートの頻度【実施数（4回／年）】



【経年比較】



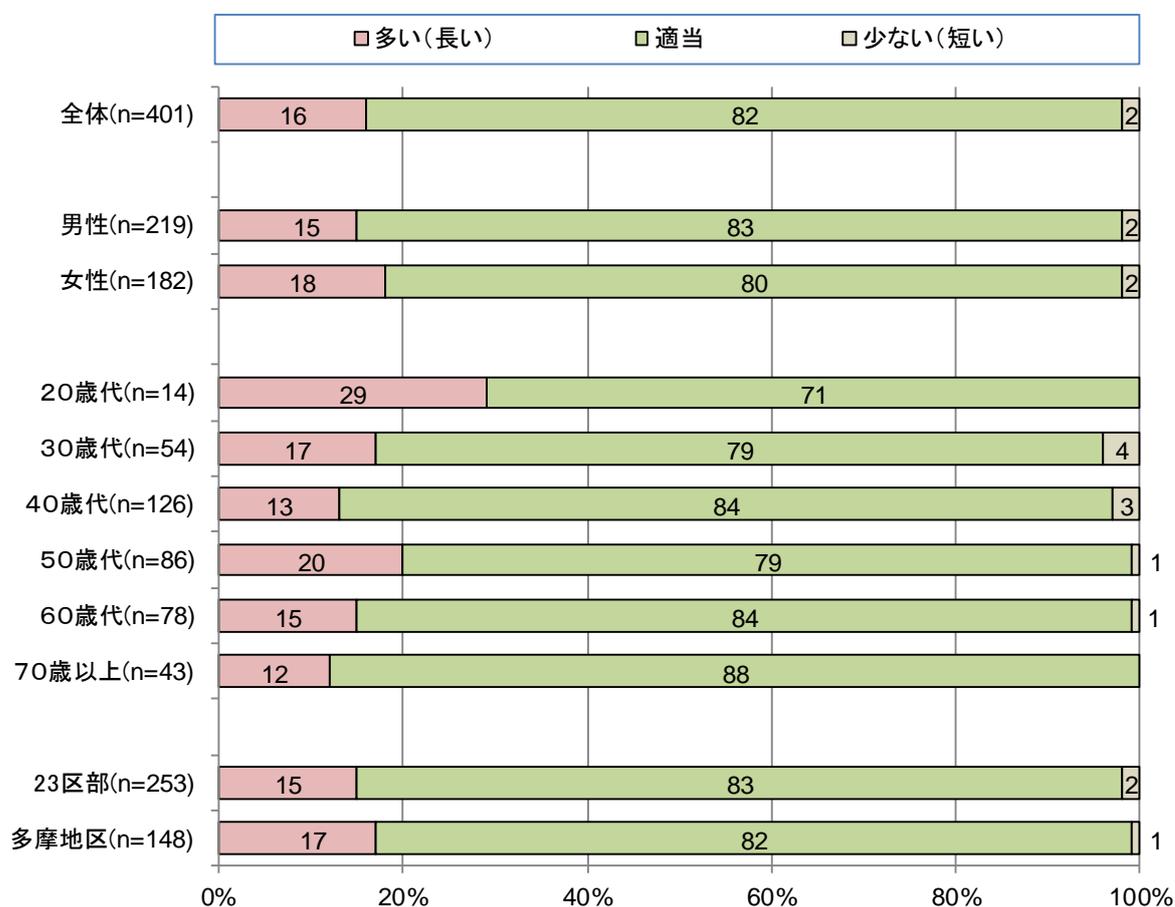
4.2.1.2 下水道モニターアンケートの頻度【設問数（15～20問）】

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度【設問数（15～20問）】を男女別にみると、「適当」では男性が83%、女性が80%と、男性が女性より3ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「適当」では70歳以上が88%と最も高く、次いで40歳代と60歳代がともに84%となった。
- ◆ 地区別にみると、「適当」では23区部が83%、多摩地区が82%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、「適当」では今年度は平成28年度調査とほぼ同等だった。

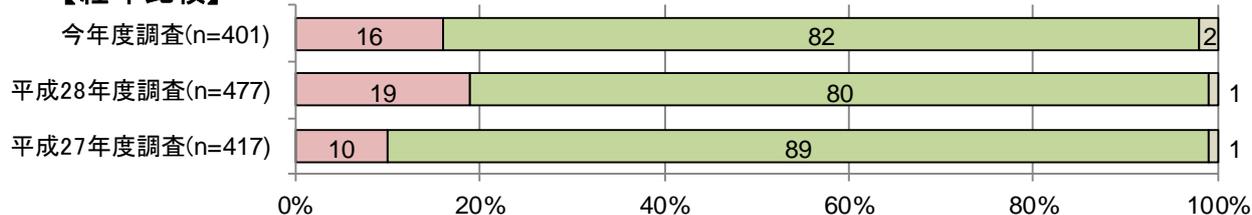
Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15～20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。

本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。（単一回答）

図表4-2-1-2 下水道モニターアンケートの頻度【設問数（15～20問）】



【経年比較】



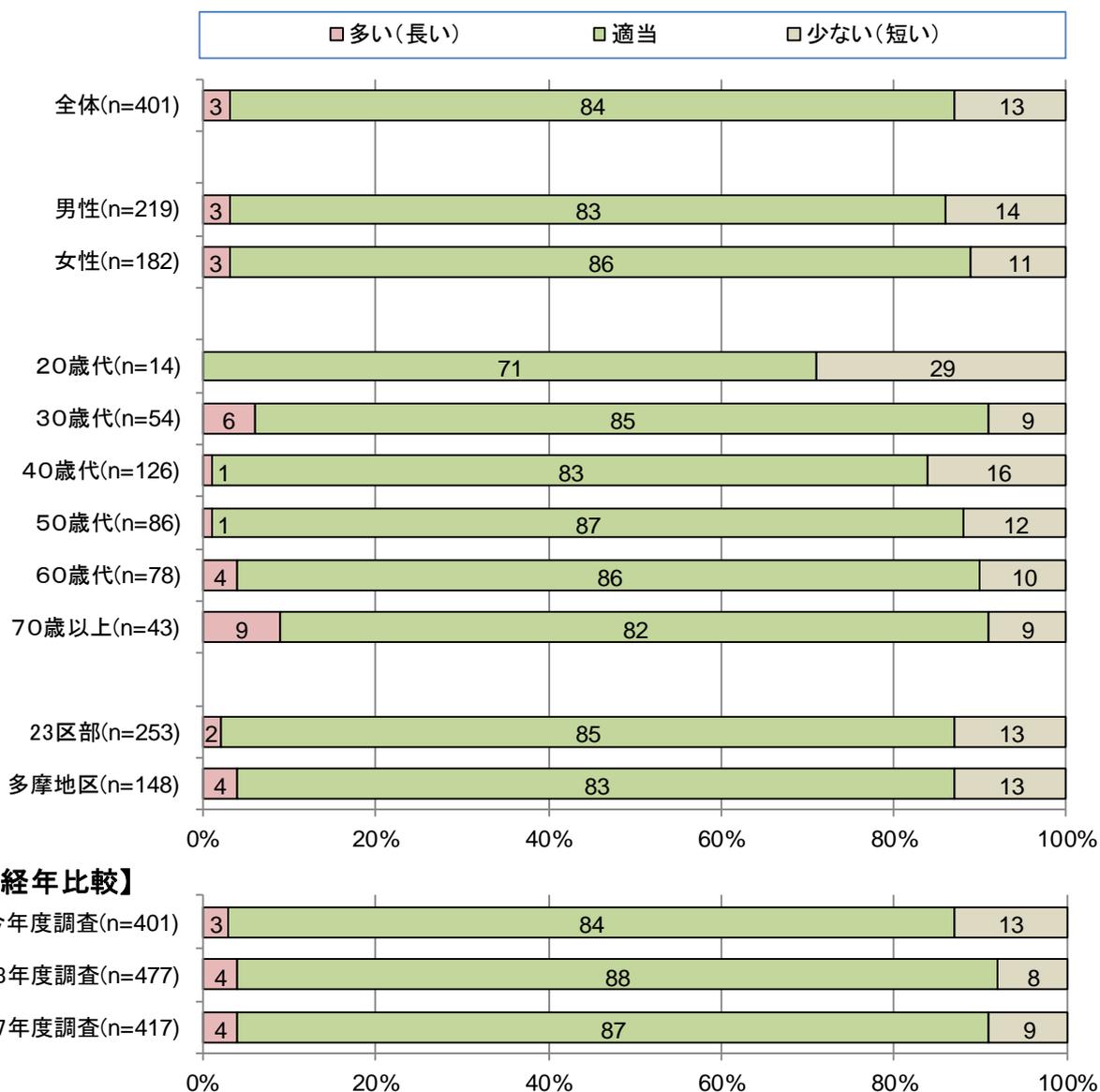
4.2.1.3 下水道モニターアンケートの頻度【実施期間（約2週間）】

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度【実施期間（約2週間）】を男女別にみると、「適当」では男性が83%、女性が86%と、男性が女性より3ポイントと若干低い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「適当」では50歳代が87%と最も高く、次いで60歳代が86%、30歳代が85%となった。
- ◆ 地区別にみると、「適当」では23区部が85%、多摩地区が83%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、「適当」では今年度は平成28年度調査より4ポイント減少していた。

Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15~20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。

本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。(単一回答)

図表4-2-1-3 下水道モニターアンケートの頻度【実施期間（約2週間）】



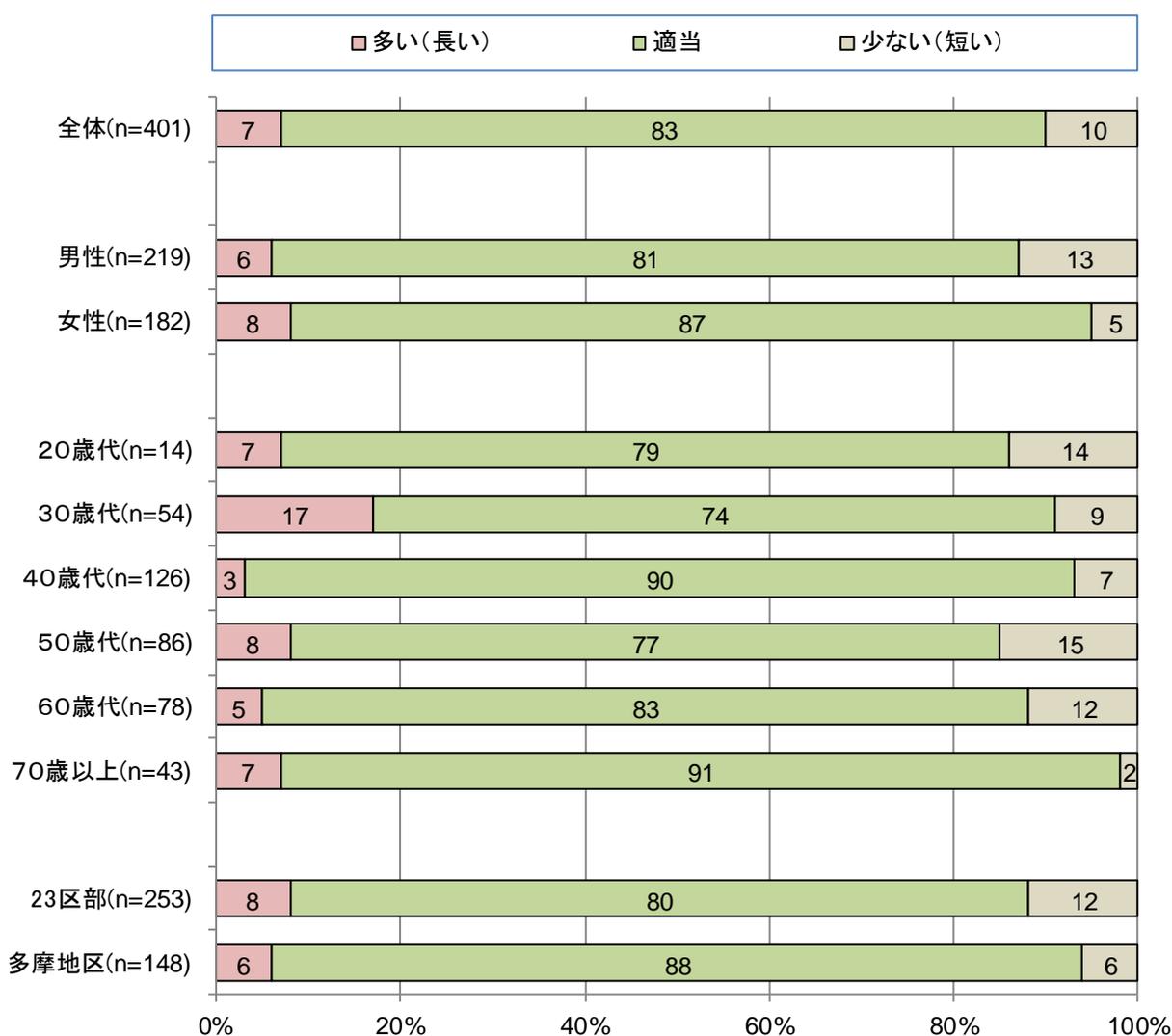
4.2.1.4 下水道モニターアンケートの頻度【実施間隔（約2か月ごと）】

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度【実施間隔（約2か月ごと）】を男女別にみると、「適当」では男性が81%、女性が87%と、女性が男性より6ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「適当」では70歳以上が91%と最も高く、次いで40歳代が90%と9割台となった。
- ◆ 地区別にみると、「適当」では23区部が80%、多摩地区が88%となり、多摩地区が23区部より8ポイント高い結果となった。

Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15~20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。

本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください。(単一回答)

図表4-2-1-4 下水道モニターアンケートの頻度【実施間隔（約2か月ごと）】



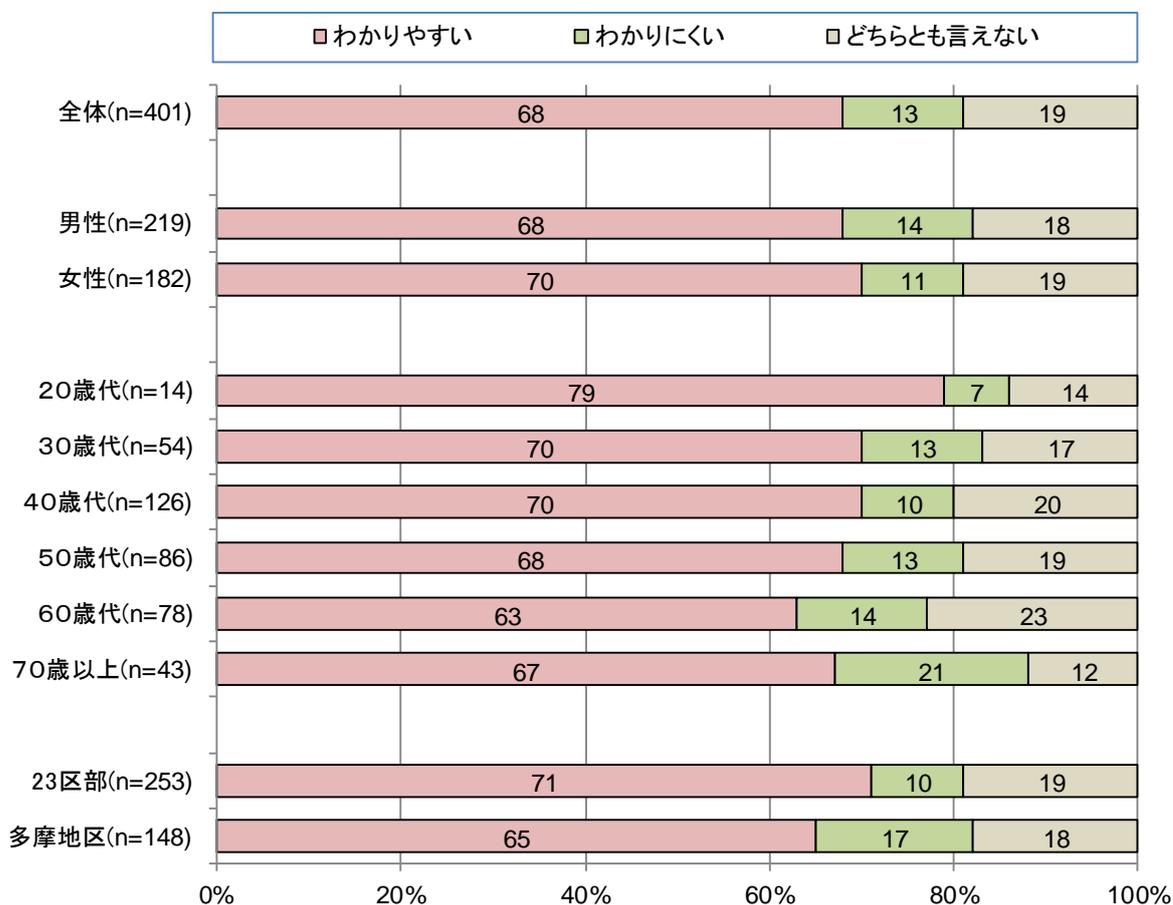
(※この設問は平成29年度から新規に追加した設問のため、経年変化は省略とする)

4.2.2 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ

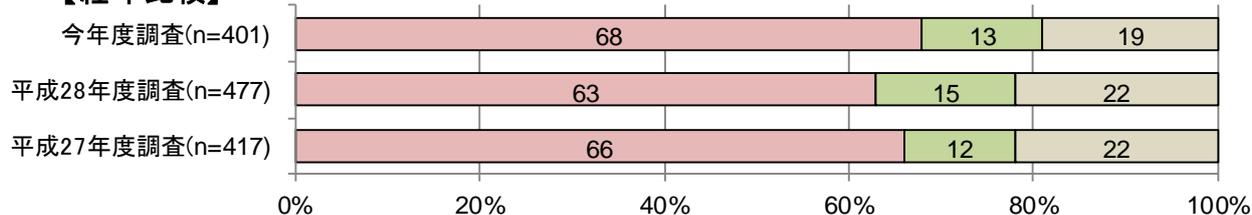
- ◆ 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさについては、「わかりやすい」が68%、「わかりにくい」が13%、「どちらとも言えない」が19%となった。
- ◆ 男女別にみると、「わかりやすい」では男性が68%、女性が70%となり、男女と女性で大きな差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、「わかりやすい」では30歳代と40歳代がともに70%と最も高く、次いで50歳代が68%、70歳以上が67%となった。
- ◆ 地区別にみると、「わかりやすい」では23区部が71%、多摩地区が65%となり、23区部が多摩地区より6ポイント高い結果となった。
- ◆ 経年比較でみると、「わかりやすい」では今年度は平成28年度調査より5ポイント増加していた。

Q12 下水道モニターアンケートにおける、アンケートの設問内容のわかりやすさ（答えやすさ）について、以下の選択肢の中から、該当するものを1つお選びください（単一回答）。

図表4-2-2 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ



【経年比較】



4.2.3 下水道モニターアンケートわかりにくい（答えにくい）理由

- ◆ 下水道モニターアンケートわかりにくい（答えにくい）理由について、「資料の専門用語や内容が難しい」が20%と最も高く、次いで「別画面を見ながらの回答は答えにくい」が13%、「答えにくい質問が多い」が11%となった。

Q13 上記Q12の中で、「わかりにくい（答えにくい）」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図表4-2-3 下水道モニターアンケートわかりにくい（答えにくい）理由

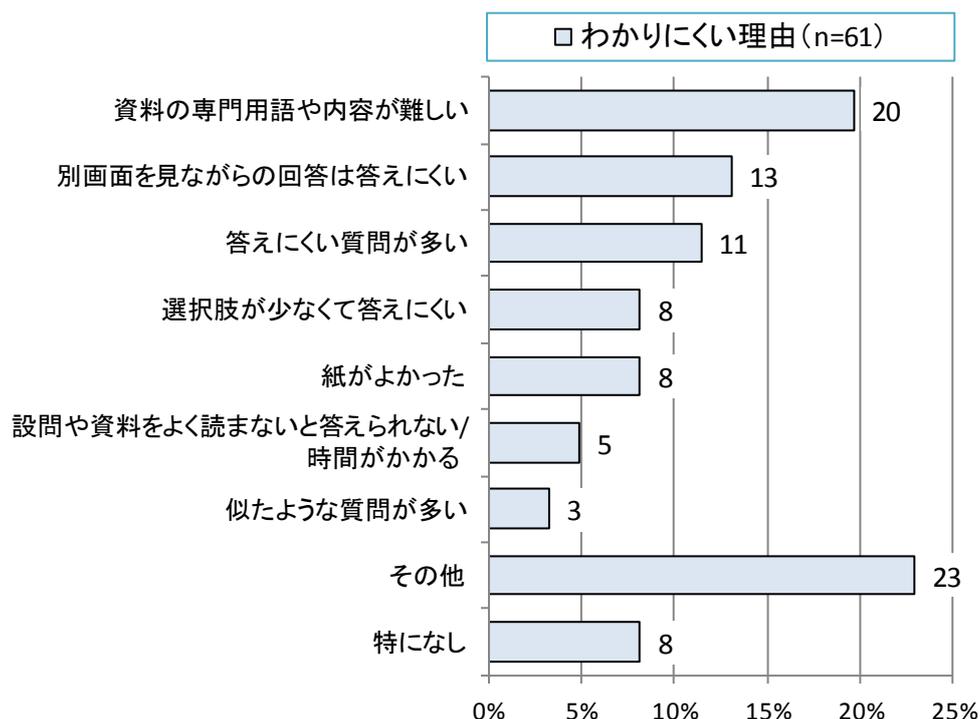


表4-2-3 その他わかりにくい（答えにくい）理由

No	その他内容
1	問い合わせの字はもう少し大きくしてもよいのではと思う。
2	身近な話題でないため興味が沸かなかった。
3	回答方法は良いが説明にスマホやPCが普及しているので映像とか動画もいれてほしかった。
4	メールの内容がなんであるかがサッとわかるような表示の仕方になったら良いと思う。
5	PDFに表示される1ページ量が多いのではないのでしょうか。
6	最終のスマホ対応は良かったです。アンケートのパンフが見開きだったりして、スマホでは見にくいです。実際の紙でも、見開く人は少ないのではないのでしょうか。表紙などが派手だったり、イメージだったりしていますが、大規模公共施設ならではのレアな写真や図面の方が、手に取るかなとおもいました。ただ、参加させていただき、理解は深まりました。
7	参考資料があり、わかりやすいです。
8	わかりにくくはない。
9	私はわかりやすいと思います。
10	常日頃から下水道設備がわかっていたら理解しやすいが、何となくしか理解できないのはやむをえないと思うが？
11	自分自身の理解度によるものではないかと思います。
12	その他内容3件

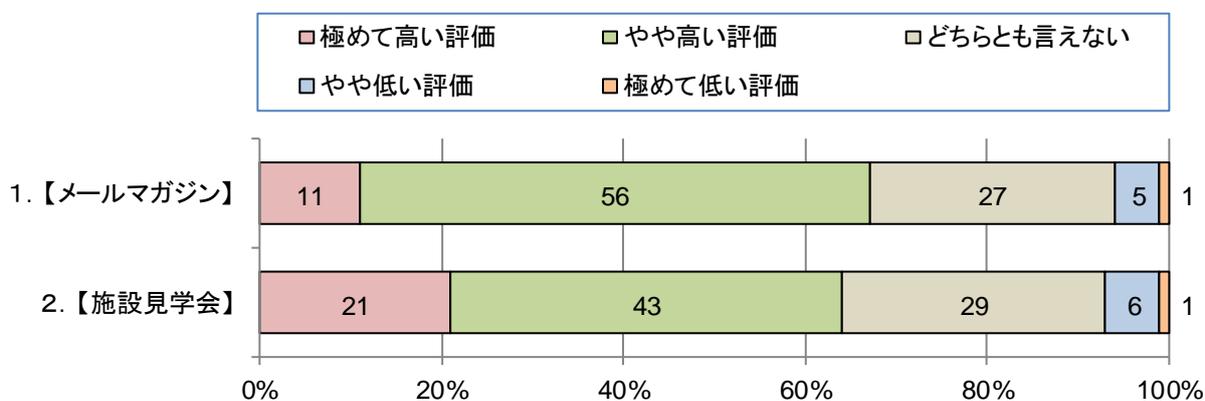
4.2.4 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価

- ◆ 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価について、1.「【メールマガジン】」では「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が67%、「どちらとも言えない」が27%、「やや低い評価」と「極めて低い評価」を合わせた『低い評価』が6%となっており、2.【施設見学会】」では『高い評価』が64%、「どちらとも言えない」が29%、『低い評価』が7%となった。

Q14 下水道モニターでは、下水道局の事業施策の評価等をうかがうアンケートにご回答いただくほか、下水道モニターの皆さまに向けたメールマガジンの配信や、施設見学会の実施により、下水道事業に広く関心をもっといただく取組も行っています。

メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-2-4 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価

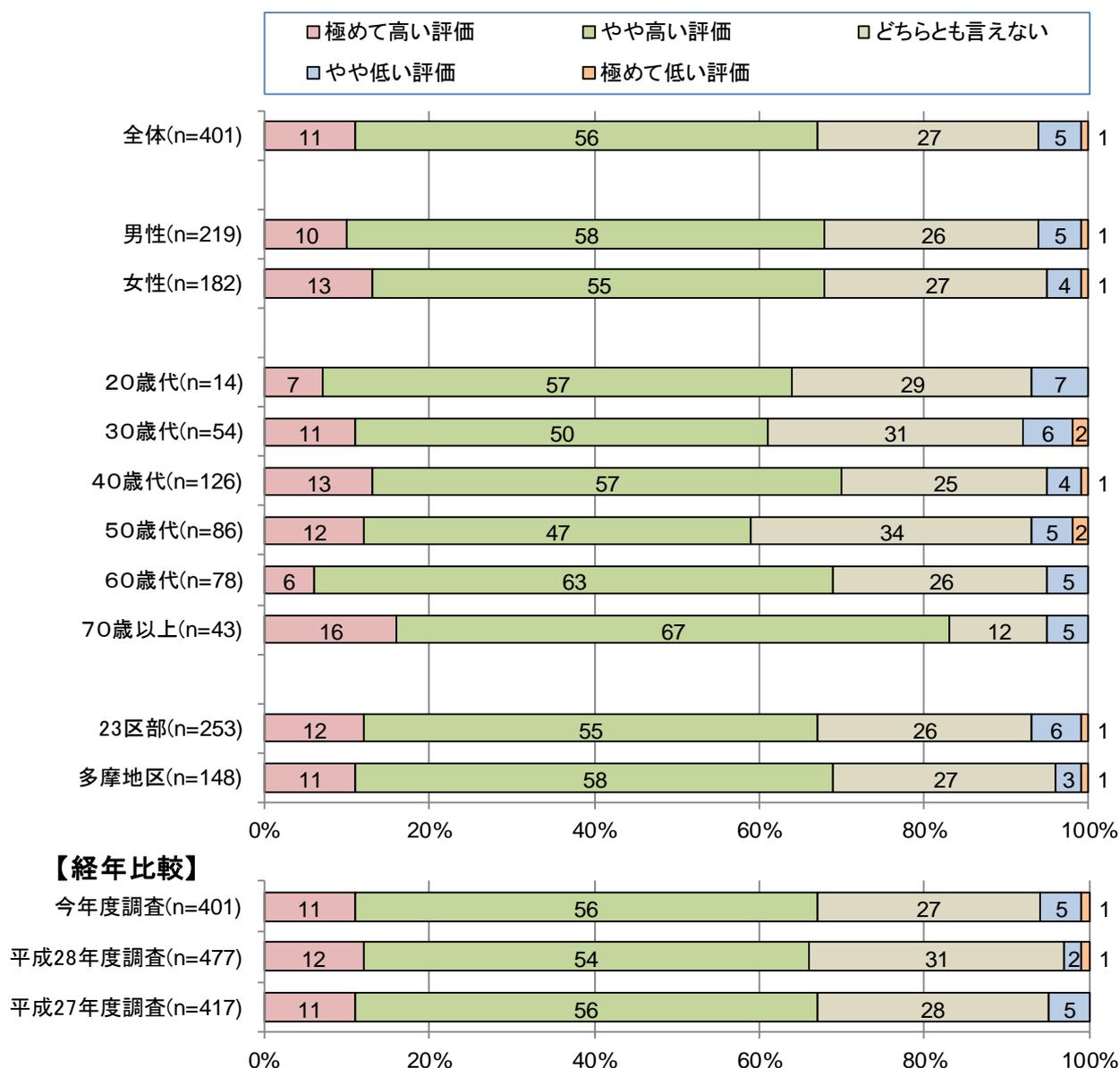


4.2.4.1 【メールマガジン】への評価

- ◆ 【メールマガジン】について男女別にみると、『高い評価』では、男性と女性がともに68%となった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では70歳以上が83%と最も高く、次いで40歳代が70%、60歳代が69%となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が67%、多摩地区が69%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、今年度の『高い評価』の値は平成28年度調査とほぼ同一だった。

Q14 メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-2-4-1 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価
【メールマガジン】

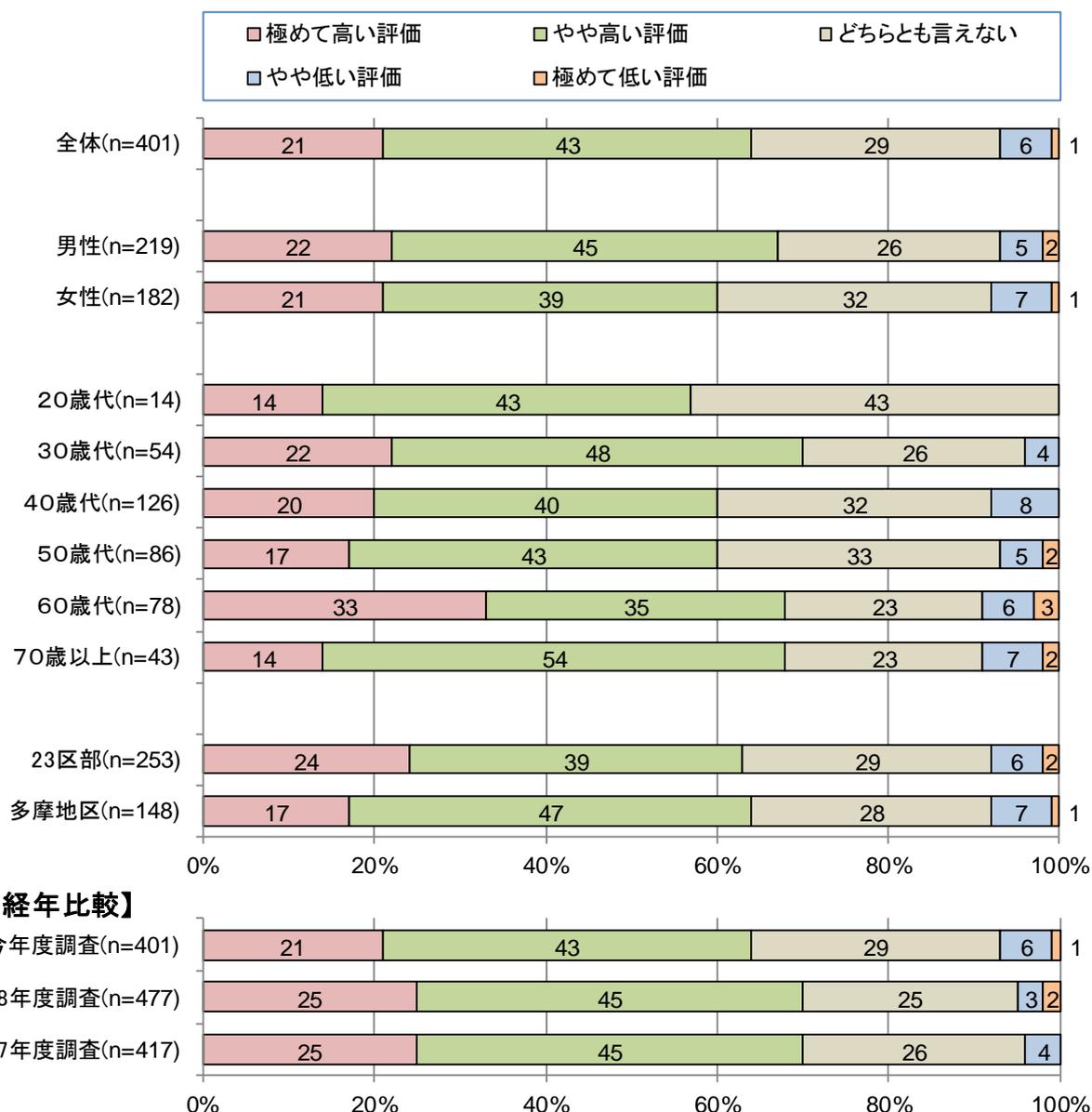


4.2.4.2 【施設見学会】への評価

- ◆ 【施設見学会】について男女別にみると、『高い評価』では男性が67%、女性が60%と、男性が女性より7ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では30歳代が70%と最も高く、次いで60歳代と70歳以上がともに68%となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が63%、多摩地区が64%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、今年度の『高い評価』の値は、平成27年度・平成28年度調査に比べ6ポイント減少していた。

Q14 メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表4-2-4-2 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価
【施設見学会】



4.2.5 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価が低い理由

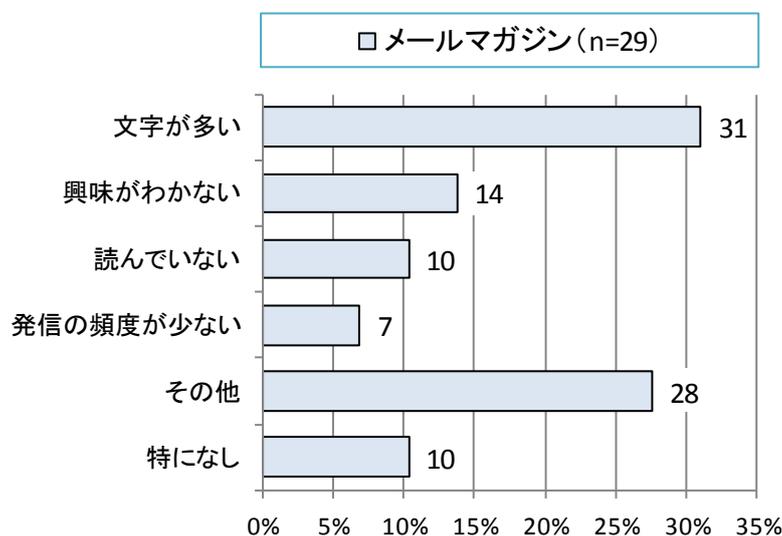
- ◆ 【メールマガジン】について評価が低い理由で、「文字が多い」が31%と最も高く、次いで「興味がわからない」が14%、「読んでいない」が10%となった。
- ◆ 【施設見学会】について評価が低い理由で、「見学会の回数、開催日が増えると良い」が30%と最も高く、次いで「都合がつかず参加できなかった」が23%、「応募したが抽選に外れた」が16%となった。

Q15 上記Q14の中で、「やや低い評価」「極めて低い評価」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

- (1) メールマガジン ()
 (2) 施設見学会 ()

図表4-2-5 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価が低い理由

【メールマガジン】



【施設見学会】

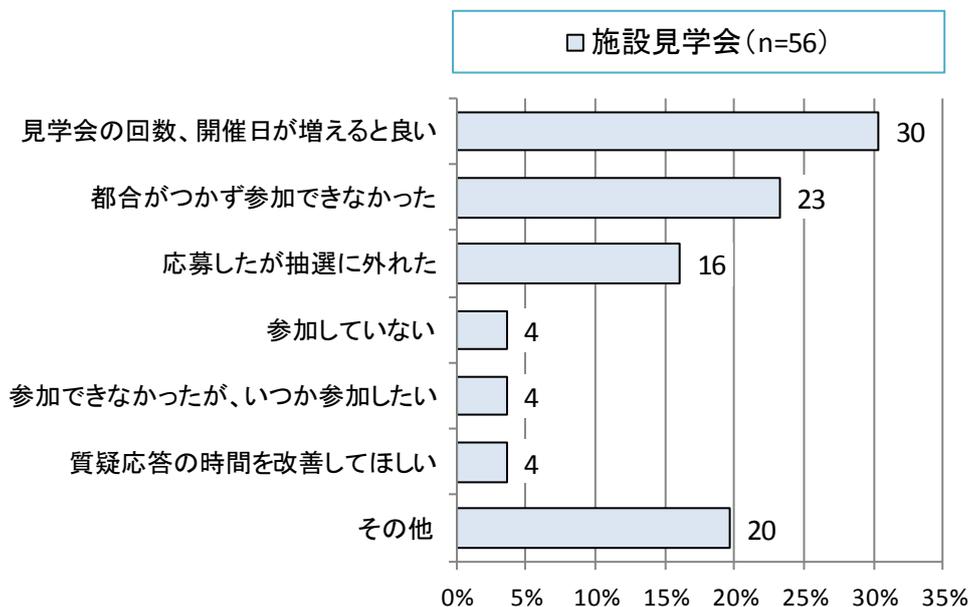


表4-2-5 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価が低い理由
(その他)

【メールマガジン】

No	【メールマガジン】その他内容
1	色々なことを発信してもらえて、ためになった。 下水道局にたいして親しみがわきました。
2	メールマガジンはわかりやすい表現で良かったと思う。(高い評価にしたので、答えなくてもよかったのですが)
3	これからも理解して読んでいきたい。
4	虹の下水道館についての案内をさかんにしているので平日に見学に行ったが、社会科見学の小学生や大人の団体客の対応に追われていて、個人の見学者には極めて不親切。入館時に受付は不在だし、「レインボーシネマ」を見たいと言っても団体客のスケジュールがあるので、あからさまに迷惑そうにされた。平日に個人の見学者を受け入れる体制になっていないのなら、メールマガジンで虹の下水道館に来場を促すような記載をしないでほしいです。
5	興味深く拝見しました。
6	その他内容3件

【施設見学会】

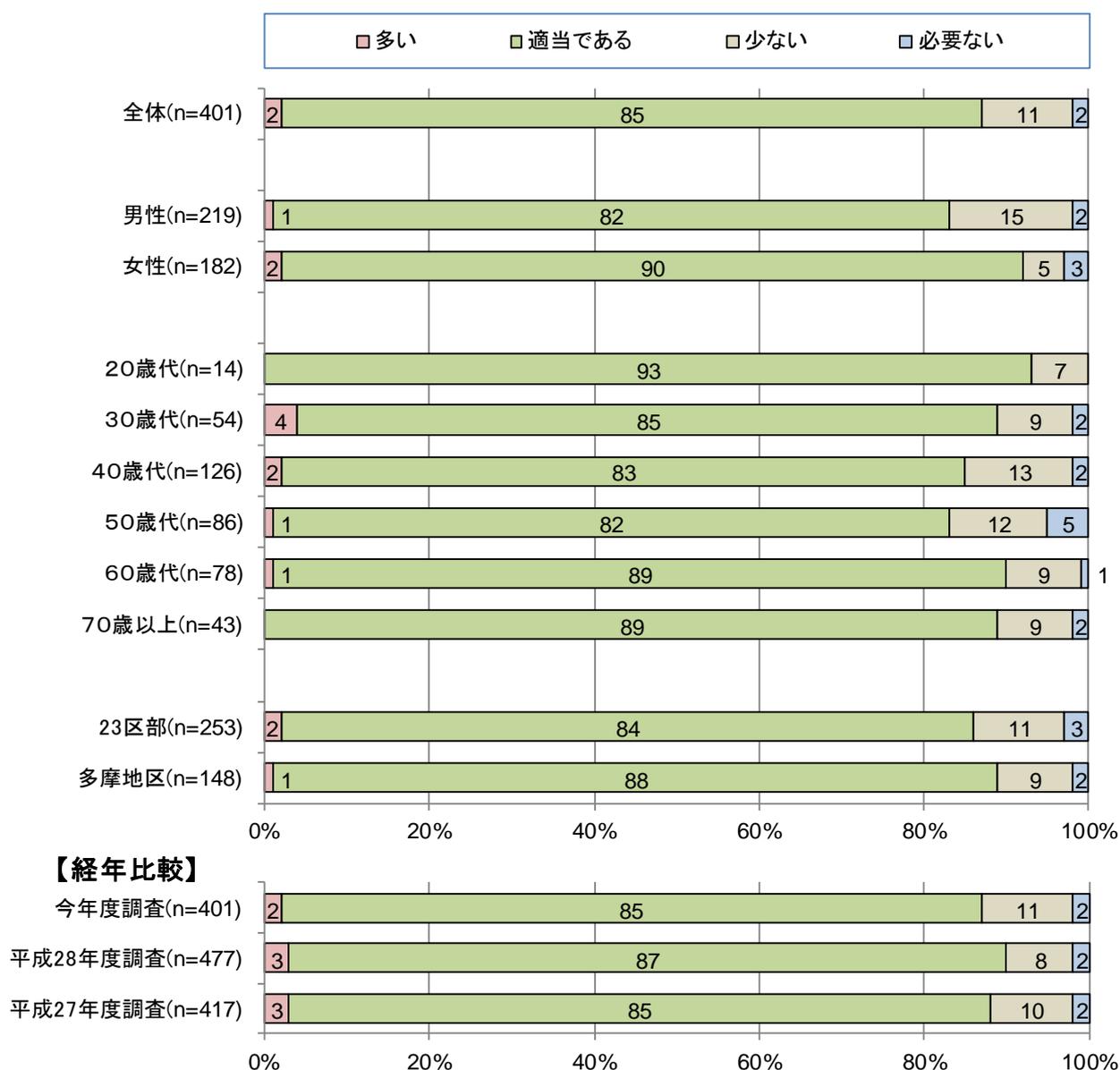
No	【施設見学会】その他内容
1	エントリーの仕方、手続きの状況等がよくわかりませんでした。
2	現地に行って見聞きして、理解が深まった。
3	小さな子供がいてなかなか参加できないから。キャラクターものを取り入れて子供向けのイベントがもっと充実していただいたい。
4	施設見学会に参加したが、とても勉強になった。もっとやってほしかった。
5	普段は見れないので、楽しみでもあります。
6	6月に初めて下落合にある下水道センター見学会に参加しました。普段目に出来ない箇所も案内して頂き、とても興味がわきました。今後も機会を作り参加をして、下水道事業に関心を深めて行きたいです。
7	インパクトが強い。
8	施設を見て強烈な印象がなかったので、何を理解したらよいのかわかりづらかった。
9	その他内容3件

4.2.6 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について

- ◆ 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について、「多い」が2%、「適当である」が85%、「少ない」が11%、「必要ない」が2%となった。
- ◆ 男女別にみると、「適当である」では男性が82%、女性が90%と、女性が男性より8ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「適当である」では60歳代と70歳以上がともに89%と最も高く、次いで30歳代が85%、40歳代が83%となった。
- ◆ 地区別にみると、「適当である」では23区部が84%、多摩地区が88%となり、多摩地区部が23区より4ポイントと若干低い結果となった。
- ◆ 経年比較でみると、今年度の「適当である」の値は、平成28年度に比べ大きな違いは見られなかった。

Q16 下水道モニターでは、すべてのアンケート終了時にアンケートの回答数に応じ、謝礼として1回あたり「500円の図書券」を贈呈しています。謝礼について、以下の選択肢の中から該当するものをお選びください（単一回答）。

図表4-2-6 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について

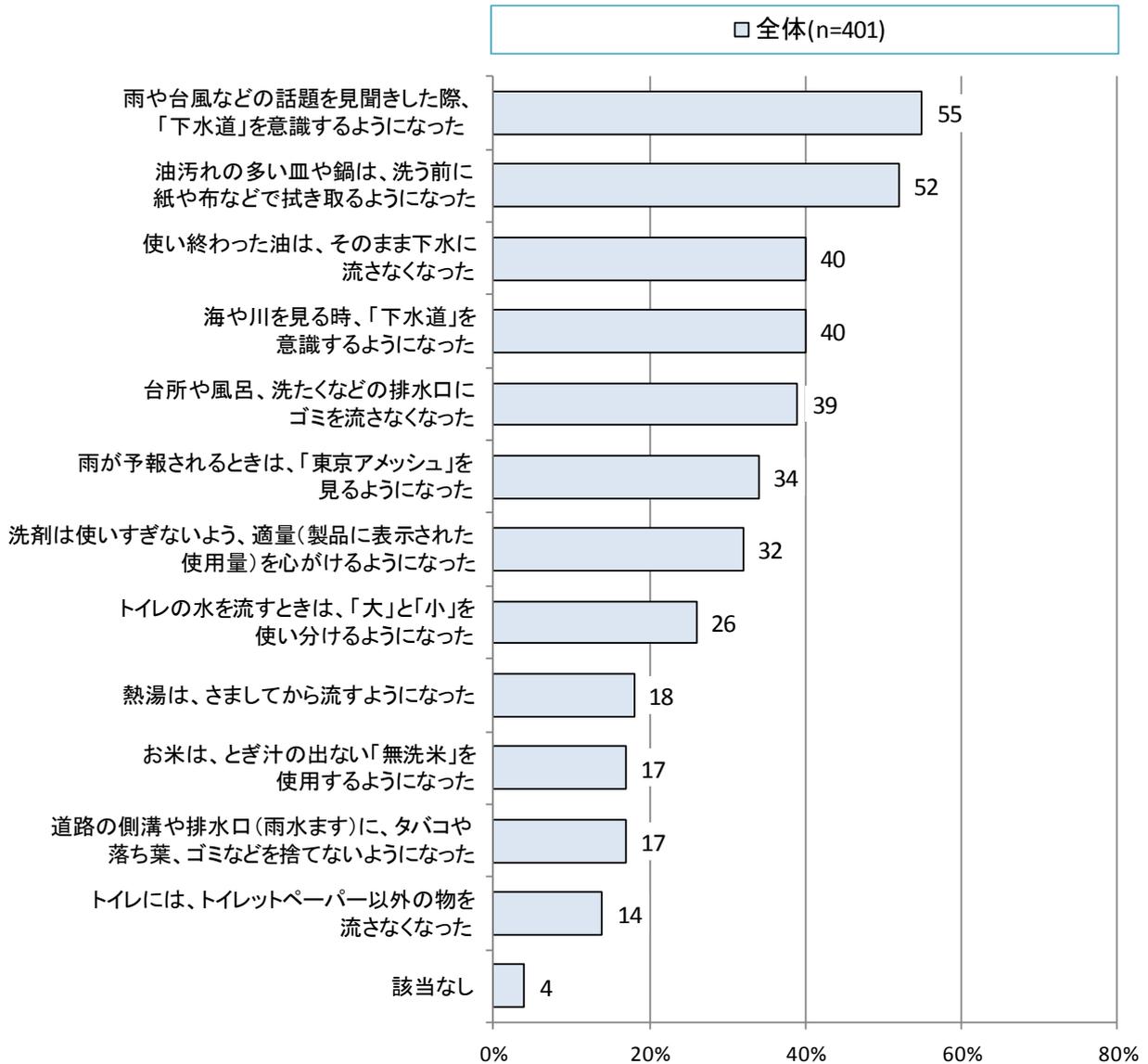


4.2.7 下水道モニターになってからの意識や行動の変化

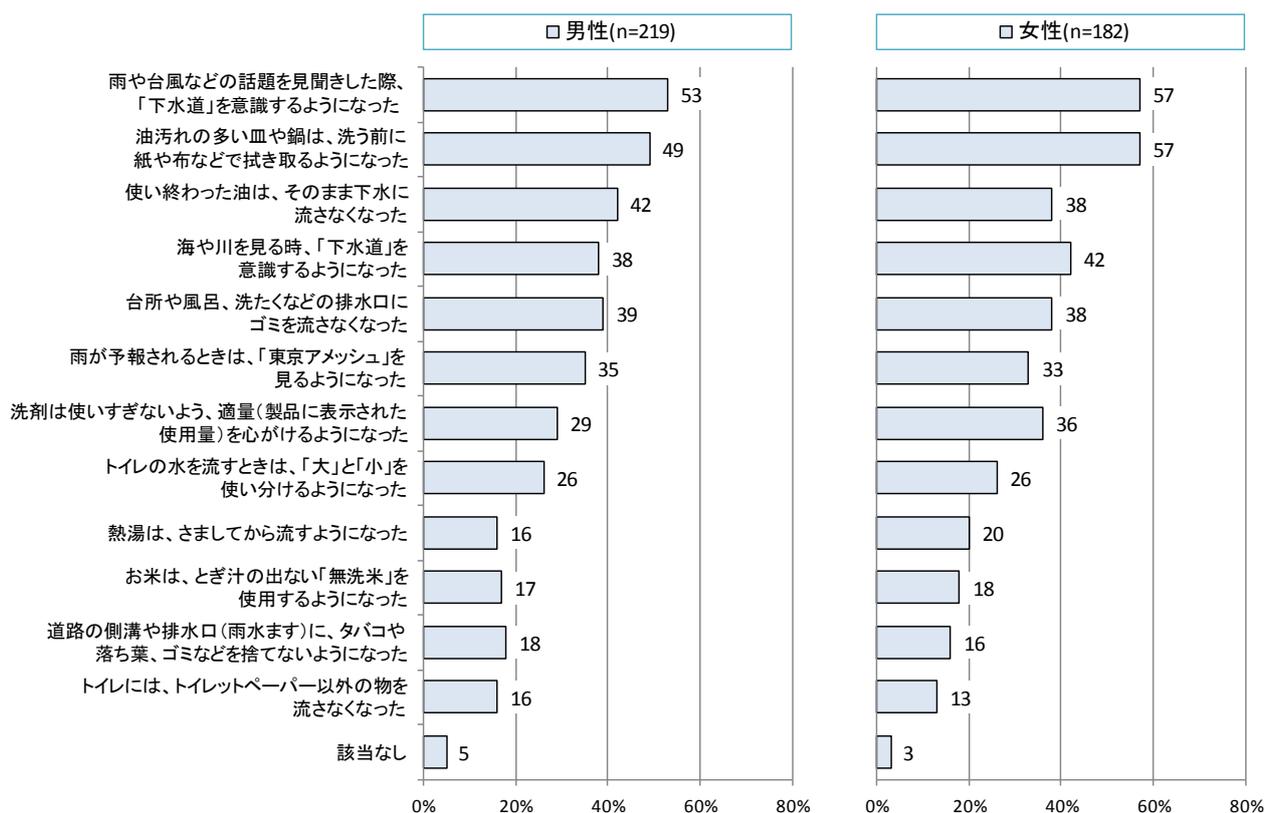
- ◆ 下水道モニターになってからの意識や行動の変化について、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」が55%と最も高く、次いで「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」が52%、「使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった」と「海や川を見る時、「下水道」を意識するようになった」がともに40%となった。
 - ◆ 男女別にみると、【雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった】では男性が53%、女性が57%と、女性が男性より4ポイント高く、【油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった】でも、男性が49%、女性が57%と、女性が男性より7ポイント高く、【海や川を見る時、「下水道」を意識するようになった】でも、男性が38%、女性が42%と、女性が男性より4ポイント高い結果となった。一方、【使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった】では男性が42%、女性が38%と、男性が女性より4ポイント高かった。
 - ◆ 年代別にみると、【雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった】では70歳以上が63%と最も高く、次いで50歳代と60歳代がともに62%、【油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった】では30歳代が59%と最も高く、次いで70歳以上が58%、【使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった】では30歳代が54%と最も高く、次いで70歳以上が49%となった。また、【海や川を見る時、「下水道」を意識するようになった】では60歳代と70歳以上がともに53%と最も高く、一方30歳代が20%と最も低い結果となった。
 - ◆ 地区別にみると、【雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった】では23区部が56%、多摩地区が53%と、23区部が多摩地区より3ポイントと若干高く、【使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった】でも、23区部が44%、多摩地区が34%と、23区部が多摩地区より10ポイント高く、【海や川を見る時、「下水道」を意識するようになった】においても、23区部が43%、多摩地区が35%と、23区部が多摩地区より8ポイント高い結果となった。一方、【油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった】では23区部が51%、多摩地区が55%と、多摩地区が23区部より4ポイントと若干低い結果となった。
-

Q 1 7 生活排水についての行動様式のうち、あなたが下水道モニターになって、意識や行動に特に変化があった事項はありますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい（複数回答）

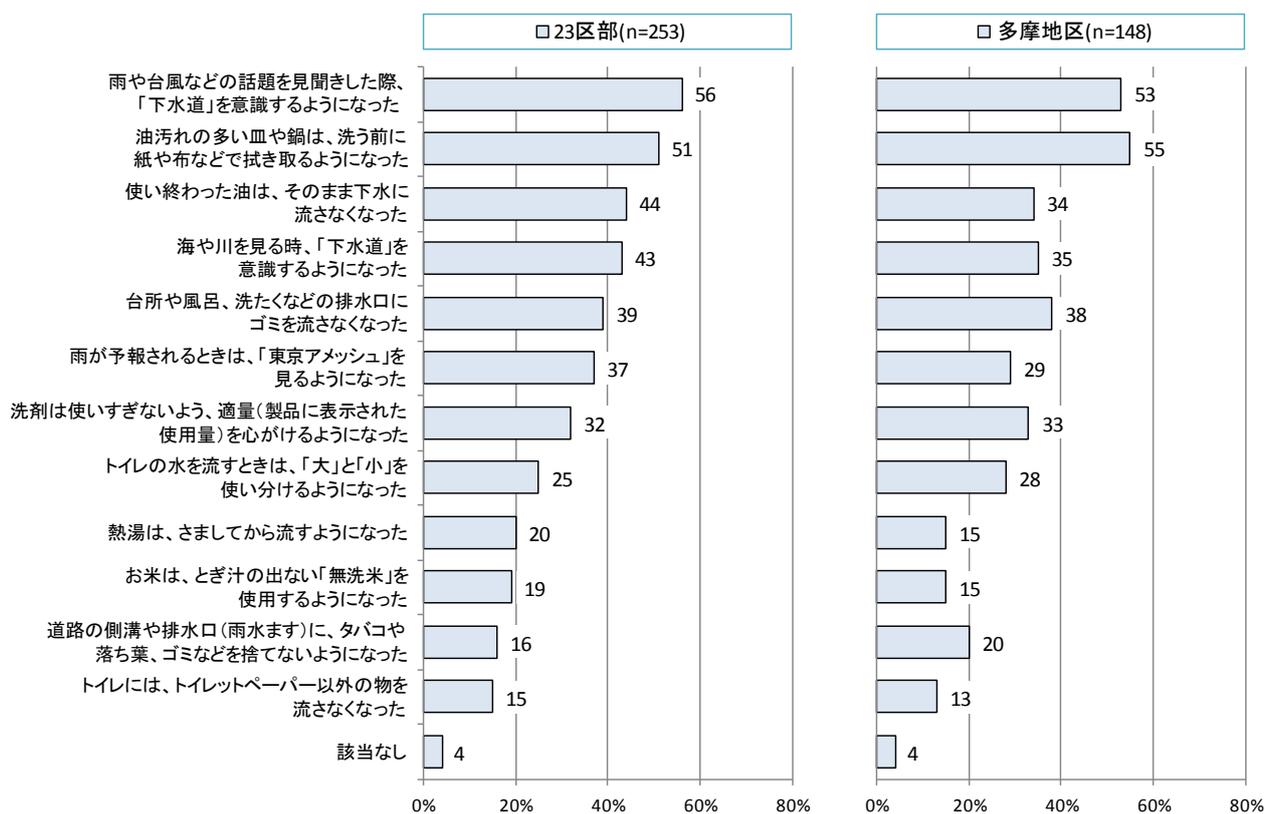
図表 4-2-7 下水道モニターになってからの意識や行動の変化（全体）



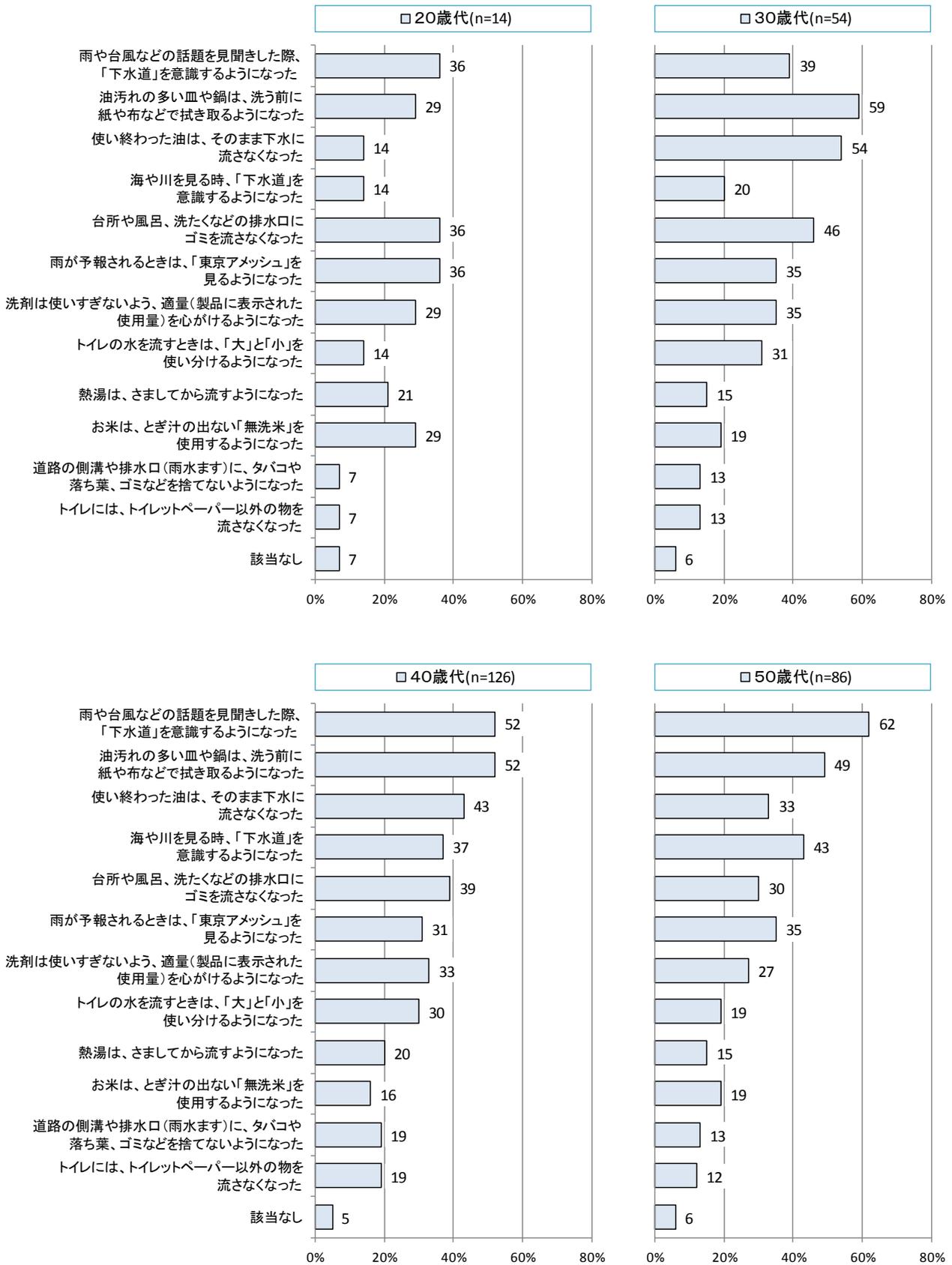
図表 4-2-7-1 下水道モニターになってからの意識や行動の変化（性別）

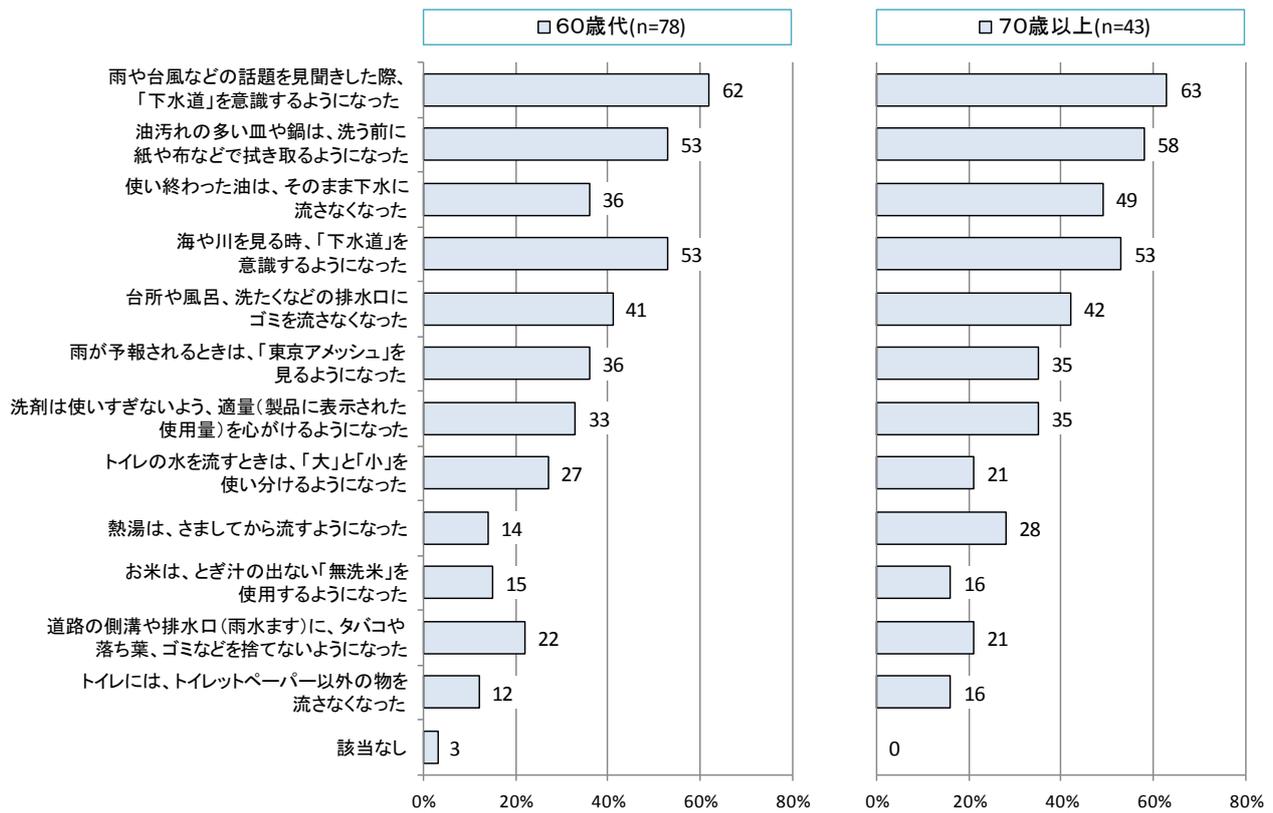


図表 4-2-7-2 下水道モニターになってからの意識や行動の変化（地区別）



図表4-2-7-3 下水道モニターになってからの意識や行動の変化（年代別）



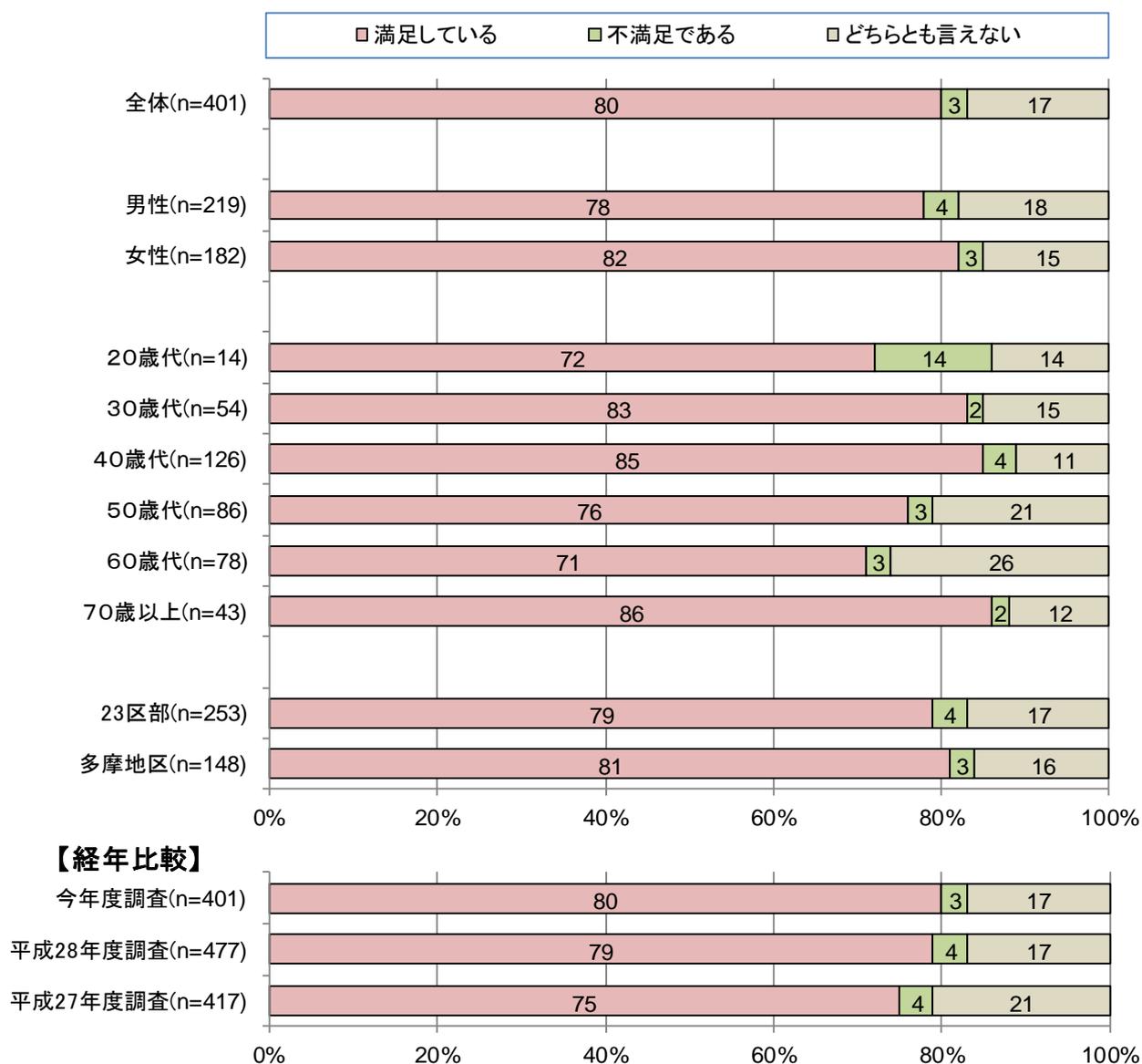


4.2.8 下水道モニターの感想

- ◆ 下水道モニターの感想について、「満足している」が80%、「不満足である」が3%、「どちらとも言えない」が17%となった。
- ◆ 男女別にみると、「満足している」では男性が78%、女性が82%で、女性が男性より4ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「満足している」では70歳以上が86%と最も高く、次いで40歳代が85%、30歳代が83%となった。
- ◆ 地区別にみると、「満足している」では23区部が79%、多摩地区が81%で、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、今年度の「満足している」の値は、平成27年度調査に比べ5ポイント増加していたが、平成28年度調査とはほぼ同等の値だった。

Q18 下水道モニターの感想として、以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選びください（単一回答）。

図表4-2-8 下水道モニターの感想

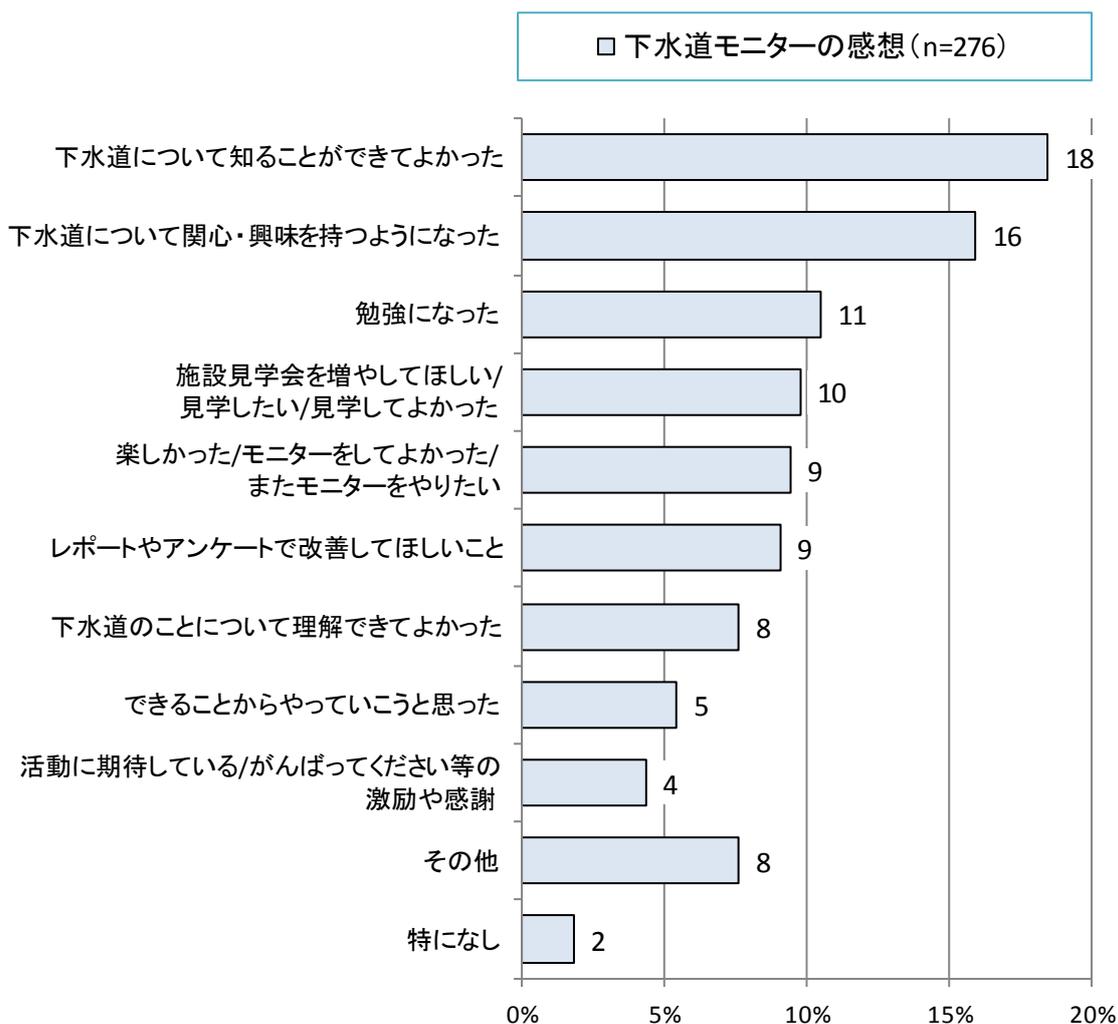


4.2.9 下水道モニターに関する感想や意見

- ◆ 下水道モニターに関する感想や意見では、「下水道について知ることができてよかった」が18%と最も高く、次いで「下水道について関心・興味を持つようになった」が16%、「勉強になった」が11%、「施設見学会を増やしてほしい/見学したい/見学してよかった」が10%となった。

Q19 上記Q18の中で、具体的にどのような感想をお持ちですか。ご自由にお答え下さい（自由回答）。

図表4-2-9 下水道モニターに関する感想や意見



【下水道モニターに関しての感想や意見】

- 下水道について知ることができてよかった
 - ◇ もともと生活排水には関心がありましたが、モニターになることで色々な知識を得ることができました。得た知識を生活に活用していきたいと思っています。ありがとうございました。
(40歳代女性・多摩地区)
 - ◇ これまであまり意識することもなかった下水道事業の幅広い活動および規模の大きさを少しでも知ることができ有意義でした。(60歳代男性・23区)
 - ◇ 施設見学をして質問や汚水が浄水に成る過程を知ることが出来た。節水や個人が出来た事で、限りある資源を大切にしていきたい。水道の仕事に携わる方々に感謝し、安全な水を飲めることは幸せなことと思うと同時に技術の高さを感じる。(60歳代女性・多摩地区)

- 下水道について関心・興味を持つようになった
 - ◇ 普段当たり前のように使用しているため、興味を持っていなかったことに触れることができて良かったです。(30歳代男性・多摩地区)
 - ◇ 普段は意識しないが生活にとっても身近な下水に興味をわき、またなにか自分にできることがあるのか、考えるようになりました。小学校などの授業にも取り上げてほしいです。これだけ日本の水がキレイと呼ばれる理由も分かりました。どうもありがとうございました。(30歳代女性・23区)
 - ◇ 下水道という、あって当たり前、なおかつ地下にあって見えにくいものに意識を向けるよい機会になりました。ありがとうございました。(40歳代女性・23区)

- 勉強になった
 - ◇ 知らなかった事が多く、勉強になった。色々な人にも伝える事が出来た。見学会は貴重な体験となった。(70歳以上男性・23区)
 - ◇ モニターになれたことによって下水道について勉強になったことが多く、知識が増えました。家族でも話題に挙げました。(30歳代男性・多摩地区)
 - ◇ モニターに参加しなければ知り得なかった情報などを勉強することができました。
(40歳代女性・多摩地区)

- 施設見学会を増やしてほしい/見学したい/見学してよかった
 - ◇ 施設見学の機会をもう少し増やしてほしい。浅川水再生センターへ行って見て、家族を含めてより関心が深まりました。(40歳代男性・23区)
 - ◇ もう少し内容を理解できるようになりたかった。また施設見学会にも参加したかった。
(60歳代女性・多摩地区)
 - ◇ 今まであまり気にしてなかった事に関しても、モニターとして参加することで改めて情報を得ることが出来た。また見学会も一般より時間が長めで行われ、じっくり見ることが出来た。
(40歳代男性・23区)

- 楽しかった/モニターをしてよかった/またモニターをやりたい
 - ◇ やっていて良かったと思います。相応の変化(影響)がありましたから。今後とも意識し続けたいですね。(40歳代男性・多摩地区)
 - ◇ 下水道知識を増やしつつ、謝礼も貰えるので良いと思った。(20歳代女性・多摩地区)
 - ◇ 誠実に職務を全うされている姿を間近に感じられて良かったです。(50歳代女性・23区)

- レポートやアンケートで改善してほしいこと
 - ◇ 下水道事業については、非常に関心があったが、レポートをもっと読みやすくしてほしい。
(60歳代男性・23区)
 - ◇ スマホでは画面が小さいため、資料を見るのが見にくく、理解しづらいように感じます。
(40歳代女性・23区)
 - ◇ 質問に答えるために、PDFを見なければいけないが、データが重くてなかなか開かない。
(50歳代女性・23区)

- 下水道のことについて理解できてよかった
 - ◇ 下水の工事が多く、その度に何でこれほど工事しているのかという疑問について、ある程度理解出来たことが収穫であった。(60歳代男性・23区)
 - ◇ アメッシュが生活する上でとても役に立っています。下水道の事もより詳しくわかるようになりました。(40歳代女性・多摩地区)
 - ◇ 生活の中で、当たり前存在する下水道に対して、一層意識し、また感謝の気持ちや理解度が増えました。(30歳代女性・23区)

- できることからやっっていこうと思った
 - ◇ みんなが安心して下水道を使用するために各自ができることをすすんで行うことが大事だと思いました。油は必ず拭きとってから洗うようになりました。(50歳代女性・23区)
 - ◇ 今回のアンケートで下水に関する関心が大きくなり、日ごろからできることをやっっていこうと考えるようになりました。(50歳代男性・多摩地区)
 - ◇ 道路側溝や排水口付近の掃除をまめにするよう心掛けている。前からも掃除はしていたが、数が増え、まめに気にするようになったのは、下水道モニターになったおかげだと思う。小さいことだが、自分には有意義だったと思う。(50歳代女性・多摩地区)

- 活動に期待している/がんばってください等の激励や感謝
 - ◇ 地震対策、大雨対策、浸水対策などたくさんの対策がされていることで、安心できた。設問17については、モニターになる前から全て意識していたことであるが、再認識できたことで満足している。(60歳代女性・多摩地区)
 - ◇ お役所の一部である都の下水道局が、こういう活動を行うのを新鮮に感じました。今後も創意工夫にあふれたご活動を期待しています。応援しています。(60歳代男性・23区)
 - ◇ 家の周辺で水道工事を1年近くやっていました。工事内容の説明のチラシは入りますが、何でそんなにかかるのかと思っていました。しかし今回モニターで詳しい資料を見られたことで納得できました。豪雨や地震、老朽化に備えていることにも感謝の気持ちです。(50歳代女性・23区)

- その他
 - ◇ 下水事業に対してあまり関心がありませんでしたが、「私たちが使う水の一連の流れ」について、改めて考えることができました。(40歳代男性・23区)
 - ◇ 自分に身近にある下水道というものなのに、今まであまり関心を持ったことがありませんでした。でも今回下水道モニターになって、様々なシーンで意識するようになったことは、今後に大きな影響を与えることと思います。(50歳代女性・23区)
 - ◇ 生活排水の行動様式はすでにやっっていることが多く変化はなかった。ただ、家族は興味がなく注意しても変わらないので、無関心層にどう興味をもってもらおうか難しいなあと思った。
(50歳代女性・多摩地区)